

ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、いつでも見ることができるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度お読みください。

もくじ

はじめに

ご使用前に	6
免責事項について	6
ご使用上の注意	7
走行中の操作制限について	9
お手入れのしかた	9
車両のバッテリー交換を行ったら	9
商標について	9
お客さまへ安全上のご注意	11
本書のみかた	13

基本操作

本機について	14
本体パネルについて	14
起動する	15
音量を調節する	15
画面の表示を消す	16
操作のしかた	17
リストから項目を探すとき	18
ステアリングリモコンスイッチの操作	19
文字入力のしかた	20
文字入力用キーボード	20
各メニュー画面について	22
ホームメニュー	22
マルチメディアメニュー	23

Apps

Apps について	24
接続する	24
Apple CarPlay を利用する	26
Apple CarPlay 画面を表示する	26
Apple CarPlay の音声認識 (Siri) を使う	27
Apple CarPlay を終了する	27
Android Auto™ を利用する	28
Android Auto 画面を表示する	28
Android Auto の音声認識を使う	29
Android Auto を終了する	29

電話

電話を使う	30
携帯電話を接続する	30
電話帳を表示する	30
お気に入り登録する	31
お気に入り消去する	32
ボイスタグを登録する	32
電話をかける	33
電話がかかってくると	34

AV

オーディオ機能について

基本操作	36
オーディオを ON/OFF する	36
音楽ファイルについて	37
フォルダーの構成について	38
MP3 とは	39
WMA とは	40
AAC とは	41
WAV とは	42
FLAC とは	43

動画ファイルについて

再生できる動画ファイル形式	44
フォルダーの構成について	45
再生可能な動画ファイルの仕様	46

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く	48
表示内容について	49
受信状態の良い放送局を探す	50
好みの放送局を登録する	50
放送局リストから放送局を探す	51
交通情報を聴く	51

iPod/USB	52
iPodを再生する	52
再生モードを変更する.....	53
表示内容について.....	54
カテゴリーリストで探す.....	55
iPodの接続を切り換える.....	55
USBメモリーの音楽ファイルを聴く	56
再生モードを変更する.....	57
表示内容について.....	58
カテゴリーリストで探す.....	59
USBメモリーの接続を切り換える.....	59
USBメモリーの動画を見る	60
表示内容について.....	61
TV	62
テレビ機能について	62
受信について.....	62
テレビを見る	63
はじめてテレビを見るとき.....	63
放送局を選ぶ.....	63
表示内容について.....	64
CHモードを切り換える.....	66
番組の内容を見る.....	67
緊急警報放送について.....	68
放送局を探す	69
番組表で探す.....	69
チャンネルリストから探す.....	70
系列局を探す.....	70
受信状態の良い放送局を探す.....	71
好みの放送局を登録する	72
ホームCHスキャンを行う.....	72
ドライブCHスキャンを行う.....	73

情報を確認する	74
メールを確認する.....	74
デバイスIDを確認する.....	74
ソフトウェアバージョンを確認する.....	74
その他の操作	75
リモコン番号を変更する.....	75
フルセグとワンセグを切り換える.....	75
映像や音声を切り換える.....	76

外部入力機器	77
Bluetooth Audioを使う	77
Bluetooth対応	
オーディオ機器を接続する.....	77
Bluetooth対応	
オーディオ機器の曲を聴く.....	78
表示内容について.....	78
再生モードを変更する.....	79

NAVI

基本操作	80
ナビゲーション機能について	80
ナビゲーションとは.....	80
GPSアンテナについて.....	81
地図データについて.....	81
測位について.....	81
ルートの探索方法について.....	82
ルートの案内について.....	82
ナビゲーションを操作するときの注意.....	83
NAVIメニューについて	84
NAVIメニューを表示する.....	84
NAVIメニューからできる操作.....	84

文字入力のしかた	85
文字入力用キーボード.....	85
ナビ画面について	87
地図表示内容について.....	87
現在地画面を表示する.....	89
案内表示について	90
交差点案内図.....	90
ジャンクションビュー.....	90
速度制限情報案内.....	91
地図画面を設定する	92
地図画面を選択する.....	92
地図向きについて.....	92
地図の種類について.....	92
周辺施設の表示を個別に設定する.....	93
地図を操作する	94
地図の縮尺を変更する.....	94
地図をスクロールする.....	94
地図スクロールからの操作	95
目的地に設定する.....	95
複数の目的地を設定する.....	95
メモリ地点に設定する.....	95
施設情報を見る.....	96
高速道路情報について	97
表示内容について.....	97
施設の情報について.....	98
表示するには.....	98
各エリアの情報を確認する.....	98
目的地の設定	99
自宅を目的地に設定する	99
自宅を目的地に追加する.....	99
自宅案内を終了する.....	100
探した場所を目的地に設定する	101

場所を探す	102
施設名称を入力して探す	102
施設ジャンルから探す	103
住所から探す	104
目的地履歴を利用する	104
電話番号から探す	105
メモリ地点を呼び出す	106
先程の地図を表示する	106
マップコードを利用する	106
周辺の施設を探す	107
探索条件設定画面について	109

ルートの確認・編集 110

ルートの確認	110
全ルートを確認する	110
ルートの変更	111
目的地を追加する	111
目的地を変更する	111
複数ルートから選ぶ	112
ルートの探索条件を変更する	113
ルート情報を確認する	113
次の目的地までの探索条件を変更する	114
有料道 / 一般道を切り替える	114
入口 / 出口のIC を変更する	114

メモリ地点の設定 116

自宅を登録する	116
自宅を消去する	116
メモリ地点を設定する	117
現在地を登録する	117
探した場所を登録する	117

メモリ地点を変更する	118
メモリ地点の情報を修正する	118
メモリ地点の情報画面について	118
メモリ地点を消去する	120
迂回メモリを設定する	121
迂回メモリを変更する	122
迂回メモリを修正する	122
迂回メモリの情報画面について	122

VICS 機能 124

VICS について	124
VICS のメディアと特徴	124
VICS 情報のレベル	124
音声情報	125
表示内容について	125
VICS センターへのお問い合わせ	127
交通情報を調べる	128
駐車場 / 規制情報を調べる	128
文字・図形情報を見る	128
VICS 交通情報の表示を設定する	129
VICS による自動処理	130
緊急情報の割り込み表示	130
ルート自動更新	130
図形 / 文字情報の割り込み表示	131
VICS 局を選ぶ	132
自動選局	132
県指定	132
周波数指定	132
VICS の設定を行う	133
VICS 割込設定を行う	133

ETC2.0 134

ETC2.0 サービスとは	134
ETC2.0 サービスの概要	134
ETC2.0 サービスについて	134

ナビ設定 135

設定を変更する	135
到着予想時間表示を設定する	139
ルート学習を消去する	139
車両情報を設定する	139
現在地を修正する	140

情報 / 設定

情報 141

カメラを使う	141
表示するには	141
ETC 情報を確認する	142
ETC とは	142
案内表示について	142
ETC の履歴を確認する	142
ETC 車載器の情報を表示する	143
累積料金を表示する	143
エアコン情報を確認する	145
表示するには	145
走行情報を確認する (除く、プラグインハイブリッド車)	146
燃費情報を表示する	146
燃費情報をリセットする	147
燃費履歴を確認する	148
履歴情報をリセットする	148

走行情報を確認する (プラグインハイブリッド車)	149
エネルギーモニターを表示する	149
積算量をリセットする	150
エネルギーフローを表示する	150
走行情報を表示する	151
走行情報をリセットする	152
履歴を確認する	153
履歴情報をリセットする	154
充電量を確認する	155
表示内容について	155
表示するには	155
履歴の表示を切り換える	156
充電量情報を消去する	156
メンテナンス情報	157
表示するには	157
メンテナンス情報を設定する	158
メンテナンス情報を更新する	160
メンテナンス情報の通知を設定する	160
情報	161
バージョン情報を表示する	161
ヘルプを表示する	161

設定 162

設定を変更する	162
オーディオの音質調整	163
バランス / フェーダーの設定	163
トーンコントロールの設定	163
イコライザーの設定	164
サラウンド / リスニングポジション設定	164
その他の設定	165

TV の設定	166
視聴設定	167
受信機設定	168
初期設定を行う	171
システムの設定	172
タイマー充電を設定する	172
プレ空調を設定する	173
音量を設定する	174
画質を調整する	175
昼夜色の設定	175
Bluetooth の設定	176
Apple CarPlay / Android Auto	178
ETC の設定	179
学習データをリセットする	179
単位を設定する	179
時計	180
車両設定	180
初期化	184

用語索引	199
------------	-----

その他

音声操作について	185
音声認識機能を開始する	185
音声認識機能を終了する	185
音声認識ヘルプを確認する	186
困ったときは	187
こんなメッセージがでたら	187
故障かな? と思ったら	189
TV 放送のチャンネル一覧表	192
地図データベース	195
地図データベースについて	195
VICS 情報有料放送サービス契約約款	196

はじめに

あらかじめ知っておいていただきたいことについての説明を行います。

ご使用前に

免責事項について

- 火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（メモリ地点など）が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万が一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- 本製品に入力した個人情報（メモリ地点の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、地図データ不備による損害に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱自動車は一切の責任を負いません。
- 地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。地図データの内容は予告なく変更される場合があります。地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書では数種類の車種内容を共用で説明しています。車種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書で使用している画像やイラストは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱自動車は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

■ スマートフォンとの接続

本機のスマートフォン連携技術により、お使いのスマートフォンに接続し、サードパーティー製アプリケーションを利用して、地図、音楽、メッセージなど、さまざまなサービスにアクセスできます。

スマートフォン連携技術では、サードパーティー製のアプリケーションをスマートフォンで実行し、数多くのコンテンツ、データ、情報、サービス、ソフトウェア、素材などの表示や、利用が可能です。

市場で流通しているスマートフォン用アプリケーションでは、さまざまなサービスや機能が提供されています。

- アプリケーションを使用する際に、個人情報、車両情報、位置情報などがサードパーティーと共有されることがあります。その結果、お客様のデータや車内のネットワークへのアクセスが許可され、セキュリティ上の問題が生じるおそれがあります。スマートフォン連携技術による、スマートフォン用アプリケーションの使用や車との接続は、お客さまの責任において行ってください。お使いのデバイスにアプリケーションをダウンロードし、車と接続して使用する際には、該当するアプリケーションの機能やデータの使用用途をご理解の上、ご使用ください。

- サードパーティー製アプリケーションによって収集または共有された個人情報に三菱自動車がアクセスし、または取り扱うことはありません。三菱自動車では、車やスマートフォン用のアプリケーションまたはサービスとサードパーティーとの接続において、かかる機能、コンテンツ、セキュリティ、プライバシーポリシー、実行、性能の管理は行わず、一切の責任を負いません。三菱自動車では、お客様の利便性向上のみを目的として、接続機能を提供しております。この技術は、三菱自動車によるサードパーティー製のアプリケーションまたはサービスの推奨、および三菱自動車とサードパーティー製アプリケーションの提供者との関連を示すものではありません。お使いになるサードパーティー製アプリケーションの契約条件やプライバシーポリシーをお読みになることを、強く推奨します。

- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - 高温時など、画面が暗い場合があります。
 - 画面を見る角度によって、色合いや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、ラジオやテレビの受信状態が悪くなるなど異常が発生するおそれがあります。

- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線機器などを車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビチューナーのアンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。その場合は、本機の利用を中止するか、本機やアンテナから離してご使用ください。

■ テレビ機能

- 本製品は、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には対応していません。
- 本製品はデータ放送には対応していません。
- 移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
 - » 映像や音声にノイズが発生する。
 - » 映像や音声途切れる。
- 家庭用のデジタルチューナーに比べて受信エリアは狭くなります。
- ワンセグやフルセグ、放送局により受信状態やエリアが変化します。

■ 電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで前記記載の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から前記記載の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を移動する、電源を切るなどの回避処置をしてください。
3. その他、この機器から前記記載無線局に対し有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、三菱自動車販売店へご相談ください。

■ iPhone/iPod 再生機能 (オプション)

- 本機は、iPhone/iPod の音楽再生に対応しておりますが、どのようなバージョンでも動作を保証するものではありません。
- iPhone/iPod の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

走行中の操作制限について

安全のため、走行中は一部操作や表示が制限されます。安全な場所に車を停めて操作してください。

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布で軽くから拭きしてください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

商標について

- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows Media、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

• MPEG2

ANY USE OF THIS PRODUCT IN ANY MANNER OTHER THAN PERSONAL USE THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, L.L.C., 6312 S. Fiddlers Green Circle, Suite 400 E, Greenwood Village, Colorado 80111.

• MPEG4-AVC(H.264)

This Product is licensed under the AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) Encode Video in compliance with the AVC Standard ("AVC Video") and/or (ii) Decode AVC Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a video provider licensed to provide AVC video. No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA, L.L.C.

See <http://www.mpegla.com>

• MPEG4-Visual

USE OF THIS PRODUCT IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD IS PROHIBITED, EXCEPT FOR USE BY A CONSUMER ENGAGING IN PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITIES.

• Real Video

Portions of this software are included under license from RealNetworks, Inc. Copyright 1995-2011, RealNetworks, Inc. All rights reserved.



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり「三菱電機株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されております。Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS 社の商標または登録商標に基づき製造されています。DTS は DTS 社の登録商標です。また、DTS Neural Surround および DTS ロゴ記号は DTS 社の商標です。
©DTS, Inc. All Rights Reserved.



「PremiDIA」は、三菱電機の商標です。



Google、Android、Android Auto とその他のマークは Google LLC の商標または登録商標です。



「VICS」および「VICS WIDE」ロゴは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



ETC ロゴは、一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。



ETC2.0 ロゴは、一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。



「マップコード」および「MAPCODE」は、(株)デンソーの登録商標です。

次のページにつづく



「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone 専用で接続するよう設計され、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。

Apple、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch、Siri は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple CarPlay は、Apple Inc. の商標です。

Apple は、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

※ ビデオ再生および Genius 機能には対応していません。

※ iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

本機では、以下の iPhone/iPod が利用できます。

iPhone model names	iPod model names
iPhone XS Max	iPod touch 6th generation
iPhone XS	
iPhone XR	
iPhone X	
iPhone 8	
iPhone 8 Plus	
iPhone 7	
iPhone 7 Plus	
iPhone SE	
iPhone 6s	
iPhone 6s Plus	
iPhone 6	
iPhone 6 Plus	
iPhone 5s	

■ オープンソースライセンスについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、3-Clause Berkeley Software Distribution License(3-Clause BSD License) 等、オープンソースライセンスの元で利用可能なソフトウェアモジュールを一部含んでいます。詳細情報および関連ソースコードは、下記 URL をご確認ください。

<http://automotive.thundersoft.com/MidSDA/OSS.html>

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告



禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。
道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となります。
必ず安全な場所に車を停車してから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機は DC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。
テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造しない。故障、火災、感電の原因となります。

警告



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。
カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。
注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



① 編見出し

主な機能に分けて分類しています。

② 章見出し

編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。また、右端のインデックスでも確認することができます。

③ 大見出し

章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ 中見出し

大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ 小見出し

中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ **タイプ別装備**

車種やグレード、ディーラーオプションにより異なる装備を示します。

⑦ 操作手順

操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑧ **●○○○** キーまたは [○○○] キー

パネルでの操作キーを示します。

⑨ ○○○○ または [○○○]

画面上に表示されるボタンを示します。

⑩ (P○○○)

参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑪ 次のページにつづく

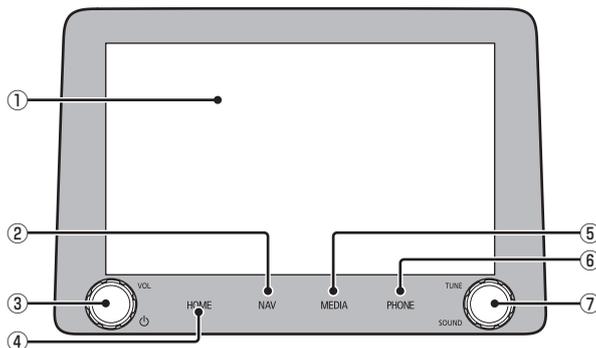
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

基本操作

本機について

本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。



① ディスプレイ

ディスプレイに表示されるボタンにタップすることで、ほとんどの操作が行えます。
→「操作のしかた」(P17)

② NAV キー (→P80)

ナビゲーション画面を表示します。

③ VOL/🔊 キー

回転させると、オーディオ機能や電話機能、ナビゲーション機能の音量を調節できます。各音声出力中に回転させると別々に音量の調整ができます。(→P15)

押すと、オーディオ機能の ON/OFF をすることができます。(→P36) 長押しすると画面の表示を消します。再表示するときは [HOME] などのキーを押します。(→P16)

④ HOME キー (→P22)

ホームメニュー画面を表示します。

⑤ MEDIA キー

メディアの再生画面を表示します。メディア再生画面を表示している、またはオーディオ OFF の場合はマルチメディアメニューを表示します。(→P23)

⑥ PHONE キー (→P30)

電話機能が利用できます。携帯電話が未接続の場合、ペアリングをうながす画面が表示されます。(→P176)

⑦ TUNE/SOUND キー

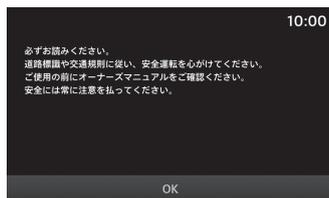
回転させると、音楽再生時のトラック選択やラジオの選局などが行えます。押すと、「音質調整」画面を表示します。→「オーディオの音質調整」(P163)

起動する

本システムを起動します。

1 車のエンジン / パワースイッチを “ACC” または “ON” にする

2 メッセージ確認後、 [OK] にタップする



オーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面に切り換わります。

アドバイス

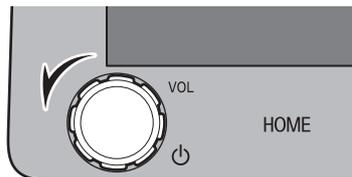
- 車種によっては、[OK] にタップしなくてもしばらくすると画面が切り換わります。

音量を調節する

オーディオや電話の着信、受話音量、各種音声案内の音量を調節します。

ここではオーディオ再生中に音量を変更した場合で説明します。

1 オーディオ再生中に [VOL/⏻] キーを左に回す



音量表示

オーディオの音量が小さくなります。

2 [VOL/⏻] キーを右に回す

オーディオの音量が大きくなります。

■ 音量の種類について

以下の音が出力されているときに、音量を調節できます。

種類	表示	音量レベル
オーディオ		0～45
電話 (着信 / 受話)		0～45
音声案内 (ナビゲーション)		0～7
音声認識		0～7

アドバイス

- 音声案内が終了するまでオーディオの音量は調整できません。

画面の表示を消す

画面の表示を消します。音声はそのまま聞くことができます。

お知らせ

- リヤビューカメラまたはマルチアラウンドモニターが接続されている場合、シフトポジションを「R」にすると、画面消し（黒画面）中でも、カメラ映像に自動で切り換わります。シフトポジションを「R」以外にすると、画面消し状態（黒画面）に戻ります。
- リヤビューカメラまたはマルチアラウンドモニターの映像を表示しているときは、**VOL/⏻** キーを長押ししても画面表示を消すことはできません。

1 **VOL/⏻** キーを長押しする



画面の表示を消します。

再度表示するときは、**VOL/⏻** キーを押します。

アドバイス

- [HOME] キーなどの他のキーを押すことでも再度表示できます。

操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接触れることで操作するマルチタッチパネルを採用しています。

注意

- ・ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- ・画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。

■ タップ

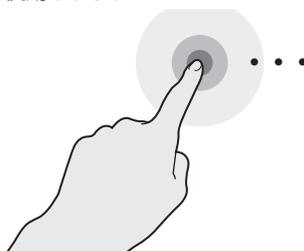
“決定”する操作を行うときなどに使用します。



画面に軽く触れてすぐに離します。

■ ロングタップ

早送りや早戻しするときなど、さまざまな場面で使用します。



画面に触れたままの状態にします。

■ ダブルタップ

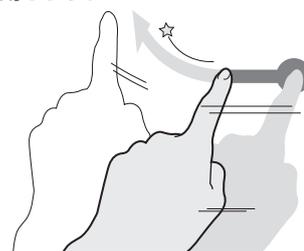
動画表示エリアを切り換えるときに使用します。



1本の指で素早く2回タップします。

■ フリック

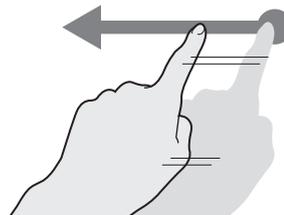
リストや地図を素早くスクロールするときを使用します。



画面に触れたまま素早く指をはらうように動かし、画面から指を離します。

■ スライド

指の動きに合わせて画面をスクロールするときを使用します。



画面に触れたまま指を動かします。

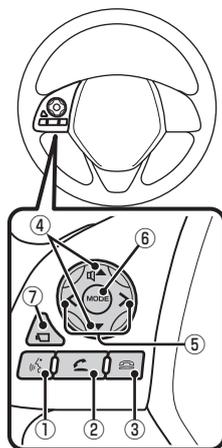
リストから項目を探すとき

リストの上でフリックまたはスライドします。
上の方向に指を動かすとリストは下へスクロールします。



探している項目が表示されたら直接その項目にタップします。

ステアリングリモコンスイッチの操作



① キー

音声認識を起動します。また、長押しすることで音声認識を終了できます。

Apple CarPlay 利用時に長押しすると Siri を、Android Auto 利用時に長押しすると Android Auto の音声認識を起動します。

② キー

電話帳画面を表示します。→「電話帳を表示する」(P30)

着信時は、電話を受けます。

③ キー

通話中の電話を切ります。着信中に押すと、着信拒否をします。

④ キー

音量を調節できます。

⑤ キー

前後の曲や、放送局を選ぶことができます。長押しすると早送りや早戻しなどが行えます。

⑥ **MODE** キー

押すたびにオーディオのソースを切り換えることができます。また、長押しするとオーディオ機能の ON/OFF が行えます。

⑦ キー^{*1}

画面にマルチア라운드モニターの映像を表示できます。→「カメラを使う」(P141)

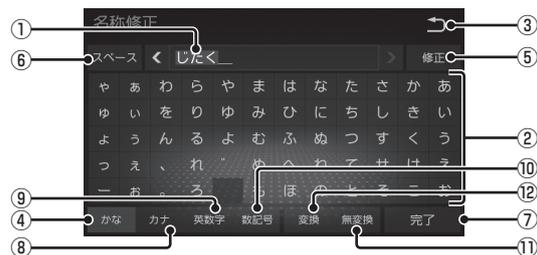
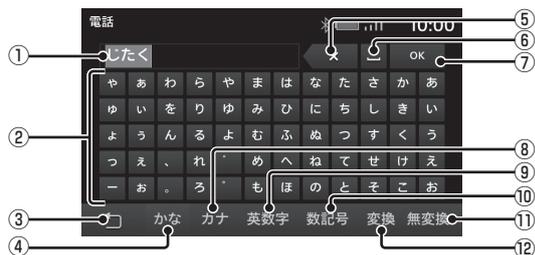
*1 タイプ別装備です。

文字入力のしかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

入力できる文字は、「ひらがな」、「カタカナ」、「アルファベット」、「数字」、「記号」です。

文字入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

「背景が灰色」のときは確定前の文字で「変換」で漢字などに変換できます。

「背景が黒色」のときは、確定済みで変換はできません。

② 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

③ ◀

1つ前の画面に戻ります。

④ かな

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑤ ✕ / 修正

入力中の文字を一文字削除します。

⑥ ␣ / スペース

スペースを入力します。

⑦ OK / 完了

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

検索

電話帳検索時に表示します。

入力した文字で電話帳の検索ができます。

⑧ カナ

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑨ 英数字

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑩ 数記号

入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑪ 無変換

「かな」の入力時に表示します。

確定前の文字を変換せずに確定します。

半角 / 全角

「カナ」、「英数字」、「数記号」の入力時に表示します。

入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑫ 変換

「かな」の入力時に表示します。

確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。

リストから変換したい文字にタップし確定します。

小文字 / **大文字**

「英数字」の入力時に表示します。

タップで入力キーボードに表示される文字が大文字→小文字→大文字と切り換わります。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないボタンや別のボタンになることがあります。詳しくは各機能の説明をお読みください。

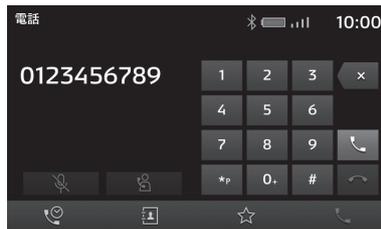
■ 入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。

文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。

ただし、機能によって入力できる文字を制限することがあります。

数字入力用キーボード

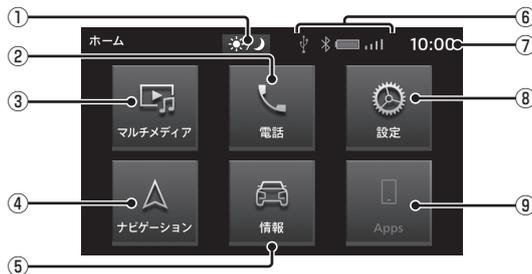


各メニュー画面について

各キーを押すことで表示するトップメニューから、さまざまな機能を使うことができます。

ホームメニュー

HOME キーを押して表示するホームメニューについて説明します。



① **☀/🌙**

タップするたびに画面の色が「Day」→「Night」→「Auto」→「Day」と切り換わります。
→ **「昼夜色の設定」** (P175)

② **☎** (→ P30)

携帯電話が Bluetooth で本機に接続されている場合にハンズフリー機能をご利用になります。

③ **🎵** (→ P36)

ラジオや各メディアの再生ができます。

④ **📍** (→ P80)

ナビゲーション機能をご利用になります。

⑤ **ℹ / PHEV & 情報** (→ P161)^{*1}

本機の各種情報や、PHEVに関する情報を確認できます。

⑥ **📶**

Bluetooth や USB メモリーの接続状態、携帯電話のバッテリー状態、電波状態などを表示します。

⑦ **🕒**

24 時間制または 12 時間制で現在時刻を表示します。
→ **「時計」** (P180)

⑧ **⚙** (→ P162)

本機の各種設定が行えます。

⑨ **📱** (→ P24)^{*2}

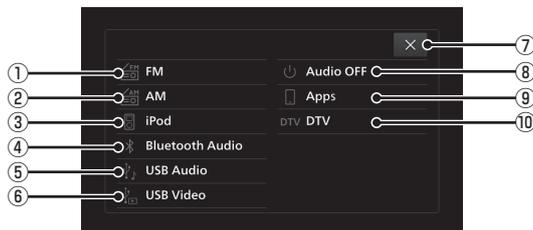
Apple CarPlay が接続されていれば **Apple CarPlay** に変わり、タップすると Android Auto の画面を表示します。Android Auto が接続されていれば **Android Auto** に変わり、タップすると Android Auto の画面を表示します。

※1 ガソリン車の場合は [情報] を表示し、プラグインハイブリッド車の場合は [PHEV & 情報] を表示します。

※2 Apple CarPlay、Android Auto 対応スマートフォンを一度も接続したことがない場合、ボタンは表示されません。

マルチメディアメニュー

ラジオ画面、メディアの再生画面の **ソース選択** ボタンまたは **MEDIA** キーを押して表示されるマルチメディアメニューについて説明します。



① **FM** (→ P48)

FM ラジオの放送情報画面を表示します。

② **AM** (→ P48)

AM ラジオの放送情報画面を表示します。

③ **iPod** (→ P52) ※¹

iPod の再生情報画面を表示します。

④ **Bluetooth Audio** (→ P77) ※²

Bluetooth Audio の再生情報画面を表示します。

⑤ **USB Audio** (→ P56)

USB Audio の再生情報画面を表示します。

⑥ **USB Video** (→ P60)

USB Video の再生情報画面を表示します。

⑦ **X**

マルチメディアメニューを閉じます。

⑧ **Audio OFF**

Audio 機能を OFF にします。

⑨ **Apps** ※³

Apple CarPlay が接続されていれば
Apple CarPlay に変わり、タップすると Apple CarPlay の画面を表示します。
(→ P26)

Android Auto が接続されていれば
Android Auto に変わり、タップすると Android Auto の画面を表示します。
(→ P28)

⑩ **DTV** (→ P63)

地上デジタル TV の画面を表示します。

※ 1 iPhone/iPod を USB ケーブルで本機と接続する必要があります。

※ 2 Bluetooth 対応オーディオ機器を本機と Bluetooth 接続する必要があります。

※ 3 Apple CarPlay または Android Auto 対応スマートフォンを USB ケーブルで本機と接続する必要があります。
Apple CarPlay、Android Auto 対応スマートフォンを一度も接続したことがない場合、ボタンは表示されません。

Apps について

Apple CarPlay または Android Auto 対応スマートフォンを本機と接続することで、Apple CarPlay または Android Auto を利用できます。

注意

- 運転中に iPhone や Android スマートフォンを手に持った操作は危険なため絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPhone や Android スマートフォン本体を車内に放置しないでください。
- 本機と iPhone や Android スマートフォンを接続して使用しているときに iPhone や Android スマートフォンのデータが消失しても、その補償は致しかねます。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合がありますのでデータのバックアップをおすすめします。

お知らせ

- iPhone や Android スマートフォンの接続方法については、車両取扱説明書をお読みください。
- iPhone や Android スマートフォンを本機に接続した状態で操作してください。

お知らせ

- Apple CarPlay を利用中は、ハンズフリー電話機能が利用できません。(Apple CarPlay の電話機能は使用できません)
- Apple CarPlay または Android Auto を利用中でも、[NAV] キーを押すと本機のナビゲーション画面を表示します。
- 走行中は Apple CarPlay または Android Auto の動作が制限される場合があります。
- 電波状態が悪いなど、スマートフォンの状態によっては Apple CarPlay または Android Auto の動作が制限される場合があります。

接続する

本機に Apple CarPlay または Android Auto 対応のスマートフォンをはじめて USB 接続したとき、接続設定を選択するテロップが表示されます。



いずれかの接続設定にタップしてください。

今回のみ有効	Apple CarPlay または Android Auto を今回のみ利用します。次回以降スマートフォンを接続するたび、テロップを表示して接続設定を選択します。
常に有効	Apple CarPlay または Android Auto を毎回利用します。次回以降スマートフォンを接続したとき、テロップを表示せずにご利用できます。
キャンセル	Apple CarPlay、Android Auto を利用しません。

アドバイス

- 前回接続時に [今回のみ有効] を選んでいた場合も、テロップは表示されます。
- 設定は「デバイスの有効 / 無効を設定する」(P178) から変更できます。
- [キャンセル] を選択した場合、今回のみ利用しないか常に利用しないかを選ぶことができます。
- どの接続設定を選択しても、接続したスマートフォン情報をデバイスリストに登録します。

Apple CarPlay を利用する

本機に Apple CarPlay 対応の iPhone を USB ケーブルで接続すると Apple CarPlay を利用できます。

お知らせ

- サービスエリアは拡大していますが、Apple CarPlay サービスは一部の地域では利用できません。利用可能な地域の最新情報は、下記の Web サイトからご確認ください。
<https://www.apple.com/jp/ios/feature-availability/#applecarplay-applecarplay>
- Apple CarPlay や Apple CarPlay で利用できるアプリについては、Apple CarPlay 公式サイトをご覧ください。
- Apple CarPlay を利用するには、iPhone 5s 以降が必要です。
- あらかじめ、「デバイスの有効 / 無効を設定する」(P178) で [有効] に設定しておく必要があります。(はじめて本機に接続したときに、デバイスの接続設定 (P24) で [常に有効] を選択した場合は、すでに [有効] に設定されています。)
- 本機の設定で「デバイスの有効 / 無効を設定する」(P178) を [有効] に設定していても、iPhone 側で使用しない設定にしている場合は、Apple CarPlay を利用できません。iPhone 側でも Apple CarPlay を使用する設定にしてください。

お知らせ

- iPhone のロックを解除して Apple CarPlay をご利用ください。
- Android Auto 接続状態で後から Apple CarPlay 対応デバイスを接続しても、iPod として認識し、Apple CarPlay は利用できません。
- Apple CarPlay 対応 iPhone を 2 台接続した場合、後から接続した Apple CarPlay 対応 iPhone では Apple CarPlay を利用できません。
- Apple CarPlay は Apple 社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Apple CarPlay 画面を表示する

1 HOME キーを押す

ホームメニューを表示します。

2 Apple CarPlay にタップする



Apple CarPlay の HOME 画面を表示します。

HOME 画面について



① タップするとアプリケーションが起動します。

② タップするとホームメニューを表示します。

Apple CarPlay の音声認識 (Siri) を使う

■ Siri を起動する

1 Apple CarPlay の HOME 画面で

 をロングタップ (P17) する

Siri が起動します。

2 用件を話す

アドバイス

- ステアリングリモコンの  キーを長押しすることでも Siri を起動することができます。

■ Siri を終了する

1 にタップする



Siri を終了し、Apple CarPlay の HOME 画面を表示します。

Apple CarPlay を終了する

本機から iPhone を取り外すと Apple CarPlay 接続が解除され、終了できます。Apple CarPlay を利用中は本機の機能が一部制限されますので、利用しないときは Apple CarPlay を終了してください。

Android Auto™ を利用する

本機に Android Auto 対応の Android スマートフォンを USB ケーブルで接続すると Android Auto を利用できます。

お知らせ

- スマートフォンに「Android Auto」アプリを事前にインストールしておく必要があります。
- Android Auto や Android Auto で利用できるアプリについては、Android Auto 公式サイトをご覧ください。
- Android Auto を利用するには、Android 5.0(Lollipop) 以降を搭載した Android Auto 対応の Android スマートフォンが必要です。
- Android スマートフォンの初回起動時、スマートフォン側に表示される内容をスマートフォン側で承諾する操作が必要です。また、この操作は車両を停止した状態で行ってください。

お知らせ

- あらかじめ、「デバイスの有効 / 無効を設定する」(P178) で [有効] に設定しておく必要があります。
(はじめて本機に接続したときに、デバイスの接続設定 (P24) で [常に有効] を選択した場合は、すでに [有効] に設定されています。)
- Apple CarPlay 接続状態で後から Android Auto 対応の Android スマートフォンを接続しても Android Auto を利用できません。
- Android Auto 対応の Android スマートフォンを 2 台接続した場合、後から接続した Android Auto 対応の Android スマートフォンでは Android Auto を利用できません。
- Android Auto は Google 社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Android Auto 画面を表示する

1 HOME キーを押す

ホームメニューを表示します。

2 Android Auto にタップする



Android Auto の HOME 画面を表示します。

■ HOME 画面について

車のハンドル位置によって、画面の表示デザインが変わります。



- ① タップするとアプリケーションが起動します。
- ② タップするとホームメニューを表示します。
- ③ タップすると音声認識が起動します。
- ④ タップすると Android Auto の HOME 画面を表示します。
- ⑤ タップすると新着メッセージを確認できます。

Android Auto の音声認識を使う

■ 音声認識を起動する

1 Android Auto の HOME 画面で

 をタップする

音声認識が起動します。

2 用件を話す

アドバイス

- ステアリングリモコンの  キーを長押しすることでも音声認識を起動することができます。

■ 音声認識を終了する

1 画面にタップする



音声認識を終了します。

Android Auto を終了する

本機から Android スマートフォンを取り外すと Android Auto 接続が解除され、終了できます。

Android Auto を利用中は本機の機能が一部制限されますので、利用しないときは Android Auto を終了してください。

電話

電話を使う

本機とお手持ちの携帯電話を Bluetooth 接続することによりハンズフリー機能がご利用になれます。

警告



禁止

- **運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。**
走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- **携帯電話を放置しない。**
停車したときやカーブを曲がる時に携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

警告



必ず行う

- **ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、通話音量の確認を行ってください。**

事故の原因となることがあります。[設定]→[音量]の「通話音量」で適度な音量に設定しご使用ください。
→「音量を設定する」(P174)
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth 機能を使用して接続します。
接続のしかたについては「Bluetooth の設定」(P176)をお読みください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。
電話帳や履歴を利用するには、「電話帳や履歴を同期する」(P177)で設定を「ON」しておく必要があります。

お知らせ

- Bluetooth 接続ができる携帯電話が必要です。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態でご接続してください。
- アプリ通話でハンズフリー電話機能を使用することはできません。
- 機器によっては接続できないものがあります。
- 携帯電話の操作方法は携帯電話の取扱説明書をお読みください。
- 携帯電話の機種によっては転送が正常に行われない場合があります。

電話帳を表示する

携帯電話から本機へ同期された電話帳を表示します。
電話帳を表示するには、「電話帳や履歴を同期する」(P177)で設定を「ON」しておく必要があります。

- 1 **PHONE** キーを押す
発着信履歴画面を表示します。

- 2  にタップする



電話帳画面を表示します。

お知らせ

- 電話帳は本機へ接続しているときに表示します。接続していないときは、表示できません。
- 電話帳は、最大 1000 件まで表示できます。
- すべて読み込みを行う場合は、携帯電話が PBAP(Phone Book Access Profile) に対応している必要があります。
- 電話帳は、電話番号の登録や編集、消去の操作を本機側で行えません。
- 入力文字表示部に検索文字列を入力し、[検索] をタップすることで、電話帳から検索できます。
- 連絡先にタップすると、詳細情報画面を表示します。

お気に入りに登録する

よくかける電話番号を電話帳や発着信履歴から登録できます。
電話帳や履歴を利用するには、「電話帳や履歴を同期する」(P177) で設定を「ON」しておく必要があります。

お知らせ

- お気に入りの最大登録件数は 20 件です。

お気に入り画面を表示する

- 1 **PHONE** キーを押す

- 2  にタップする



お気に入り画面を表示します。

電話帳から登録する

- 1 お気に入り画面を表示する
→ 「お気に入り画面を表示する」(P31)

- 2 **お気に入りに追加** にタップする

- 3 **電話帳** にタップする

- 4 登録したい“リスト”にタップする



- 5 名前を編集し、**OK** にタップする



- 6 **OK** にタップする

登録が完了します。

アドバイス

- お気に入りの名前は登録後に編集できます。お気に入り画面の  にタップし、編集したいお気に入りをタップしてください。

■ 発着信履歴から登録する

1 お気に入り画面を表示する

→ 「お気に入り画面を表示する」(P31)

2 お気に入りに追加 にタップする

3 発着信履歴 にタップする

4 登録したい“リスト”にタップする



5 名前を編集し、OK にタップする



6 OK にタップする

登録が完了します。

32 電話を使う

アドバイス

- お気に入りの名前は登録後に編集できます。お気に入り画面の  にタップし、編集したいお気に入りをタップしてください。

お気に入りを消去する

登録済みのお気に入りの電話番号を消去します。

1 お気に入り画面を表示する

→ 「お気に入り画面を表示する」(P31)

2 にタップする



3 にタップする

4 削除する にタップする

5 OK にタップする

お気に入りの消去が完了します。

ボイスタグを登録する

音声認識で電話をかけるためにボイスタグを登録します。

アドバイス

- ボイスタグは 32 個登録できます。

1 お気に入り画面を表示する

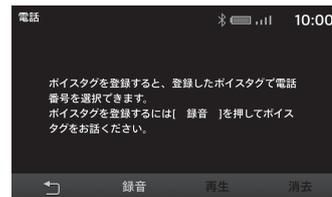
→ 「お気に入り画面を表示する」(P31)

2 にタップする

3 にタップする

ボイスタグ登録画面を表示します。

4 録音 にタップし、登録する単語を発話する



登録可能な単語を認識するとテロップが表示されます。[登録する]→[OK]をタップしてボイスタグを登録してください。

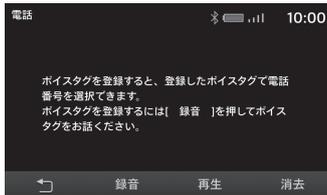
アドバイス

- ボイスタグの登録操作を終了するときは [停止] をタップしてください。

■ ボイスタグを確認する

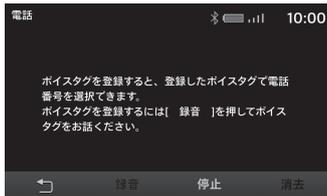
1 「ボイスタグを登録する」(P32)の手順3まで操作する

2 「再生」にタップする



登録した発話内容を確認します。

3 「停止」にタップする



アドバイス

- ・ [消去] にタップすると登録した発話内容を消去します。

電話をかける

さまざまな方法で電話をかけることができます。電話帳や履歴を利用するには、「電話帳や履歴を同期する」(P177)で設定を「ON」にしておく必要があります。

注意

- ・ なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。
- ・ 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により3分間に4回以上かけることができない場合があります。

■ 電話番号を入力してかける

1 「PHONE」キーを押す 発着信履歴画面を表示します。

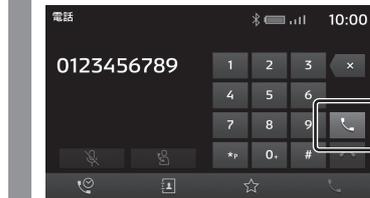
2 「☎」にタップする ダイヤル画面を表示します。

3 “電話番号”を入力する

アドバイス

- ・ 誤入力した場合は、[X] にタップして1文字消去します。
- ・ [*P] にロングタップ(P17)で「P」(ポーズ)、[0] にロングタップで「+」を入力できます。

4 「☎」にタップする



入力した電話番号への発信を開始します。

■ 発着信履歴からかける

1 「PHONE」キーを押す 発着信履歴画面を表示します。

2 “かけたい相手”にタップする



選んだ電話番号への発信を開始します。

■ 電話帳からかける

1 電話帳を表示する

→「電話帳を表示する」(P30)

2 “かけたい相手” にタップする



3 かけたい電話番号の [電話] にタップする



連絡先詳細画面

選んだ電話番号への発信を開始します。

アドバイス

- 電話帳の件数が多い場合は、検索機能を使って探すことができます。探している相手の頭文字などを入力し、[検索]にタップします。

■ 音声認識で電話をかける

1 ステアリングの [音声認識] キーを押す

2 「ピッ」と発信音から、「電話をかける」→登録しているボイスタグ→「ダイヤル」と発話する

発話したボイスタグの電話番号へ発信を開始します。

アドバイス

- 詳しくは「音声操作について」(P185)をお読みください。
- ボイスタグを登録しておく必要があります。→「ボイスタグを登録する」(P32)

電話がかかってくると

着信音が鳴り、着信中の画面を表示します。

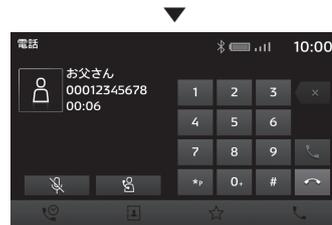


アドバイス

- アプリが対応していない場合、着信中の画面は表示されません。

■ かかってきた電話にできるには

1 [電話] にタップする



かかってきた電話との通話が可能となります。

アドバイス

- [電話] にタップすると、通話相手に車両側の音声が届かないようにできます。
- [電話] にタップすると、Bluetooth 接続されている携帯電話で直接通話できます。

■ 割り込み通話をする

通話中に別の電話にすることができます。別途、割り込み通話契約が必要な場合があります。

1 通話中に着信がある場合に [電話] にタップする



最初の通話は保留し、別の通話にできます。

2  にタップする

現在の通話を終了し、最初の通話に戻ります。

■ 電話を終了する**1**  にタップする

かかってきた電話との通話が終了します。

AV

オーディオ機能に関する操作の説明を行います。

オーディオ機能について

基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

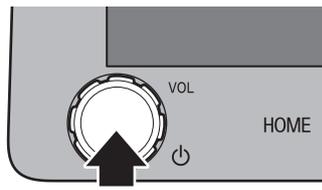
オーディオを ON/OFF する

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

アドバイス

- ステアリングリモコンの [MODE] キーを長押しすることでも、オーディオ機能を ON/OFF できます。

1 VOL/⏻ キーを押す



オーディオ機能が OFF になります。

2 VOL/⏻ キーを押す

オーディオ機能が ON になります。

音楽ファイルについて

本機では USB メモリーに記録された以下の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV
- FLAC

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の音楽ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に「音楽ファイルについて」の内容をよくお読みください。

また、お手持ちのライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

音楽ファイル内にタイトル情報、ジャケット写真などの画像データが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

- 音楽 CD から書き込んだ(コピーした)ファイルは無償・有償に関わらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子(「.mp3」など)を異なったファイル形式のファイルに付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

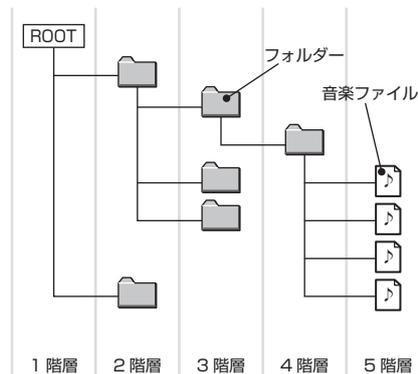
アドバイス

- 音楽ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp3」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 隠しフォルダー内のファイルや隠しファイルは音楽ファイルとして認識できない場合があります。
- USB メモリーのフォーマットが FAT16 の場合は 2GB、FAT32 の場合は 4GB を超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の音楽ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは 8 階層まで認識できます。

ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (再生可能な形式の音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理できます。



項目	説明
最大フォルダー階層数	8 階層 (Root を 1 階層目とした場合)
最大ファイル数 ^{*1}	6000 ファイル (メディア内合計数。再生不可は含まず)
USB メモリーの対応フォーマット	FAT16、FAT32 です。1パーティションのみ対応しております。

※ 1 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよび音楽ファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

MP3 とは

MP3とは「MPEG-1AudioLayer3」の略称。MPEGとは「Moving Picture Experts Group」の略称でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。

MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の1つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。

音楽CDの音質をほとんど損なうことなく約1/10のデータ容量に圧縮することができるため、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ書き込むことが可能になります。

注意

- ・下記規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

■再生できるMP3ファイルの規格について

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3
	MPEG-2 AUDIO LAYER3
	MPEG-2.5 AUDIO LAYER3
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG-1 : 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48
	MPEG-2 : 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48
	MPEG-2.5 : 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	MPEG-1 : 8 ~ 448
	MPEG-2 : 8 ~ 448
	MPEG-2.5 : 8 ~ 448
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル
拡張子	mp3
対応タグ情報	ID3 タグ Ver.1.0、Ver.1.1、Ver.2.3、Ver.2.4 (ISO-8859-1、UTF-16(Unicode)) タイトル、アーティスト名、アルバム名

WMA とは

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

注意

- WMA は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルを再生することはできません。
- 下記規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダー名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Lossless」には対応しておりません。

■ 再生できる WMA ファイルの規格について

再生できる WMA ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	Windows Media Audio Version2 ~ 10
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96
ビットレート [kbps]	1500 以下
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	wma
対応タグ情報	WMA タグ タイトル名、アーティスト名、アルバム名

AAC とは

AAC とは Advanced Audio Coding の略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注意

- AAC は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、著作権で保護された AAC ファイルを本オーディオシステムでは再生することはできません。
- 下記規格以外で書き込まれた AAC ファイルや、ADIF 形式の AAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

■ 再生できる AAC ファイルの規格について

再生できる AAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	Advanced Audio Coding MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96
ビットレート [kbps]	8 ~ 256
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	m4a,aac
対応タグ情報	AAC タグまたは ID3 タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名

WAV とは

WAV とは「RIFF wave form Audio Format」の略称で主に Windows で使用されています。通常は非圧縮の音楽ファイルで、Microsoft 社と IBM 社で開発された音声データフォーマットです。

注意

- ・ 下記規格以外で書き込まれた WAV ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

■ 再生できる WAV ファイルの規格について

再生できる WAV ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	RIFF wave form Audio Format
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/16/22.025/32/44.1
量子化ビット数 [bit]	16
ビットレート [kbps]	128 ~ 1411.2
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	wav

FLAC とは

FLAC とは Free Lossless Audio Codec の略称でライセンスフリーの音声データフォーマットです。可逆圧縮による音源のため音質の劣化がないのが特徴です。

注意

- ・ 下記規格以外で書き込まれた FLAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

■ 再生できる FLAC ファイルの規格について

再生できる FLAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	FLAC 1.3.0
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/12/16/22.05/32/44.1
ビット数 [bit]	4 ~ 24
チャンネルモード	ステレオ / モノラル / 5.1ch ダウンミックス
拡張子	flac
対応タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル

動画ファイルについて

再生できる動画ファイル形式

本機では USB メモリーに記録された MP4 などの動画ファイルを再生できます。

詳しくは「再生可能な動画ファイルの仕様」(P46)をお読みください。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので動画ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に右記の内容をよくお読みください。

注意

- 拡張子(「.mp4」など)を異なったファイル形式のファイルに付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

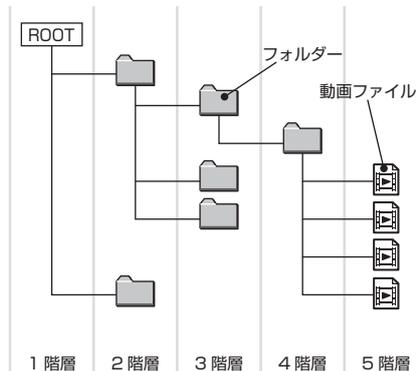
アドバイス

- 動画ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp4」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 隠しフォルダー内のファイルや隠しファイルは動画ファイルとして認識できない場合があります。
- USB メモリーのフォーマットが FAT16 の場合は 2GB、FAT32 の場合は 4GB を超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の動画ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは 8 階層まで認識できます。

ジャンル→製作年月→タイトル (再生可能な形式の動画ファイル) といった階層を作成して動画を管理できます。



項目	説明
最大フォルダー階層数	8 階層 (Root を 1 階層目とした場合)
最大ファイル数 ^{※ 1}	6000 ファイル (メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず)
USB メモリーの対応フォーマット	FAT16、FAT32 です。1 パーティションのみ対応しております。

※ 1 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の動画を格納している場合は最大動画数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

再生可能な動画ファイルの仕様

再生できる動画ファイルの仕様は以下のとおりです。

形式	拡張子	映像					音声
		コーデック	プロファイル/レベル	最大解像度	最大ビットレート	最大フレームレート	コーデック
MP4	mp4	MPEG4-AVC (H.264)	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 High Profile/3.1	1920 × 1080	50Mbps	30fps	MP3 AAC Vorbis PCM/ADPCM
		MPEG4-Visual	Advanced Simple Profile/5	1920 × 1080	40Mbps	30fps	
AVI 1.0/2.0 (DivX 除く)	avi	MPEG4-AVC (H.264)	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 High Profile/3.1	1920 × 1080	50Mbps	30fps	MP3 AAC WMA Vorbis PCM/ADPCM
		MPEG4-Visual	Advanced Simple Profile/5	1920 × 1080	40Mbps	30fps	
		MPEG2	Main Profile	1920 × 1080	50Mbps	30fps	
MKV	mkv	MPEG4-AVC (H.264)	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 High Profile/3.1	1920 × 1080	50Mbps	30fps	MP3 AAC WMA Vorbis FLAC PCM/ADPCM
		MPEG4-Visual	Advanced Simple Profile/5	1920 × 1080	40Mbps	30fps	
		MPEG2	Main Profile	1920 × 1080	50Mbps	30fps	
		RealVideo	Profile 8/9/10	1920 × 1080	40Mbps	30fps	
FLV	flv	MPEG4-AVC (H.264)	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 High Profile/3.1	1920 × 1080	50Mbps	30fps	MP3 AAC PCM/ADPCM
MPEG	mpg mpeg	MPEG4-AVC (H.264)	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 High Profile/3.1	1920 × 1080	50Mbps	30fps	MP3 AAC PCM/ADPCM
		MPEG2	Main Profile	1920 × 1080	50Mbps	30fps	
RMVB	rmvb rm	RealVideo	Profile 8/9/10	1920 × 1080	40Mbps	30fps	AAC RealAudio(cook mono/stereo)

MOV	mov	MPEG4-AVC (H.264)	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 High Profile/3.1	1920 × 1080	50Mbps	30fps	AAC
		MPEG4-Visual	Advanced Simple Profile/5	1920 × 1080	40Mbps	30fps	

注意

- 上記規格以外で書き込まれた動画ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

ラジオを聴く

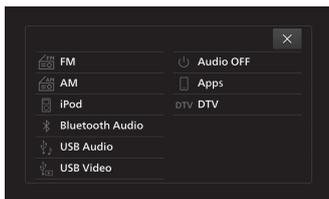
FM 放送や AM 放送のラジオの聴きかたについて説明します。

お知らせ

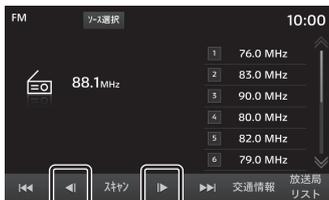
- 地域によってラジオ周波数は異なります。

1 マルチメディアメニューを表示する (→ P23)

2 FM または AM にタップする



3 ◀ または ▶ にタップして選局する

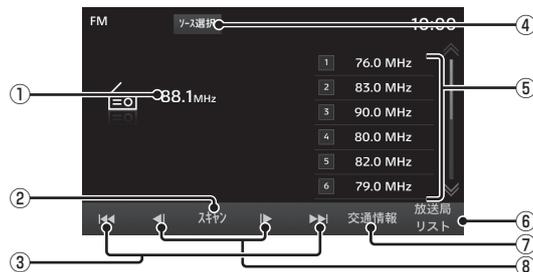


選局した周波数の音声が流れます。

アドバイス

- [TUNE/SOUND] キーを回転させることでも選局できます。→「本機について」(P14)
- [NAV] キーを押すことでオーディオ機能を使用しながらナビ画面を表示できます。[MEDIA] キーを押すとオーディオ画面に戻ります。

■ ラジオ放送情報画面について



① 周波数

現在選ばれている周波数を表示します。

② **スキャン**

受信できる放送局を探します。→「スキャンを開始する」(P50)

③ **◀▶**

受信できる放送局を1つずつ探します。

④ **ソース選択**

マルチメディアメニュー (P23) を表示します。

⑤ **プリセットボタン**

お好みの放送局を登録できます。(→P50)

⑥ **放送局リスト**

受信可能な放送局の一覧を表示します。
→「放送局リストから放送局を探す」(P51)

⑦ **交通情報**

交通情報を受信します。
受信を終了するには [交通情報 Off] にタップします。
→「交通情報を聴く」(P51)

⑧ **◀▶**

周波数を変更するときに使用します。

受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。

■ シークを開始する

受信できる放送局を1つずつ探します。

1 ラジオの放送情報画面で ◀◀ または ▶▶ にタップする



受信できる放送局が見つかると、音声流れます。

アドバイス

- ◀◀ または ▶▶ をロングタップ中は、受信可能な放送局を見つけてもシークを継続します。

■ スキャンを開始する

受信できる放送局を探します。

1 ラジオの放送情報画面で

スキャン にタップする



放送局を受信すると10秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。

スキャンを解除する

1 スキャン中に再度 **スキャン** にタップする

スキャンを解除します。

好みの放送局を登録する

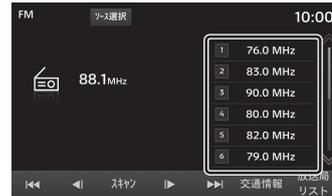
お好みの放送局をFMに12局、AMに6局まで記憶することができます。

1 ラジオ放送情報画面で ◀ または ▶ にタップし、登録したい“放送局”を探す

アドバイス

- [TUNE/SOUND] キーを回転させることで登録したい放送局を探せます。→「本機について」(P14)

2 登録したい“プリセットボタン”に「ピッ!」と鳴るまでロングタップする →「操作のしかた」(P17)



ロングタップしたプリセットボタンに選局した放送局を登録します。

放送局リストから放送局を探す

放送局をサーチして、受信できる放送局の一覧を表示します。

1 ラジオの放送情報画面で

放送局リスト にタップする

受信できる放送局一覧を表示します。

お知らせ

- ・ FM の場合は、放送局リストを表示する前に自動的に更新が行われます。

2 聴きたい“放送局”にタップする



放送局が切り換わります。

■ 放送局リストを更新する

受信できる放送局を手動で更新できます。

1 放送局リスト表示中に **更新** にタップする

受信できる放送局を一覧表示します。

交通情報を聴く

交通情報の聴きかたについて説明します。

1 ラジオの放送情報画面で

交通情報 にタップする

受信できる周波数の交通情報が流れます。

お知らせ

- ・ 本機では、1620kHz または 1629kHz のいずれかで受信できる周波数を自動的に受信します。
- ・ いずれの周波数も受信できない場合は最後に使用したオーディオソースに切り換わります。

■ 交通情報を OFF にする

1 ラジオの放送情報画面で

交通情報 Off にタップする

交通情報を終了し、交通情報を聴く前のオーディオソースの再生を再開します。

iPod を再生する

市販されている iPod 接続ケーブル、iPod を本機に接続することで、iPod の音声を本機で再生できます。ただし、iPod によっては対応していない場合があります。

注意

- ・運転中に iPod を手に持った操作は危険なため絶対に行わないでください。
- ・車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod 本体を車内に放置しないでください。
- ・本機と iPod を接続して使用しているときに iPod のデータが消失しても、その補償は致しかねます。
- ・取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合がありますのでデータのバックアップをおすすめします。

お知らせ

- ・本書では、iPhone/iPod をまとめて「iPod」と記載していますが「iPod」に iPhone も含んでいます。
- ・iPod を本機に接続した状態で操作してください。
- ・iPod の接続方法については、車両取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- ・iPod の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→P10)
- ・また、本書で説明する操作方法どおりに再生できない場合があります。
- ・ソフトウェアをアップデートすると、本機と接続して利用できる機能が変更される場合があります。
- ・iPod を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod と iPod 接続ケーブルを接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。
- ・正しく動作しないときは、iPod を本機から外してリセットし、再度接続してください。
- ・接続ケーブルを挟み込むなど、走行中に危険がないように設置してください。
- ・iPod を抜き差しするときは、安全のために車両を停止して、抜き差ししてください。
- ・iPod の状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- ・iPod 接続中は機器のボタンは操作できません。
- ・iPod の仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。

お知らせ

- ・iPod 内の音楽データによっては楽曲情報の表示が、正しく表示できない場合があります。
- ・車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- ・著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。
- ・iPod のイコライザー設定をフラットにすることをおすすめします。

1 マルチメディアメニューを表示する (→P23)

2 iPod にタップする

iPod 再生情報画面を表示します。

3 再生リストにタップして曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- [◀◀] または [▶▶] にタップして選曲することもできます。
- [TUNE/SOUND] キーを回転させることで選曲できます。→「本機について」(P14)
- 再生できるメディアが無い状態で [MEDIA] キーを押した場合、マルチメディアメニュー画面を表示します。
- [◀◀] または [▶▶] をロングタップ (P17) すると、再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- [NAV] キーを押すことでオーディオ機能を使用しながらナビ画面を表示できます。[MEDIA] キーを押すとオーディオ画面に戻ります。

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生などが行えます。

1 iPod 再生情報画面で変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	タップするたびに [全曲リピート] → [1曲リピート] → [リピートオフ] と切り換わります。 全曲リピート ：再生中の階層内にある曲を繰り返して再生します。 1曲リピート ：現在再生中の曲を繰り返して再生します。
シャッフル	タップするたびに [全曲シャッフル] → [シャッフルオフ] と切り換わります。 全曲シャッフル ：再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。

アドバイス

- リピート中は、シャッフル再生を行ってもリピートを継続します。

■ iPod 再生情報画面について



① 再生時間

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。

③ アーティスト / アルバム / 曲

タイトル情報があれば表示します。タップすると、それぞれ最大 128 文字分の情報を確認できます。

④

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。 または にロングタップ (P17) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑤

マルチメディアメニュー (P23) を表示します。

⑥

さまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

→ 「カテゴリーリストで探す」 (P55)

⑦

iPod を 2 台接続している場合、再生する iPod を切り換えることができます。

→ 「iPod の接続を切り換える」 (P55)

⑧ 再生リスト

音楽再生リストを表示します。再生したい曲 (トラック) にタップすると、再生を開始します。

⑨ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。

→ 「再生モードを変更する」 (P53)

カテゴリーリストで探す

リストにタップしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。

1 iPod 再生情報画面で **メニュー** にタップする

2 “カテゴリー” にタップする



カテゴリー

3 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。
手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。
リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。
-  にタップすると一つ前のリストに戻ります。

iPod の接続を切り換える

本機に iPod を2台接続している場合、再生する iPod を切り換えることができます。

1 iPod 再生情報画面で **iPod ストレージ** にタップする



2 接続したい“iPod”にタップする



再生する iPod が切り換わります。

3 再生したい曲にタップする

選んだ曲を再生します。

USB メモリーの音楽 ファイルを聴く

市販されている USB メモリーを本機に接続することで、USB メモリーに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

注意

- ・運転中に USB メモリーを手にとっての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- ・車内高温時の故障や盗難を避けるため、USB メモリーを車内に放置しないでください。
- ・ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のエンジン/パワースイッチを“OFF”にしてから取り外してください。
- ・USB メモリーのデータが消失しても、その補償は致しかねます。
- ・取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合がありますのでデータのバックアップをおすすめします。

お知らせ

- ・音楽ファイルが記録された USB メモリーを本機に接続した状態で操作してください。
- ・USB メモリーの接続方法については、車両取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- ・USB メモリーの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- ・USB メモリーの対応ファイルシステムは、FAT16、FAT32 です。
- ・USB メモリーの対応容量は、最大 32GB です。
- ・USB 接続ケーブルの対応規格は USB 1.1、2.0 です。
- ・USB メモリーを接続するときは、市販の接続ケーブルを使用してください。接続ケーブルを使用しないで接続すると USB 接続部に負荷がかかりコネクタが破損する場合があります。
- ・接続ケーブルを挟み込むなど、走行中に危険がないように設置してください。
- ・USB メモリーを抜き差しするときは、安全のために車両を停止して、抜き差ししてください。
- ・USB 端子に音楽機器以外のものを挿入しないでください。機器や装置が破損する場合があります。
- ・USB メモリーの状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- ・USB デバイスによっては、接続中は機器のボタンは操作できません。
- ・著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。

お知らせ

- ・USB メモリーの仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。
- ・USB メモリー内の音楽データによっては楽曲情報の表示が、正しく表示できない場合があります。
- ・車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- ・可変ビットレート (VBR) で記録されたファイルは、再生時間が正しく表示されない場合があります。

1 マルチメディアメニューを表示する (→P23)

2 **USB Audio** にタップする

再生情報画面を表示します。

3 再生リストにタップして曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- [◀◀] または [▶▶] にタップして選曲することもできます。
- [TUNE/SOUND] キーを回転させることで選曲できます。→「本機について」(P14)
- 再生できるメディアが無い状態で [MEDIA] キーを押した場合、マルチメディアメニュー画面を表示します。
- [◀◀] または [▶▶] をロングタップ (P17) すると、再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- [NAV] キーを押すことでオーディオ機能を使用しながらナビ画面を表示できます。[MEDIA] キーを押すとオーディオ画面に戻ります。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

お知らせ

- プレイリストを再生しているときは、変更できる再生モードの内容が変わります。カテゴリーリストからプレイリストの再生ができます。→「カテゴリーリストで探す」(P59)

1 USB Audio の再生情報画面で再生モードボタンにタップする



2 変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

 シングルリピート	現在再生中の曲を繰り返して再生します。
 フォルダーリピート	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 オールリピート	音楽再生リストに表示された全曲を繰り返して再生します。
 フォルダーランダム	現在再生中の曲があるフォルダーの全曲を順不同に再生します。
 オールランダム	音楽再生リストに表示された全曲を順不同に再生します。

プレイリストを再生しているとき

 シングルリピート	現在再生中の曲を繰り返して再生します。
 オールリピート	再生中の曲があるプレイリスト内の曲を繰り返して再生します。
 オールランダム	現在再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。

■ スキャン再生について

始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。

1 USB Audio の再生情報画面で

スキャン にタップする



スキャン再生を開始します。

アドバイス

- シングルリピート、オールリピート、オールランダム再生のときにスキャン再生を行うと、音楽再生リストに表示された全フォルダー内の先頭曲を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
- フォルダーリピート、フォルダーランダム再生のときにスキャン再生を行うと、フォルダー内のすべての曲を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
- プレイリストを再生中 (P59) は、スキャン再生ができません。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① 再生時間

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。

③ アーティスト / アルバム / 曲

タイトル情報があれば表示します。
タップすると、それぞれ最大 128 文字分の情報を確認できます。

④ **スキャン**

スキャン再生を開始します。もう一度タップすると、スキャン再生を停止します。

⑤ **◀◀**, **⏸**, **▶▶**, **▶▶▶**

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。**◀◀** または **▶▶▶** にロングタップ (P17) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑥ **ソース選択**

マルチメディアメニュー (P23) を表示します。

⑦ **メニュー**

さまざまなカテゴリーごとにリストを表示できます。→「カテゴリーリストで探す」(P59)

⑧ **USBストレージ**

USB メモリーを 2 台接続している場合、再生する USB メモリーを切り換えることができます。→「USB メモリーの接続を切り換える」(P59)

⑨ 再生リスト

音楽再生リストを表示します。
再生したい曲 (トラック) にタップすると、再生を開始します。

⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。→「再生モードを変更する」(P57)

カテゴリーリストで探す

リストにタップしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。

1 USB Audio の再生情報画面で

メニュー にタップする

2 “カテゴリー” にタップする



カテゴリー

3 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。
手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。
リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
-  にタップすると一つ前のリストに戻ります。
- プレイリストを再生するには、wpl ファイル(プレイリスト定義ファイル)が必要です。wpl ファイルはメディアのルート階層に格納してください。*1

*1 ルート以下のフォルダー階層と wpl ファイルのフォルダー階層が異なると、リストが認識できません。→「フォルダーの構成について」(P38)

USB メモリーの接続を切り換える

本機に USB メモリーを2台接続している場合、再生する USB メモリーを切り換えることができます。

1 USB Audio 再生情報画面で

USBストレージ にタップする



2 接続したい USB メモリーにタップする



再生する USB メモリーが切り換わります。

3 再生したい曲にタップする

選んだ曲を再生します。

USB メモリーの動画を見る

市販されている USB メモリーを本機に接続することで、USB メモリーに記録された動画ファイルを本機で再生できます。

1 マルチメディアメニューを表示する (→ P23)

2 **USB Video** にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

3 再生リストにタップして動画を選ぶ



選んだ動画の再生を開始します。

注意

- 走行中は音声のみとなります。
- 映像をご覧になるときは、停車禁止地区以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

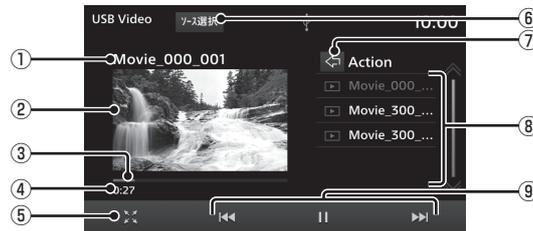
アドバイス

- 再生できるメディアが無い状態で [MEDIA] キーを押した場合、マルチメディアメニュー画面を表示します。
- **⏮** または **⏭** にタップして動画を選ぶこともできます。
- [TUNE/SOUND] キーを回転させることでも動画を選べます。→「本機について」(P14)
- **⏮** または **⏭** をロングタップ (P17) すると早送り、早戻しができます。

お知らせ

- 可変ビットレート (VBR) で記録されたファイルは、再生時間が正しく表示されない場合があります。

再生中に表示する操作画面について説明します。



① タイトル

再生している動画のタイトルを表示します。

② 動画表示エリア

動画の映像を表示します。ダブルタップ (P17) すると、全画面表示に切り換えます。全画面表示中にダブルタップすると、通常表示に戻します。

③ 進捗バー

進捗バーをタップすることで、再生位置を指定できます。

④ 再生時間

⑤ *1

全画面表示に切り換え、映像を拡大して表示します。

全画面表示時は  となり、タップすると通常画面表示に切り換わります。

⑥ ソース選択

マルチメディアメニュー (P23) を表示します。

⑦

1 つ上の階層または USB ストレージリスト*2 を表示します。

USB メモリーを 2 台接続している場合、再生する USB メモリーを切り換えることができます。

→ 「USB メモリーの接続を切り換える」 (P59)

⑧ 再生リスト

動画再生リストを表示します。

再生したい動画にタップすると、再生を開始します。

⑨ , , ,

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
 または  にロングタップ (P17) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

*1 全画面表示中は画面をタップすることでメニューを表示できません。

*2 USB メモリーに名前が設定されていない場合、「Root A」「Root B」と表示します。

テレビ機能について

本機では、地上デジタル TV チューナーを使った地上デジタル TV 放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最適な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。
- テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。

注意

- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV 番組 (有料番組) に対応していません。
- TV 視聴中に表示される時計表示は、地上デジタル TV チューナーが放送波で受信した時刻を表示しています。ナビ画面で表示している時刻 (P87) や車両装備の時刻と異なる場合があります。

テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

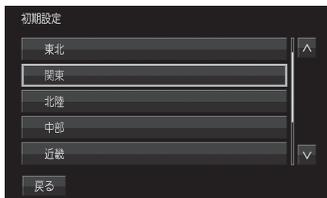
1 マルチメディアメニューを表示する (→P23)

2 [DTV] にタップする

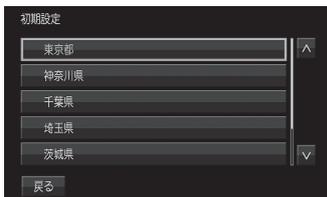
3 [居住地域] にタップする



4 設定したい“地方”にタップする



5 設定したい“都道府県”にタップする



6 [スキャン開始] にタップする



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- ・受信状態によりしばらく時間がかかります。
- ・スキャン中に [中止] にタップすると、中止します。
- ・スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 [完了] にタップする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ・ホームCHには最大12局まで登録できます。
- ・[キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

お知らせ

- ・初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は、映像表示するまでにしばらく時間がかかります。
- 2回目以降は表示に時間はかかりません。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号”にタップする

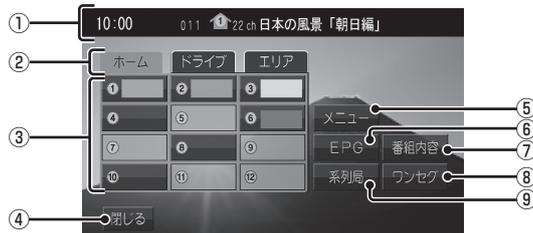


リモコン番号

選んだ放送局の番組を表示します。

画面をタップして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバーナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

🏠 マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

🏠 : ホーム CH

🚗 : ドライブ CH

🏘️ : エリア CH

(画面のリモコン番号は「1」)

② CHモード

ホーム にタップすると、ホームCHスキャン(P72)で登録した放送局を選べます。

ドライブ にタップすると、ドライブCHスキャン(P73)で登録した放送局を選べます。

エリア にタップすると、現在地で見ることが出来る放送局を選べます。

③ リモコン番号 (→P63,75)

タップすると、登録された放送局を表示します。ロングタップ(P17)することで“リモコン番号”の割り当てを変更できます。放送局のロゴマークは、各放送局を一定時間受信すると表示します。

④ 閉じる

操作パネルを消します。

⑤ メニュー (→P74,P76,P166,171)

各種設定を行います。

⑥ EPG (→P69)

電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ 番組内容 (→P67)

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ ワンセグ/フルセグ (→P75)

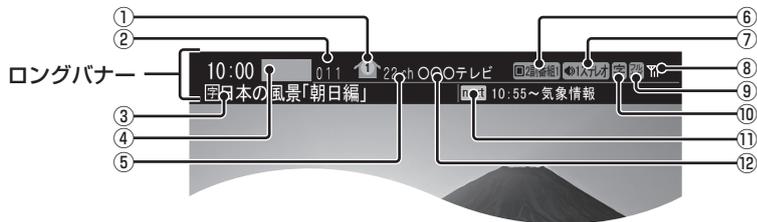
フルセグとワンセグを切り換えます。ロングタップ(P17)することで、自動ワンセグ切り換え(P75)の設定ができます。

⑨ 系列局 (→P70)

系列局の放送局を表示します。ロングタップ(P17)することで系列局サーチを開始します。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト (P70) から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。ノーマルバナー (P64) よりも詳しい情報を表示します。



① 上マーク

マークで CH モードおよび選局中のリモコン番号を示します。

↑ : ホーム CH

↓ : ドライブ CH

📶 : エリア CH

(画面のリモコン番号は「1」)

② 3桁チャンネル番号

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わせられた番号を表示します。フルセグでは 011 番から、ワンセグは 611 番から始まります。

③ 番組名

現在放送中の番組名を表示します。

④ ログマーク

放送局のロゴマークまたは放送局名(省略名)を表示します。
一定時間受信すると表示します。

⑤ 物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号 (13ch ~ 52ch まで) です。

⑥ 映像情報 (→ P76)

複数の映像があるときに表示します。

⑦ 音声モード

放送中の音声モードを表示します。

🔊 : ステレオ

🔊 : モノラル

🔊 : サラウンド

※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。

⑧ 受信強度

受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ 放送モード (→ P75)

フルセグを見ているときは 📺、ワンセグを見ているときは 📺 を表示します。
放送モードは切り換えることができます。

⑩ 字幕情報

字幕放送中の番組で表示します。
「視聴設定」の [字幕 / 音声] で切り換えることができます。
→ 「TV の設定」 (P166)

⑪ 次の番組名

次に放送される番組名を表示します。

⑫ 放送局名

放送局名を表示します。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード

ホームCH にタップすると、ホームCHスキャン(P72)で登録した放送局を選べます。

ドライブCH にタップすると、ドライブCHスキャン(P73)で登録した放送局を選べます。

エリアCH にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号 (→P63,75)

タップすると、登録された放送局を選局します。映像は表示されません。

④ ワンセグ/フルセグ (→P75)

フルセグとワンセグを切り換えます。

⑤ 系列局サーチ (→P70)

系列局サーチを開始します。再度、タップすると中止します。

⑥ ドライブCHスキャン (→P73)

タップすると、初期ドライブCHスキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

CHモードを切り換える

ホームCH、ドライブCH、エリアCHを切り換えます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 切り換えたい“CHモード”にタップする

ホームCH



ドライブCH



CHモードが切り換わります。

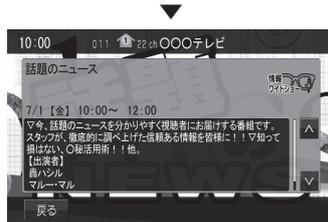
CHモードについて

ホーム	お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録しています。あらかじめ「ホーム CH スキャン」を行う必要があります。 →「はじめてテレビを見るとき」(P63)
ドライブ	旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブ CH スキャン」を行う必要があります。 →「ドライブ CH スキャンを行う」(P73)
エリア	位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

- 1 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 2 **番組内容** にタップする



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- [戻る] にタップすることで閉じることができます。

■ 記号について

番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

	マルチ番組
	二重音声
	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

緊急警報放送について

「緊急放送自動切換」を [ON] に設定しておく
と、緊急警報放送を受信した場合、自動で緊
急警報放送へ切り換わります。

→ 「緊急放送」(P169)

お知らせ

- ・ 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開
始しても、自動的に切り換わりません。

注意

- ・ 緊急警報放送を受信しても、テレビの映
像は安全のため走行中は表示されませ
ん。テレビをご覧になるときは、安全な
場所に停車してください。

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表 (EPG) を表示し、見たい番組を探することができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタップする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタップする



選択した番組の放送局を選局します。

アドバイス

- ・本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- ・[戻る]にタップすることで番組表を閉じることができます。

■ 番組表を取得するには

番組表を手動で取得できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタップする

3 更新 にタップする

番組表の取得を開始します。

アドバイス

- ・番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- ・取得中に再度 [更新中止] にタップすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

ワンセグ放送は現在放送中の10番組分、フルセグ放送は8日分の番組内容を確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタップする

3 表示切換 にタップする

4 “CH 切換” の <> にタップし、見たい“放送局”を選ぶ



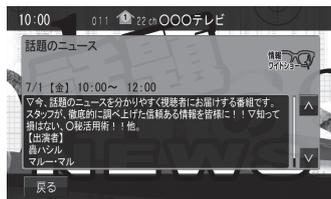
5 前日 または 翌日 にタップして見たい“日付”を選ぶ



次のページにつづく

放送局を探す 69

6 見たい“番組”にタップする



番組の詳細な内容を表示します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

チャンネルリストから探す

ホーム CH スキャン (P72) やドライブ CH スキャン (P73)、エリア CH (P66) で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **CH一覧** にタップする

現在見ているホーム CH またはドライブ CH の一覧を表示します。

4 **フルセグ** または **ワンセグ** にタップする



5 見たい“放送局”にタップする

選択した放送局を選局します。

系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **系列局** にタップする



系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- [系列局] にロングタップ (P17) すると系列局サーチを開始します。系列局が見つかると切り換わります。中止する場合は [中止] にタップします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **ホーム** にタップする

3 ステアリングリモコンの **<** キー または **>** キーを押し続ける



シークを開始し、受信できる放送局が見つかる则表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は [中止] にタップします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。
- ホーム CH またはエリア CH のときのみ操作が可能です。

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホーム CH やドライブ CH に放送局を登録します。

ホーム CH スキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホーム CH スキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

3 **初期設定** →

ホーム CH スキャン に
タップする

4 **初期ホーム CH スキャン** に タップする

5 **居住地域** にタップする

6 “地方” にタップする



7 “都道府県” にタップする

8 **スキャン開始** にタップする



初期ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

9 **完了** にタップする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ・ ホーム CH には最大 12 局まで登録できます。
- ・ [キャンセル] にタップした場合はホーム CH に登録されません。

■ 再ホーム CH スキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

3 **初期設定** →

ホーム CH スキャン に
タップする

4 **再ホーム CH スキャン** に タップする

5 **スキャン開始** にタップする



再ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 表示された内容を確認し、

次へ にタップする

以降の操作は、「初期ホーム CH スキャン」(P72) の手順 9 以降と同じです。

ドライブ CH スキャンを行う

旅行先など（一時的に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブ CH のリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブ CH スキャン

現在のドライブ CH を消して、新たにドライブ CH を登録しなおします。

1 画面にタップする

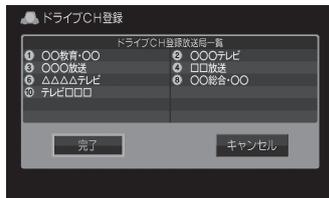
テレビの操作画面を表示します。

2 **ドライブ** にタップする

ドライブ CH に切り換えます。

3 ステアリングリモコンの **▶** キーを押し続ける

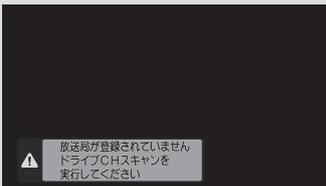
初期ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 **完了** にタップする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- はじめてドライブ CH スキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに、ステアリングリモコンの **▶** キーを押し続けてください。



- ドライブ CH は最大 12 局まで登録できます。
- [キャンセル] にタップした場合はドライブ CH に登録されません。

■ 再ドライブ CH スキャン

初期ドライブ CH スキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

アドバイス

- 再ドライブ CH スキャンで登録する放送局の合計が 13 局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブ CH スキャンを行ってください。
→ 「初期ドライブ CH スキャン」(P73)

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **ドライブ** にタップする

ドライブ CH に切り換えます。

3 ステアリングリモコンの **◀** キーを押し続ける

再ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 表示された内容を確認し、**次へ** にタップする

以降の操作は、「初期ドライブ CH スキャン」(P73) の手順 4 以降と同じです。

情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認できます。

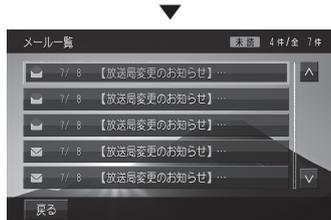
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

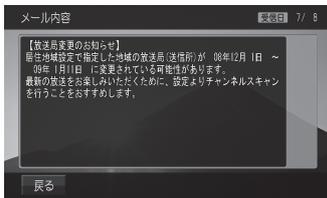
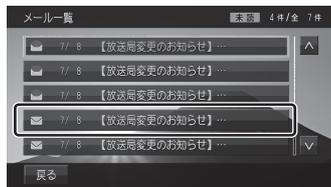
設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **メール** にタップする



メール一覧を表示します。

4 読みたい“メール”にタップする



選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- ・ [戻る] にタップするとメール一覧に戻ります。
- ・ メール の保存件数は放送メールと内部メールで、各 7 通ずつです。それぞれ 7 通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

デバイス ID を確認する

受信機のメーカー ID や放送局ごとに管理されているメーカー ID を確認できます。

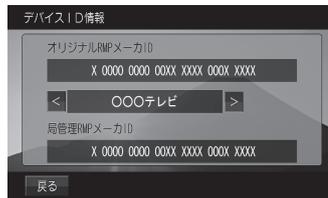
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **デバイス ID** にタップする



デバイス ID の情報を表示します。

アドバイス

- ・ [←] または [→] にタップして、放送局を切り換えると、各放送局のメーカー ID を確認できます。

ソフトウェアバージョンを確認する

本機のソフトウェアバージョンを確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **S/W バージョン** にタップする



本機のソフトウェアバージョンを表示します。

その他の操作

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号を変更できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 変更したい“リモコン番号”にタップする

3 変更先の“リモコン番号”にロングタップする



変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”には登録できません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。
- エリア CH 表示時はリモコン番号の変更はできません。

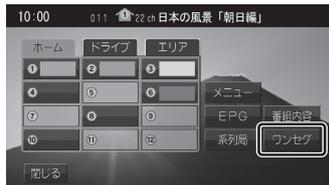
フルセグとワンセグを切り換える

フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

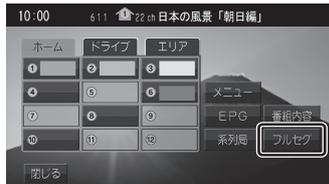
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 「ワンセグ/フルセグ」にタップする



ワンセグ



「ワンセグ/フルセグ」をタップするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

アドバイス

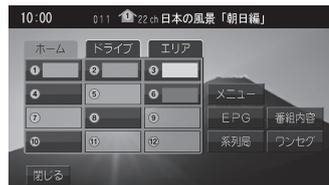
- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り換えの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 「ワンセグ/フルセグ」にロングタップする

→「操作のしかた」(P17)



「ワンセグ/フルセグ」にロングタップするたびに「ON(フルセグ視聴優先)」→「ON(ワンセグ視聴優先)」→「OFF」と切り換わります。

次のページにつづく

その他の操作 75

ON (フルセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON (ワンセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。 [ワンセグ/フルセグ]にタップする操作で切り換えます。

アドバイス

- ・「受信機設定」の[自動選局]でも設定を変更できます。
→「TVの設定」(P166)
- ・地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また、一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。
このような場合、自動ワンセグ切換をON(フルセグ視聴優先/ワンセグ視聴優先)に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換をOFFに設定してお使いください。

映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **視聴設定** → **信号切換** に タップする

4 **映像** または **音声** にタップする



5 切り換えたい「情報」にタップする



選択した情報の設定に切り換わります。

映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているとき(二ヶ国語放送)に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定] → [字幕/音声]の「二重音声設定」で切り換えることができます。
→「TVの設定」(P166)

外部入力機器

Bluetooth Audio を使う

本機では、市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を再生できます。

注意

- 運転中に Bluetooth 対応オーディオ機器を手にとっての操作は危険なため絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、Bluetooth オーディオ機器を車内に放置しないでください。
- Bluetooth オーディオ機器のデータが消失しても、その補償は致しかねます。
- 取り扱いによっては音楽ファイルが破損、消失する場合がありますのでデータのバックアップをおすすめします。

お知らせ

- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- ソフトウェアをアップデートすると、本機と接続して利用できる機能に変更される場合があります。
- 市販されている Bluetooth 対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。

お知らせ

- Bluetooth 対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になる恐れがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。→「音量を調節する」(P15)
- Bluetooth オーディオ機器の状態によっては機器の認識、再生開始まで時間がかかる場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器の仕様や設定により接続できない場合や、動作、表示などが異なる場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器内の音楽データによっては、楽曲情報が正しく表示できない場合があります。
- 車両や機器の状態によりエンジン始動時に続き再生にならないことがあります。
- 著作権情報の含まれるデータは再生できない場合があります。
- Bluetooth オーディオ機器のイコライザー設定をフラットにすることをおすすめします。

■ 対応プロファイルと対応機能について
各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力*1	○

*1 サンプルレート：44.1kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4以上
再生 / 一時停止の操作	○	○	○
早送り / 早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
アルバムの選択操作	×	×	×
リピート再生の操作	×	○	○
リスト表示	×	×	○
再生情報の表示	×	○	○
バッテリー残量の表示	○	○	○
アルバムリストの表示	×	×	×
アルバムリストからの選曲	×	×	×

Bluetooth 対応オーディオ機器を接続する

本機と Bluetooth 対応オーディオ機器は、Bluetooth 機能を使用して接続します。接続のしかたについては「Bluetooth の設定」(P176)をお読みください。以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- iPod を Bluetooth 対応オーディオ機器として、本機に Bluetooth 接続した場合、iPod と iPod 接続ケーブルを接続しないでください。同時に接続を行うと正常に動作しません。

1 マルチメディアメニューを表示する (→P23)

2 **Bluetooth Audio** にタップする
Bluetooth Audio の再生情報画面を表示します。

3 **⏮** または **⏭** をタップして
曲を選ぶ



アドバイス

- [TUNE/SOUND] キーを回転させることで選曲できます。→「本機について」(P14)
- 再生できるメディアが無い状態で [MEDIA] キーを押した場合、マルチメディアメニュー画面を表示します。
- **⏮** または **⏭** をロングタップ (P17) すると、再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- [NAV] キーを押すことでオーディオ機能を使用しながらナビ画面を表示できます。[MEDIA] キーを押すとオーディオ画面に戻ります。

■ 再生情報画面について



① デバイス名^{※1}

接続中の機器のデバイス名を表示します。情報がなければ「No name」と表示します。

② アーティスト/アルバム/曲^{※1※2}

タイトル情報があれば表示します。タップすると、それぞれ最大128文字分の情報を確認できます。

③ トラックナンバー^{※1※2}

トラックナンバーを表示します。

④ 再生時間

⑤ **スキップ**^{※1※2}

スキップ再生を開始します。もう一度タップすると、スキップ再生を停止します。→「スキップ再生について」(P79)

⑥ **⏮**, **||**, **⏭**, **⏭**

トラックの選択や再生/一時停止が行えます。**⏮** または **⏭** にロングタップ (P17) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑦ **ソース選択**

マルチメディアメニュー (P23) を表示します。

⑧ 再生リスト^{※3}

音楽再生リストを表示します。再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

⑨ 再生モードボタン^{※1※2}

各ボタンにタップして再生モードを変更します。

→「再生モードを変更する」(P79)

※1 お使いの Bluetooth 機器が対応していない場合や、情報取得できないときは表示しません。

※2 AVRCP が v1.0 のときは表示しません。

※3 AVRCP が v1.4 以上のときに表示します。

再生モードを変更する

リピート再生が行えます。

※ AVRCP が v1.0 のときはこの機能をご利用になれません。

1 Bluetooth Audio の再生情報画面で、再生モードボタンにタップする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

※ Bluetooth 対応のオーディオ機器の種類によっては、再生モードの内容が異なるまたは対応していない場合があります。

リピート	タップするたびに (オールリピート) → (シングルリピート) → (リピート Off) と切り換わります。 オールリピート ：音楽再生リストに表示された全曲を繰り返して再生します。 シングルリピート ：現在再生中の曲を繰り返して再生します。
ランダム	タップするたびに、ON → OFF と切り換わります。 ランダム ：音楽再生リストに表示された全曲を順不同に再生します。

■ スキャン再生について

始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。

※ Bluetooth 対応のオーディオ機器の種類によっては、スキャン再生ができません。

1 Bluetooth Audio の再生情報画面で、**スキャン** にタップする



スキャン再生を開始します。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作の説明を行います。

基本操作

ナビゲーション機能について

お知らせ

- 本機のナビゲーション機能と AppleCarPlay/AndroidAuto のナビゲーション機能は、連動しておりません。本機でルートを設定すると AppleCarPlay/AndroidAuto で設定したルートは解除され、反対に AppleCarPlay/AndroidAuto でルートを設定すると本機で設定したルートは解除される場合があります。本機でルート案内中に、ルート案内中のスマートフォンを接続すると、本機のルート案内は解除され AppleCarPlay/AndroidAuto で設定したルートを継続します。

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GNSS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GNSS(Global Navigation Satellite System)

衛星を利用して位置を検出するシステムを「GNSS」といいます。本機は、「GPS」、「SBAS」、「GLONASS」、「QZS(準天頂衛星)」の衛星を利用しています。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。

■ QZS(Quasi-Zenith Satellite)

別名「準天頂衛星」とも呼ばれます。ある一定の場所に、長時間滞在する軌道をとる人工衛星のことです。日本の天頂付近に長時間滞在するため、GPS衛星だけでは測位が困難だった場所でも、準天頂衛星の補完によって測位が向上します。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて



自車の位置は、GPS 衛星および準天頂衛星からの微弱な電波を「GPS アンテナ」で受信して測位しています。

アドバイス

人工衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。

- ・ ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
- ・ GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC のアンテナを取り付けたりしないでください。
- ・ 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどある場合があります。

測位について

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などは人工衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自律航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなることがあります。

■ 誤差について

人工衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されないことがあります。しばらく走行して人工衛星から電波を受信できるようになると現在地のずれは自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- ・ 高速道路と一般道路が近くにあるとき
- ・ 碁盤目状の道路を走行しているとき
- ・ 勾配の急な山岳路を走行しているとき
- ・ 直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- ・ エンジン / パワースイッチ ON 直後
- ・ 渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- ・ タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・ ターンテーブルなどで旋回したとき
- ・ 角度が小さい Y 字路を走行しているとき
- ・ フェリーなどで車両運搬移動した後
- ・ 立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- ・ 広い道路で蛇行運転しているとき
- ・ 応急用タイヤなどに交換したとき
- ・ 雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ 3次元測位について

4個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の3次元の位置を計算します。

■ 2次元測位について

3個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で3次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の2次元の位置を計算します。この場合3次元測位よりも位置精度は低下します。

■ 非測位について

人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。

ルートの探索方法について

- ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- フェリーを使うルートは通常の道路より推奨しにくく設定してあります。このためフェリーを使ったほうが早く目的地に到着する場合でも、フェリーを使わないルートを表示することがあります。
- 有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地にする場合は周辺施設検索から選択し、地図をスクロールせずに設定してください。
- 同じ場所を目的地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- 通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- 目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- 道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 規制情報を考慮したルートを探査する場合があります。
- スマートICを通るルートを探査した場合、スマートICに設けられている対象車種制限は考慮していません。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート外の場合は、ルートから外れた場所から次の目的地までのルートの距離を表示します。
- 目的地への到着予想時刻表示は、地図データに格納されている所要時間データを元に走行情報を学習して算出しています。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなどに、外れる前のルートに対する音声案内をすることがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になる恐れがあります。
- ルートは地図データを使って探索します。実際の工事規制や一方通行などの通行規制と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されます。運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー（タイヤの回転数に比例）で測定しています。新品または規定外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

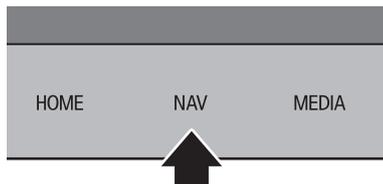
NAVI メニューについて

NAVI メニューの表示方法や表示内容について説明します。

NAVI メニューを表示する

目的地の設定やルートの編集がこのメニューから行えます。

1 NAV キーを押す



2 MENU にタップする



NAVI メニューを表示します。

アドバイス

- [NAV] キーを押すと、現在地画面を表示します。

NAVI メニューからできる操作

NAVI メニューからできる操作や内容について説明します。

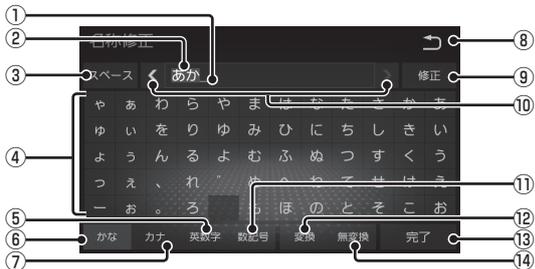


メニュー名	説明
再探索	ルートを編集することができます。目的地を設定すると表示できます。→「ルートの確認・編集」(P110)
周辺検索	現在地やルート周辺の施設を探ることができます。→「周辺の施設を探す」(P107)
メモリ地点	自宅などのメモリ地点を編集できます。→「メモリ地点の設定」(P116)
目的地設定	さまざまな方法で、目的地を探すことができます。→「場所を探す」(P102)
設定	ナビゲーション機能の各種設定が行えます。→「ナビ設定」(P135)

文字入力のしかた

文字入力キーボードについて説明します。

文字入力用キーボード



① カーソル

カーソルの左側に文字が入力されます。

② 入力文字表示部

“背景が青色”のときは確定前の文字で[変換]で漢字に変換できます。

③ [スペース]

一文字分の空白を入力します。

④ 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

⑤ [英数字]

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑥ [かな]

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑦ [カナ]

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑧ [↶]

1つ前の画面に戻ります。

⑨ [修正]

入力中の文字を一文字削除します。

⑩ [←]、[→]

カーソルの位置を移動します。

⑪ [記号]

入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑫ [変換]

確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。

→「変換候補のリストについて」(P86)

⑬ [完了]

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑭ [無変換]

確定前の文字を変換せずに確定します。

⑮ [小文字] / [大文字]

タップで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

⑯ [半角] / [全角]

入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないボタンや別のボタンになることがあります。

■ 変換候補のリストについて

文字入力キーボードで [変換] にタップすると表示する変換候補リストについて説明します。



- ① ←、→
変換範囲を変更できます。
- ② 全確定
未確定の文字をすべて確定します。
- ③ 変換候補
タップした変換候補で確定します。
- ④ ↑、↓
変換候補をスクロールします。

■ 入力できる文字の種類

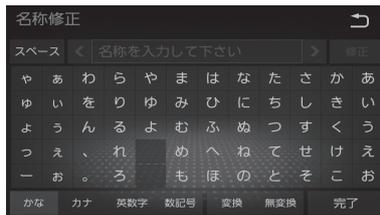
入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。

文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。

ただし、機能によって入力できる文字を制限することがあります。

(例:「電話番号から探す」(P105)では数字のみ)

ひらがな



カタカナ



アルファベット / 数字



記号 / 数字



■ 数字入力用キーボード

電話番号など数字のみを入力できるように用意されています。



ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

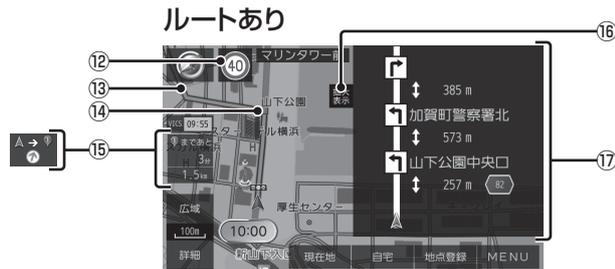
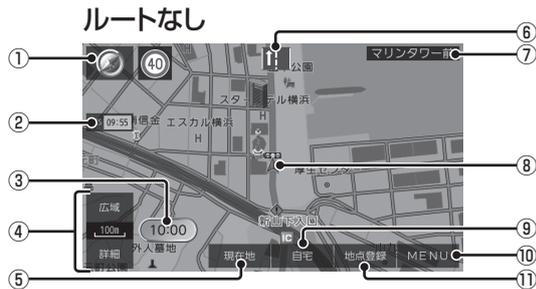
お知らせ

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画面は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

■ 現在地画面

[NAV] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① (→ P92)

タップすると、ビュー切替画面を表示します。
また、施設の表示設定や VICS などの設定
ができます。

② VICS 提供時刻 (→ P125)

VICS 情報の提供時刻を表示します。
タップすると VICS メニューを表示します。

③ 時計

現在時刻を表示します。

④ (→ P94)

表示されている地図の縮尺を示します。
[広域]または[詳細]にタップすると、縮
尺を変更できます。

⑤ (→ P89)

現在地画面を表示します。
タップすると、現在地付近の住所と座標が
確認できます。

⑥ ^{*}1

レーン情報が存在すると表示します。

⑦ 道路情報 / 交差点名^{*}1

国道、県道情報または交差点名を表示します。

⑧ 自車位置マーク

矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行
方向を示します。

⑨ 自宅 (→ P99)

あらかじめ登録しておいた自宅を目的地に
設定します。

⑩ MENU (→ P84)

NAVI メニューを表示します。

次のページにつづく

⑪ 地点登録 (→P117)

現在地もしくはスクロール位置を地点登録します。

⑫ 速度制限標識*¹ (→P91)

自転車走行中の道路に制限速度情報がある場合に表示します。

⑬ ルート

目的地までの道のりを色分けした線を表示します。

薄青線 (黒ふち)	次の目的地までの一般道
薄青線	次の目的地までの細街路
白線 (濃青ふち)	目的地が複数ある場合、次の目的地以降の一般道
濃青線	目的地が複数ある場合、次の目的地以降の細街路

⑭ マーク

曲がる交差点を示しています。

⑮ 目的地情報

次の目的地までの所要時間、距離または方向を示します。所要時間は、到着時刻(P137)に変更できます。

⑯ 拡大表示*¹ (→P90)

道路情報を次に曲がる交差点までの距離と曲がる方向を示した画面に切り換えます。

レーン表示*¹

前方の交差点にレーン情報が存在すると、交差点情報とレーン案内を表示します。

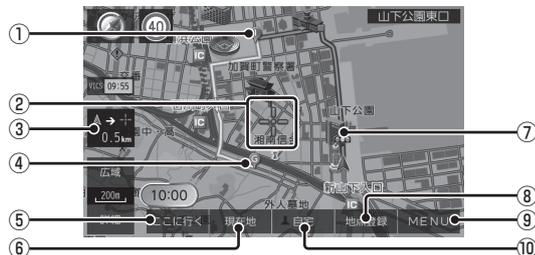
⑰ 道路情報*¹

目的地までに通る国道などの道路情報を表示します。

*¹ 道路や走行状況によっては、表示されない情報があります。

■ スクロール画面

地図スクロール(P94)を行ったときに表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① マーク

複数設定された目的地(P101)を📍マークで示します。

目的地は5つまで設定でき、通過する順に📍、📍、📍、📍、📍と表示します。

② 十字マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。

③ 自転車位置までの距離

📍マークから自転車位置までの距離を表示します。

④ 📍マーク

設定された目的地(P101)を📍マークで示します。

⑤ ここに行く (→P101)

目的地を設定します。

⑥ 現在地 (→P89)

現在地画面を表示します。

タップすると、現在地付近の住所と座標が確認できます。

⑦ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑧ 地点登録 (→P117)

現在地もしくはスクロール位置を地点登録します。

⑨ MENU (→P84)

NAVIメニューを表示します。

⑩ 自宅 (→P99)

あらかじめ登録しておいた自宅を目的地に設定します。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路(細街路)は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

現在地画面を表示する

スクロール画面 (P88) や NAVI メニュー (P84) などから現在地画面 (P87) を表示できます。

アドバイス

- オーディオ画面などその他の機能からも現在地画面を表示できます。

1 NAV キーを押す



現在地画面を表示します。

案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。

レーンの情報や交差点までの距離、交差点名、方面名称を表示します。

レーン案内

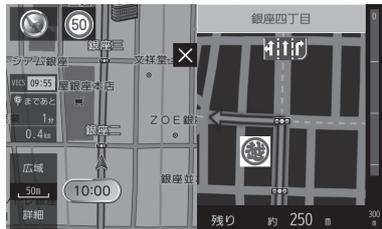
走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

複数の交差点情報がある場合は色を分けて表示します。



拡大表示

曲がる直前に交差点を拡大表示します。交差点までの距離は、残距離バーでも表示します。



アドバイス

- レーン案内 / 拡大表示は [×] にタップすると表示を消すことができます。



- 再度表示するには [拡大表示]、[レーン表示] にタップします。また、[現在地]、[NAV] キーを押すことでも表示できます。



ジャンクションビュー

高速道路の分岐点に近づくと、イラストで案内します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 実際のジャンクションの形状と異なる場合があります。
- すべての分岐点を案内するわけではありません。

速度制限情報案内

走行中の道路の速度制限情報を表示します。



注意

- 実際の速度標識と異なる場合があります。

アドバイス

- すべての道路の速度制限情報を案内するわけではありません。

地図画面を設定する

ビュー切替画面で地図の表示状態を切り換えたり、ランドマークの表示や VICS 交通情報を変更したりすることができます。

地図画面を選択する

1 地図アイコンにタップする



2 切り換えたい設定にタップする



地図の向き、種類が切り換わります。

地図向きについて

切り換えることのできる地図の向きについて説明します。

■ 北基準

北を上とした地図を表示します。



■ 自転車基準

自転車の進行方向を上とした地図を表示します。



地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

■ スタンダード 2D

「自転車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。



■ スタンダード 3D

上空から見下ろした地図を表示します。



■ 高速略図

現在地を起点とした高速出入り口やサービスエリアの一覧を表示します。

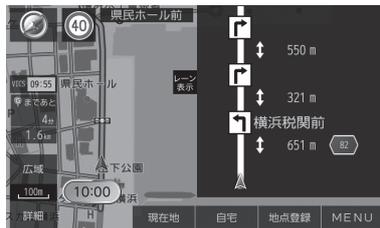


アドバイス

- 高速略図では、さまざまな情報を確認できます。→「高速道路情報について」(P97)
- 高速略図を選択するには高速道路を走行している必要があります。
- 地図と高速略図を組み合わせた表示となります。
- 各施設までの距離および情報を調べることができます。

■ ターンリスト

交差点名称と交差点までの距離を示した一覧を表示します。



■ 走行軌跡

地図上に走行軌跡を表示するしないを設定します。また、蓄積した走行軌跡を消去することができます。



■ 周辺施設の表示を個別に設定する

地図上に表示したい施設を設定できます。

1 にタップする

2 **周辺施設表示設定** にタップする

3 表示したい施設にタップする



▼
選択した施設を枠内に表示します。

4 **決定** にタップする

▼
表示する施設の選択が完了します。

アドバイス

- [その他施設を表示] をタップすることでさらに細かく設定できます。
- 施設を地図画面に表示しない場合は[一括解除]にタップします。
- 縮尺が25m～800mのときに表示します。

地図を操作する

縮尺の切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

地図の縮尺を変更する

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

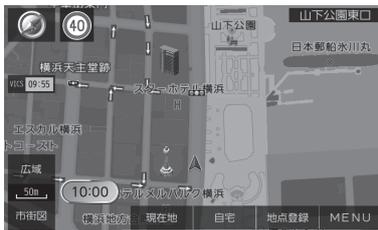
- 1 **広域** または **詳細** にタップし、縮尺を変更する



タップするたびに縮尺が切り換わります。

市街地地図について

縮尺を 25/50m にするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示できます。



アドバイス

- 50m 地図は市街地地図と詳細地図があります。
- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。

- 1 フリックまたはスライドして、見たい場所まで画面をスクロールする

→「操作のしかた」(P17)



+ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- 地図にタップすると、タップした地点まで画面をスクロールします。
- [現在地] にタップすると現在地画面に戻ります。

地図スクロールからの操作

地図をスクロールし、目的地やメモリ地点の設定ができます。

目的地に設定する

スクロール画面 (P88) の  地点を目的地に設定します。

1 スクロール画面 (P88) の **ここに行く** にタップする

2 “8方向” にタップする



数回タップし、スクロール位置の微調整を行います。

3 **ここに行く** にタップする

4 **案内開始** にタップする

目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

複数の目的地を設定する

スクロール画面 (P88) の  地点を目的地 2 や 3 に設定します。

お知らせ

- 目的地を設定している必要があります。

1 スクロール画面 (P88) の **ここに行く** にタップする

2 “8方向” にタップする



数回タップし、スクロール位置の微調整を行います。

3 **ここを追加** にタップする

4 **案内開始** にタップする

ルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

メモリ地点に設定する

スクロール画面 (P88) の  地点をメモリ地点に設定します。

1 スクロール画面 (P88) の **地点登録** にタップする

 マークが表示され、メモリ地点の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示されるメモリ地点情報を変更できます。
→ 「メモリ地点を変更する」 (P118)

施設情報を見る

スクロール画面 (P88) の  地点に赤枠が表示されるランドマークは、施設情報を表示できます。

お知らせ

- 施設情報を確認する場合は、地図縮尺を「800m 以下」にする必要があります。

1 スクロール画面 (P88) の **情報** にタップする



施設情報を表示します。

高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

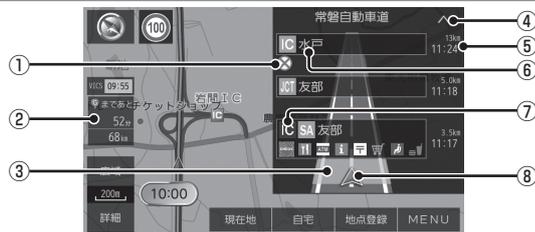
アドバイス

本書で使用している高速道路の略語は以下のとおりです。

- ・ SA：サービスエリア
- ・ PA：パーキングエリア
- ・ IC：インターチェンジ
- ・ JCT：ジャンクション

高速略図は、都市間高速道路、都市高速道路および一部の有料道路や自動車専用道路について表示されます。

表示内容について



① VICS 記号表示

IC、JCT などの施設を拠点とした規制と各区間中にある規制を表示します。

② 所要時間

目的地に到着するまでの所要時間や残距離を表示します。

③ 渋滞情報

混雑 (黄)、渋滞 (赤) の状況を色で表示します。

④ ▲, ▼

リストを前に進めたり戻したりできます。

⑤ 残距離、到着時間表示

自車位置から SA、PA、IC、JCT までの距離と到着時間を表示します。

⑥ 施設名表示

SA、PA、IC、JCT の名称を表示します。降りることができないインターチェンジは表示されません。

⑦ スマート IC アイコン

スマート IC がある施設に表示します。

⑧ 自車位置マーク

走行している区間を示しています。

施設の情報について

施設の情報が表示されます。



アイコン例

アイコン	マークの説明
	レストラン
	インフォメーション
	トイレ
	キャッシュコーナー
	スナックコーナー
	身障者施設
	郵便ポスト
	ショッピングコーナー

表示するには

高速略図を表示することができます。

アドバイス

- 目的地を設定している場合は自動で高速略図を表示するのでこの操作は必要ありません。
- 高速道路上に自車がないなど、一定の条件が満たされていない場合、高速略図は表示できません。

1 にタップする



2 **高速略図** にタップする

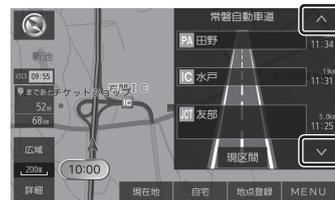


高速略図を表示します。

各エリアの情報を確認する

SA、PA、IC、JCTの各エリアの情報を確認できます。

1 または にタップする



高速略図を前に進めたり戻したりできます。また、施設情報を表示します。

アドバイス

- 自車より後方には戻せません。
- 施設名のリストを進めている場合は [現区間] が表示され、タップするとリストを現在地の区間を表示します。

目的地の設定

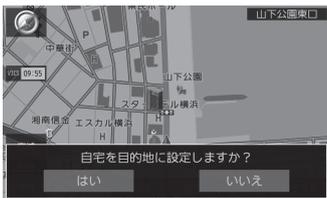
自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 (P116) を目的地に設定します。

1 地図画面で **自宅** にタップする



2 **はい** にタップする



探索条件設定画面 (P109) を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。→「自宅を登録する」(P116)
- すでに目的地を設定している場合、自宅を新たな目的地に設定するか、目的地を追加するかを選択する画面を表示します。

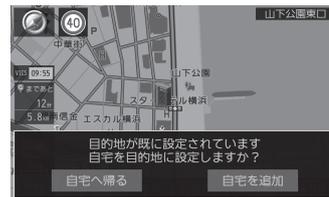
3 **案内開始** にタップする

自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

自宅を目的地に追加する

1 地図画面で **自宅** にタップする

2 **自宅を追加** にタップする



アドバイス

- あらかじめ目的地を設定している場合に表示します。→「自宅を登録する」(P116)

3 目的地に設定したい位置の **設定** にタップする



4 **案内開始** にタップする

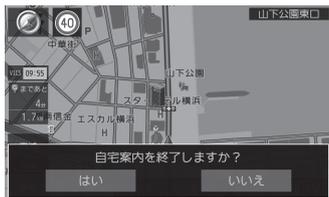
ルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

自宅案内を終了する

1 地図画面で **自宅案内中** にタップする



2 **はい** にタップする



自宅案内を終了します。

探した場所を目的地に設定する

「場所を探す」(P102) から探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 NAVI キー→ MENU にタップする

NAVI メニューを表示します。

2 目的地設定 にタップする

3 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す



→ 「場所を探す」(P102～P107)

4 探した場所が表示されたら

ここにに行く にタップする

アドバイス

- 検索方法の種類によって、メモリ地点情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。
- 目的地 / メモリ地点を設定する際、地点から約半径 100m 以内に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([設定する]、[他の道路] を選択する画面を表示します。)
ただし、以下の場合は表示しません。
 - ジャンル検索または高速略図から高速道路の施設を選択したとき。
 - 自宅を選択したとき。

5 案内開始 にタップする



探した場所を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

場所を探す

本機では、さまざまな方法で場所を探すことができます。

ここで探した場所は、目的地 (P99) や地点登録 (P116) を設定するときに使用します。ここでは、NAVIメニュー (P84) からの検索方法を説明します。

施設名称を入力して探す

施設名称を入力し場所を探します。

1 NAV キー → MENU にタップする

NAVIメニューを表示します。

2 目的地設定 にタップする

3 50音 にタップする

4 探している“施設名称”を入力する



→ 「文字入力のしかた」 (P85)

施設名称をすべて入力しなくても検索は行えます。

5 検索 にタップする

6 探している“施設”にタップする



アドバイス

- ・ [エリアで絞る]、[ジャンルで絞る] にタップすると、検索結果の絞り込みが行えます。→「検索結果を絞り込む」(P102)



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- ・ 地図が表示されているとき、目的地 (P99) や地点登録 (P116) の設定ができます。

■ 検索結果を絞り込む

検索結果をさらに条件を設定して絞り込むことができます。

1 「施設名称を入力して探す」

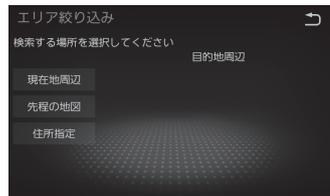
(P102) の手順5まで操作する

2 いずれかの絞り込み設定にタップする

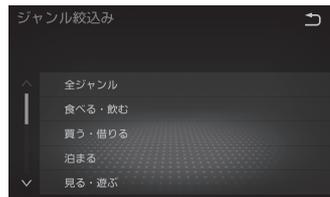
エリアで絞る	現在地周辺、先程の地図、住所指定、目的地周辺で絞ることができます。
ジャンルで絞る	指定のジャンルで絞ることができます。

3 絞り込みたい“項目”にタップする

エリアで絞るを選択した場合



ジャンルで絞るを選択した場合



タップした条件の名称を表示します。

アドバイス

- ・ エリアとジャンルの両方で絞ることができます。
- ・ 絞り込み結果画面で [戻る] → [検索] とタップすると、絞り込みを解除します。

施設ジャンルから探す

ジャンル別に施設を探します。
ここでは、例としてコンビニを探します。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。

2 **目的地設定** にタップする

3 **ジャンル** にタップする

4 **買う・借りる** にタップする



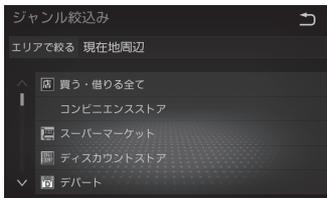
5 **コンビニエンスストア** にタップする

6 いずれかの「詳細な分類」
にタップする

アドバイス

- 検索結果をエリアで絞り込むこともできます。→「検索結果を絞り込む」(P102)

7 探している“施設”にタップする



選んだ施設を中心とした地図を表示します。

アドバイス

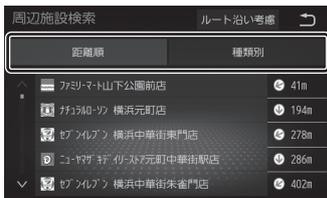
- 周辺の地図が表示されているとき、目的地や地点登録の設定ができます。

検索結果を並べ替える

検索結果を並べ替えることができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P103)
の手順 7 まで操作する

2 いずれかの並べ替え設定にタップする



設定した順番に並び替えて表示します。

ルート沿いを考慮する

ルート沿いの施設を表示することができます。

お知らせ

- 目的地を設定している必要があります。

1 「施設ジャンルから探す」(P103)
の手順 7 まで操作する

2 **ルート沿い考慮** にタップする



進行方向右側にある施設

進行方向左側にある施設

ルート沿いを考慮した施設を表示します。

■ 提携駐車場を検索する

施設を検索する際、選んだ施設と提携している駐車場があれば、検索することができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P103)の手順7まで操作する

2 「提携P」にタップする

3 探している“駐車場”にタップする



選んだ施設を中心とした地図を表示します。

アドバイス

- ・周辺の地図が表示されているとき、目的地や地点登録の設定ができます。

住所から探す

住所から場所を探します。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。

2 「目的地設定」にタップする

3 「住所」にタップする

4 探している“住所”にタップしていく



5 「検索」にタップする

選んだ場所を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- ・[○主要部]で主要部を表示することもできます。
- ・[○丁目]がない場合は、[番地指定]にタップして番地を選ぶことができます。
- ・周辺の地図が表示されているとき、目的地や地点登録の設定ができます。
- ・指定した住所が見つからない場合、[周辺住所]にタップすると周辺の番地のリストと地図を表示することができます。

目的地履歴を利用する

目的地に設定した地点の検索履歴を使用し再度周辺の地図を表示することができます。

アドバイス

- ・検索履歴は新しいものから最大100件記録されます。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。

2 「目的地設定」にタップする

3 「目的地履歴」にタップする

4 探している“場所”にタップする



選んだ場所を中心とした地図と情報を表示します。

■ 前回の出発地を表示する

前回の出発地点を表示することができます。

- 1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。
- 2 **目的地設定** にタップする
- 3 **目的地履歴** にタップする
- 4 **前回出発地** にタップする



前回出発地を表示します。

■ 目的地履歴を消去する

登録されている目的地履歴を消去することができます。

- 1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。
- 2 **設定** にタップする
- 3 **目的地履歴消去** にタップする



- 4 **消去する** にタップする

アドバイス

- ・ 検索履歴は新しいものから最大 100 件記録されます。

- 5 消去したい“目的地履歴”にタップする

- 6 **はい** にタップする

目的地履歴の消去が完了します。

アドバイス

- ・ [全消去] にタップすると、すべての履歴を消去できます。

電話番号から探す

探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。

- 1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。
- 2 **目的地設定** にタップする
- 3 **電話番号** にタップする
- 4 “電話番号”を入力する
→「文字入力のしかた」(P85)
- 5 **検索** にタップする

電話番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- ・ 電話番号は市外局番から入力する必要があります。
- ・ タウンページに掲載の電話番号に一致した場合は、その施設を中心とした地図を表示します。
- ・ 市外局番だけ入力した場合や、登録電話番号と途中までしか一致しなかった場合は、代表地点の縮尺 100m の地図を表示します。
- ・ 周辺の地図が表示されているとき、目的地や地点登録の設定ができます。
- ・ 指定した電話番号が見つからない場合、[住所一覧] にタップすると周辺の住所のリストを表示することができます。

メモリ地点を呼び出す

メモリ地点を呼び出します。

- 1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。
- 2 **目的地設定** にタップする
- 3 **メモリ地点** にタップする
- 4 呼び出したい“地点”にタップする



呼び出した地点を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、目的地や地点登録の設定ができます。

先程の地図を表示する

最後に表示した地図を再度表示することができます。

- 1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。
- 2 **目的地設定** にタップする
- 3 **先程の地図** にタップする



最後に表示した地図の微調整画面を表示します。

マップコードを利用する

ガイドブックなどで記載されている番号（マップコード）を利用できます。

- 1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。
- 2 **目的地設定** にタップする
- 3 **マップコード** にタップする
- 4 “マップコード”を入力する



→「文字入力のしかた」(P85)

- 5 **検索** にタップする

該当する周辺地図を表示します。

マップコードとは

特定の場所の位置データをコード化し、6～12桁の番号と「*」（アスタリスク）でその場所を特定することができるものです。

従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

お問い合わせホームページ

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>

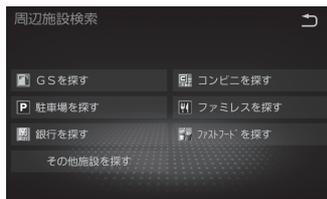
周辺の施設を探す

あらかじめ登録しておいた周辺の施設を検索することができます。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。

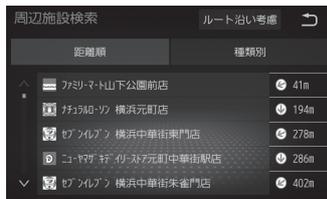
2 **周辺検索** にタップする
あらかじめ登録した6ジャンルが表示されます。→「ジャンルを登録する」(P107)

3 検索したい「ジャンル」にタップする



4 **距離順** または **種類別** にタップする

5 いずれかの「施設」にタップする



選んだ場所を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 工場出荷時ではガソリンスタンド、コンビニ、駐車場、ファミレス、銀行、ファストフードが登録されています。
- 目的地設定をしている場合、[ルート沿い考慮]にタップすると、ルート沿いを考慮した周辺施設を表示します。

■ ジャンルを登録する

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。

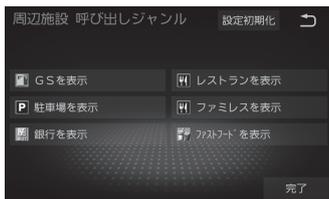
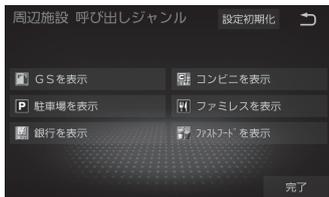
2 **設定** にタップする

3 **周辺施設 呼び出しジャンル** にタップする



4 **設定する** にタップする

“上書きしたいジャンル”にタップし好みのジャンルを選ぶ



選んだジャンルを上書きします。

アドバイス

- ジャンルの選び方については「施設ジャンルから探す」(P103)と同様の操作となります。
- [設定初期化]にタップすると、ジャンルを工場出荷時の状態に戻します。

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。この画面でできる操作について説明します。



① 情報^{※1}

現在探索されているルートの案内ポイント間の距離、料金、到着時間を表示します。

② ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

③ 所要時間 / 総距離

現在探索されているルートの所要時間と総距離を表示します。

④ 5ルート

目的地までのルートの探索条件を変更できます。

→ 「複数ルートから選ぶ」(P112)

アドバイス

- 目的地が1か所の場合にだけ表示されます。

⑤ 利用するインターチェンジ

高速道路を使用するルートの場合に最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。
また、利用したいインターチェンジを指定することができます。

→ 「入口/出口のICを変更する」(P114)

⑥ ルートの情報^{※1}

現在探索されているルートの有料道の距離、料金、全行程の総距離を表示します。

⑦ ルート変更

目的地の追加や削除が行えます。

→ 「ルートの変更」(P111)

⑧ 案内開始

現在探索されているルートの案内を開始します。

※1 表示される料金は料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

ルートの確認・編集

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できる縮尺の地図を表示します。

1 にタップする



2 **全ルート表示** にタップする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

	目的地が1つの場合に表示する目的地です。
	目的地が複数ある場合に表示する目的地です。
	高速道路の出入口を表します。

ルートの変更

設定したルートに目的地の追加や探索条件の変更ができます。

目的地を追加する

目的地を任意の順番で追加できます

1 目的地となる場所の地図を表示する

2 ここに行く にタップする



3 ルート変更 にタップする



4 目的地の追加 にタップする

→ 「場所を探す」(P102)

5 ここを追加 にタップする

6 追加したい位置の 設定 にタップする



目的地が追加されます。

アドバイス

- 複数の目的地を追加する場合は手順3から繰り返します。
- 目的地を削除する場合はルート変更内の[目的地の消去]にタップしてください。操作方法については「目的地を削除する」(P112)の手順4から同様の操作となります。

目的地を変更する

目的地の通過順の変更や削除ができます。

■ 目的地を並び換える

目的地を任意の順番に並び替えることができます。

1 目的地のアイコン にタップする



2 全ルート表示 にタップする



3 ルート変更 にタップする



4 目的地の並び替え にタップする

5 行きたい順番に目的地をタップする



6 完了 にタップする

アドバイス

- 目的地を誤ってタップした場合はもう一度タップすることでキャンセルします。また、[解除]にタップすることで指定した順番を解除します。

■ 目的地を削除する

任意の目的地を消去します

1 削除アイコン にタップする



2 全ルート表示 にタップする

3 ルート変更 にタップする

4 目的地の消去 にタップする



5 “消去したい目的地” にタップする



6 はい にタップする

目的地の削除を完了し、ルート全体を表示します。

アドバイス

- すべての目的地を消去する場合は [全消去] をタップしてください。

複数ルートから選ぶ

一般優先や有料優先など5パターンの探索条件を選ぶことができます。

アドバイス

- 道路の状況によりすべてのルートを探索できない場合があります。

1 目的地となる場所の地図を表示する

2 ここに行く にタップする

3 5ルート にタップする



4 設定したい“探索条件” にタップする



5 案内開始 にタップする

設定した条件の探索が完了し、ルート案内を開始します。

ルートの探索条件を変更する

目的地ごとに探索条件を変更することができます。

- 1  にタップする
- 2 **全ルート表示** にタップする
- 3 **ルート変更** にタップする
- 4 **探索条件変更** にタップする
- 5 変更したい位置の“探索条件”にタップする



- 6 **探索開始** にタップする



設定した条件の探索が完了し、ルート全体を表示します。

■ 全行程を確認する

5 ルートの料金や距離、所要時間などの一覧を確認することができます。

- 1 目的地となる場所の地図を表示する
- 2 **ここに行く** にタップする
- 3 **5ルート** にタップする
- 4 **全行程** にタップする



探索条件	料金	全行程	有料道路	所要時間	工口数
推奨	7460円	326km	317km	4時間 19分	
有料優先	8450円	327km	320km	4時間 18分	
一般優先		351km	15km	11時間 28分	
距離優先	3640円	315km	156km	7時間 18分	
別ルート	7460円	336km	327km	4時間 27分	

全行程の一覧を表示します。

■ 探索条件の種類について

推奨	料金、距離、所要時間のバランスを考慮したルートを探します。
有料優先	できるだけ有料道路を使用したルートを探します。
一般優先	できるだけ一般道路を使用したルートを探します。
距離優先	できるだけ距離が短くなるルートを探します。
別ルート	上記と異なるルートを探します。

ルート情報を確認する

出発地から目的地までの道路名称や距離などのルートの詳細情報を確認します。

- 1 目的地となる場所の地図を表示する
- 2 **ここに行く** にタップする
- 3 **情報** にタップする



ルートの詳細情報を表示します。

アドバイス

- ・ 該当する [地図] にタップすることで、目的地の地図を表示します。

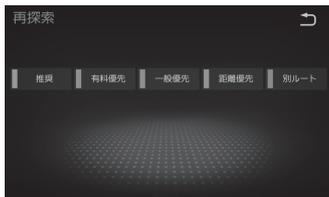
次の目的地までの探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更します。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。

2 **再探索** にタップする

3 いずれかの“探索条件にタップする



選んだ探索条件で再探索し現在地を表示します。

■ 次の目的地を削除する

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。

2 **再探索** にタップする

3 **次の📍消去** にタップする

アドバイス

- ・ 次の目的地が設定され📍であっても📍のアイコン表示となります。

有料道 / 一般道を切り替える

一般道路と高速道路が並走しているとき、実際には一般道路を走行しているのに本機側では誤って高速道路を走行していると認識することがあります。また、その逆に高速道路を走行しているときに、一般道路として認識することもあります。こういった現象が起きたとき本機能を使用することで走行道路を一般道路または高速道路に切り替えることができます。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。

2 **再探索** にタップする

3 **有料道から探索** または
一般道から探索 にタップする



並走している道路に切り替えます。

入口 / 出口の IC を変更する

高速道路の入口と出口を指定することができます。

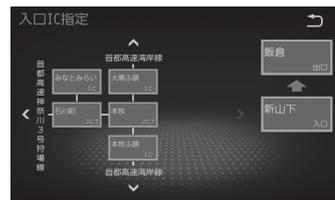
1 **📍** にタップする

2 **全ルート表示** にタップする

3 “入口 IC” または “出口 IC”
にタップする



4 指定したい“IC” にタップする



IC が変更されます。

5 **案内開始** にタップする

IC の変更が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- 指定した IC に複数の入口 / 出口がある場合、選択できる画面を表示します。[次候補] にタップして指定したい IC を選択し、[セット] にタップします。

■ IC 指定を解除する

IC 指定を行った場合、IC 指定の解除ができます。

- 1  にタップする
- 2 **全ルート表示** にタップする
- 3 解除したい“入口 IC”または“出口 IC” にタップする



- 4 **入口指定解除** または **出口指定解除** にタップする

IC 指定を解除します。

メモリ地点の設定

自宅を登録する

自宅を登録しておく、出かけた場所から自宅に帰るルートを設定できます。

アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときは、「自宅を目的地に設定する」(P99)をお読みください。
- 自宅は1件だけ登録できます。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。

2 **メモリ地点** にタップする

3 自宅の **登録** にタップする



4 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す



[地図から登録]は最後に表示した地図画面を表示します。

[住所から登録]は(→P104)、[電話番号から登録]は(→P105)を参照してください。

5 探した場所が表示されたら **セット** をタップする

▼
自宅の登録が完了します。

自宅を消去する

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。

2 **メモリ地点** にタップする

3 自宅の **消去** にタップする



4 **はい** にタップする

▼
自宅の消去が完了します。

メモリ地点を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などをメモリ地点に設定しておく、ルート設定が簡単に行えます。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所（自車位置）を登録します。

アドバイス

- 現在地画面で [MENU] → [メモリ地点] →メモリ地点の [登録] にタップしても、メモリ地点を設定できます。

1 現在地画面で「地点登録」にタップする



現在地の登録が完了します。

探した場所を登録する

探した場所をメモリ地点に設定する一連の操作を説明します。

1 [NAV] キー→ [MENU] にタップする

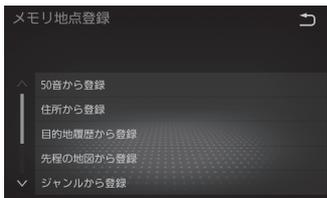
NAVI メニューを表示します。

2 [メモリ地点] にタップする

3 “メモリ地点” の [登録] にタップする



4 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す



→ 「場所を探す」(P102)

5 探した場所が表示されたら

[セット] にタップする

アドバイス

- ここで表示されるメモリ地点登録情報は変更できます。メモリ地点登録画面はメモリ地点修正画面と同じです。「メモリ地点を変更する」(P118)の手順5以降の操作を行ってください。
- 検索方法の種類によって、メモリ地点情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。

6 [完了] にタップする

探した場所の登録が完了します。

アドバイス

- 「場所を探す」(P102) で探した場所でも [地点登録] にタップすることでメモリ地点を登録できます。



メモリ地点を変更する

メモリ地点の修正および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。
- マークを地図上のメモリ地点アイコンに合わせる→ [情報] にタップしても、修正や消去を行うことができます。

メモリ地点の情報を修正する

1 NAV キー→ MENU にタップする

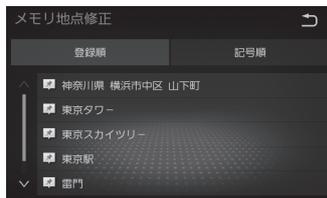
NAVI メニューを表示します。

2 メモリ地点 にタップする

3 “メモリ地点” の 修正 にタップする



4 上下にスライドして、変更したい“メモリ地点”にタップする



5 変更したい“情報の種類”にタップし、変更する

メモリ地点情報画面



6 完了 にタップする

メモリ地点情報の変更が完了します。

アドバイス

- メモリ地点リストは [登録順]、[記号順] にタップすることで並び替えることができます。

メモリ地点の情報画面について

変更できるメモリ地点情報について説明します。

■ 記号

地図画面に表示されるメモリ地点の記号を変更できます。

アドバイス

- 自宅の記号は変更できません。

1 メモリ地点情報画面で、記号 にタップする

2 変更したい“記号”にタップする



メモリ地点の記号の変更が完了します。

アドバイス

- メモリ地点の記号は 46 種類から選べます。[記号なし] にタップすると、地図画面に記号が表示されなくなります。

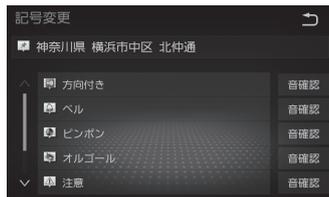
■ 音声付き記号

メモリ地点を「音声付き」に設定できます。「音声付き」に設定した場合、メモリ地点に近づくると自動的に音声が流れます。

1 メモリ地点情報画面で、**記号** にタップする

2 **音声付き** にタップする

3 変更したい“音声マーク”にタップする



メモリ地点の記号の変更が完了します。

アドバイス

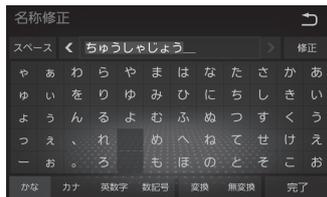
- ・ [音確認] にタップすることで音を鳴らし確認をすることができます。
- ・ [方向付き] にタップすることで、走行の向きを考慮して音を鳴らす設定ができます。

■ 名称

地図画面で表示される記号 (P118) の名称を新規入力や変更ができます。

1 メモリ地点情報画面で、**名称** にタップする

2 変更したい“名称”を入力し、**完了** にタップする



→ 「文字入力のしかた」(P85)

名称の変更が完了します。

アドバイス

- ・ 名称のリストは [登録順]、[記号順] にタップすることで並び替えることができます。
- ・ 地図の名称表示の [する] または [しない] にタップすることで地図上に名称を表示する / しないの設定ができます。

■ 名称読み

メモリ地点名称の読みかたの新規入力や変更ができます。

1 メモリ地点情報画面で、**名称読み** にタップする

2 変更したい“名称読み”を入力し、**完了** にタップする



→ 「文字入力のしかた」(P85)

名称読みの変更が完了します。

■ 位置

メモリ地点の場所を変更できます。

1 メモリ地点情報画面で、**位置** にタップする

2 地図をスクロール (P94) し、変更したい“場所”に **+** マークを合わせる



3 **セット** にタップする

位置の変更が完了します

■ 電話番号

メモリ地点に電話番号を新規入力や変更ができます。

1 メモリ地点情報画面で、**電話番号** にタップする



2 変更したい“電話番号”を入力し、**完了** にタップする



電話番号の変更が完了します。

アドバイス

- 電話番号は 11 桁まで入力できます。
- “-” (ハイフン) は入力できません。

メモリ地点を消去する

設定したメモリ地点を消去します。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。

2 **メモリ地点** にタップする

3 “メモリ地点”の **消去** にタップする



4 消したい“メモリ地点”にタップする



5 **はい** にタップする

メモリ地点の消去が完了します。

迂回メモリを設定する

あらかじめ知っている狭小路や渋滞などで通行したくないエリアを設定しておく、考慮したルート設定が行えます。

アドバイス

- ・ 迂回メモリは最大 10 件まで登録できます。

1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVI メニューを表示します。

2 **メモリ地点** にタップする

3 “迂回メモリ” の **登録** にタップする

4 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す



→ 「場所を探す」(P102)

5 探した場所が表示されたら

セット にタップする



6 **↑**, **↓** にタップして、迂回エリアを指定する



7 **セット** にタップする

8 **完了** にタップする

迂回メモリの登録が完了します。

アドバイス

- ・ **+** を中心に、ポイントまたは 50m ~ 12.8km 四方で迂回エリアを指定することができます。

迂回メモリを変更する

迂回メモリの修正および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。

迂回メモリを修正する

迂回メモリの修正および消去が行えます。

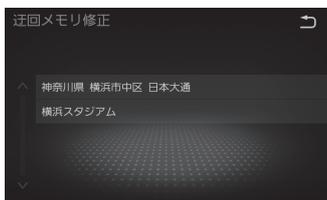
1 **NAV** キー→ **MENU** にタップする
NAVIメニューを表示します。

2 **メモリ地点** にタップする

3 “迂回メモリ” の **修正** にタップする



4 変更したい“迂回メモリ”にタップする



5 変更したい“情報の種類”にタップし、変更する

迂回メモリ情報画面



6 **完了** にタップする

迂回メモリ情報の変更が完了します。

迂回メモリの情報画面について

変更できる迂回メモリの情報について説明します。

■ 迂回メモリの有効 / 無効を切り替える
登録する迂回メモリの有効 / 無効を切り替えることができます。

1 迂回メモリ情報画面で、**有効** または **無効** にタップする



有効にすると目的を設定したときに登録した場所を迂回します。

■ 名称

地図画面で表示される迂回メモリの名称を変更できます。

- 1 迂回メモリ情報画面で、**名称** にタップする
- 2 変更したい“名称”を入力し、**完了** にタップする



→ 「文字入力のしかた」(P85)

名称の変更が完了します。

アドバイス

- 地図の名称表示の[する]または[しない]にタップすることで地図上に名称を表示する/しないの設定ができます。

■ 位置

迂回する場所の新規入力や変更ができます。

- 1 迂回メモリ情報画面で、**位置** にタップする
- 2 地図をスクロール (P94) し、変更したい“場所”に **+** マークを合わせる



- 3 **セット** にタップする

位置の変更が完了します

■ 迂回エリア

迂回するエリアの新規入力や変更ができます。

- 1 迂回メモリ情報画面で、**迂回エリア** にタップする
- 2 **↑**, **↓** にタップして、迂回エリアを指定する



- 3 **セット** にタップする

迂回エリアの変更が完了します。

アドバイス

- **+** を中心に、ポイントまたは 50m ~ 12.8km 四方で迂回エリアを指定することができます。

VICS 機能

VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用できます。

VICS のメディアと特徴

VICS のメディアには、FM 多重放送、ETC2.0 があります。

お知らせ

- ・本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
	FM 多重放送
	ETC2.0

FM 多重放送

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

VICS WIDE

本機は、VICS WIDE にも対応しています。

ETC2.0

専用狭域（きょういき）通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能なためタイムリーで広範囲の

情報を送信しています。ETC2.0 機能については、*[ETC2.0] (P134)* をご覧ください。
※タイプ別装備の ETC2.0 車載器が必要です。

VICS 情報のレベル

VICS 情報にはレベル 1～レベル 3 までの 3 種類の表示レベルがあります。ETC2.0 では、表示に加えて音声情報が提供されています。

レベル 1 (文字)

文字による交通情報を表示します。



レベル 2 (簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。



レベル 3 (地図)

地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。



アドバイス

- ・25m～1km スケールのときに表示します。
- ・渋滞情報の順調線 (P126) および規制情報については 25m～200m スケールのときに表示します。

音声情報

音声情報を受信した場合表示します。



各ボタンにタップしたときの動作は以下のとおりです。

音声	先頭から音声を読み上げます。
解除	音声を停止します。

表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



① 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認することができます。

② VICS 09:55 (VICS ボタン)

VICS 情報の提供時刻を表示します。
(受信した時刻ではありません。)
交通状況により、時刻の色が変わります。
赤：渋滞
黄：規制
橙：混雑
白：上記以外
タップすると、渋滞、規制情報を音声案内します。また、VICSメニューを表示します。
→「VICSメニューについて」(P126)

③ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認することができます。

④ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認することができます。
→「渋滞情報」(P126)

■ VICS メニューについて



① FM 図形

図形による VICS 情報を確認することができます。

→ 「文字・図形情報を見る」(P128)

② FM 文字

文字による VICS 情報を確認することができます。

→ 「文字・図形情報を見る」(P128)

③ VICS 選局

受信したい FM VICS を選局します。

→ 「VICS 局を選ぶ」(P132)

④ 割込情報

ETC2.0 から取得した割り込み情報を確認することができます。

→ 「文字・図形情報を見る」(P128)

■ 渋滞情報

地図上に表示する渋滞情報は以下のとおりです。



赤色	渋滞
橙色	混雑
水色	順調

VICIS センターへのお問い合わせ

VICIS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にしお買い求めの販売店までご連絡ください。

- VICIS 車載器の調子や使用方法
- VICIS 車載器の受信可否に関して
- 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- VICIS 情報の受信エリアについて
- VICIS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICIS センターお客様相談窓口」までご連絡ください。

- 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- VICIS の概念
- サービス提供エリアに関して

■ VICIS センターお客様相談窓口

受付番号	0570-00-8831 (PHS、IP 電話などからはご利用できません)
電話受付時間	平日 9:30 ~ 17:45 (土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)
受付 FAX 番号	03-3562-1719(24 時間受付)
URL	https://www.vicis.or.jp/ VICIS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧ください ただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店にご連絡いただくことをおすすめします。

交通情報を調べる

VICS を利用することで、交通情報を確認することができます。

アドバイス

- ・ 駐車場情報は 100m スケールまでの地図で表示できます。ただし、100m スケールより広域の場合は該当する駐車場マーク 1 件のみを表示します。
- ・ 規制情報は 200m スケールまでの地図で表示できます。

FM ETC2.0

駐車場 / 規制情報を調べる

駐車場情報や規制情報を調べます。

1 “駐車場アイコン” または “規制表示アイコン” にタップする



選択した情報を表示します。

アドバイス

- ・ 駐車場情報は周辺の駐車場情報が表示され、規制情報は周辺の交通規制や道路工事の情報を表示します。

FM ETC2.0

文字・図形情報を見る

文字または図形による VICS 情報を確認することができます。

お知らせ

- ・ ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P88) や高速略図 (P93) からも同じ操作となります。

1 現在地画面で VICS 09:55 にタップする

2 FM 図形 / FM 文字 または 割込情報 にタップする

3 知りたい情報の“番号”にタップする



選んだ情報を表示します。

VICs 交通情報の表示を設定する

地図上に表示したいVICs情報の設定ができます。

1  にタップする2 **VICs 交通情報設定** にタップする3 表示したい“交通情報の種類”
にタップする4 交通情報を“表示したい道路”
にタップする

表示する VICs 交通情報の設定が完了します。

交通情報の表示について

赤色（実線）	渋滞（現況）
赤色（破線）	渋滞（統計）
橙色（実線）	混雑（現況）
橙色（破線）	混雑（統計）
水色（実線）	空き道（現況）
水色（破線）	空き道（統計）

VICS による自動処理

VICS には、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

FM ETC2.0

緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



[解除] にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 1 ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り] にタップすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。
- 表示できる情報が複数ページある場合は  ,  にタップしてページを送ることができます。
- ナビ画面以外を表示中に割り込み表示を行った場合、[解除] にタップするとホーム画面を表示します。

■ 再表示するには

割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認することができます。

お知らせ

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P88) や高速略図 (P93) から同じ操作となります。

1 現在地画面で **VICS 09:55** にタップする

2 **割込情報** にタップする



緊急情報を表示します。

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制、渋滞が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索されます。

アドバイス

- [新ルート] にタップすると、新しいルートを案内します。
- 「渋滞考慮探索」を [する] に設定しておく必要があります。→「ナビ設定」(P135)

ETC2.0

図形 / 文字情報の割り込み表示

走行中、情報を受信すると、受信音とともに図形情報または文字情報が自動的に表示されます。

割り込み表示例



アドバイス

- 操作をしなければ設定した秒数で元の画面に戻ります。
- ナビ画面以外を表示中に割り込み表示を行った場合、[解除]にタップするとホーム画面を表示します。

FM

VICS 局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する〔自動選局〕に設定されていますが、都道府県を指定する方法、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

1 NAV キーを押す

2 VICS 09:55 にタップする

3 VICS 選局 にタップする



VICS 選局画面を表示します。

自動選局

自車位置の都道府県の VICS 局を優先的に選局します。

1 VICS 選局画面で オート にタップする

VICS 局を自動選局に変更します。

県指定

選択した都道府県を VICS 局に指定することができます。

1 VICS 選局画面で マニュアル にタップする

2 VICS 選局画面で、変更したい“都道府県”にタップする



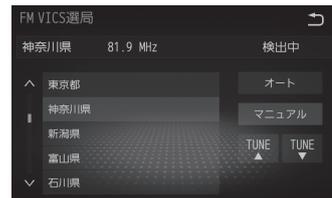
選んだ都道府県に VICS 局を変更します。

周波数指定

入力した周波数を VICS 局に指定することができます。

1 VICS 選局画面で マニュアル にタップする

2 TUNE, TUNE にタップして、変更したい“周波数”を入力する



入力した周波数に VICS 局を変更します。

VICS の設定を行う

受信した情報の表示設定などを行います。

1  にタップする

2 **VICS 交通情報設定** にタップする

3 **VICS 設定** にタップする



VICS 設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
事象・規制情報の表示	事象・規制情報の表示をする / しないの設定ができます。
駐車場情報の表示	駐車場情報の表示をする / しないの設定ができます。
臨時駐車場の表示	臨時駐車場表示をする / しないの設定ができます。
充電施設の表示	充電施設表示をする / しないの設定ができます。
VICS 音声案内	VICS 音声案内をする / しないの設定ができます。
VICS 割込設定	VICS 自動割込の表示時間の設定ができます。→「VICS 割込設定を行う」(P133)

VICS 割込設定を行う

VICS 自動割込の表示時間の設定を行います。

1  にタップする

2 **VICS 交通情報設定** にタップする

3 **VICS 設定** にタップする

4 **VICS 割込設定** または
ETC2.0/VICS 割り込み設定 に
タップする

5 **設定する** にタップする



6 **自動割込みの表示時間** にタップする

7 “任意の秒数” にタップする

VICS 割込みの表示時間の設定が完了します。

アドバイス

- 表示時間は5秒刻みで5～30秒を設定できます。

タイプ別装備

ETC2.0 サービスとは

タイプ別装備の ETC2.0 車載器は、さまざまな機能がご利用になれます。

ETC2.0 サービスの概要

専用狭域（きょういき）通信による情報提供や料金決済などのサービスのことで、今後幅広いサービスが提供される予定です。タイプ別装備の ETC2.0 車載器が本機に接続されていると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- ・本機能をご利用いただくには、タイプ別装備の ETC2.0 車載器と ETC カードが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ・ETC カード未挿入や ETC2.0 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。
- ・料金所は名称で表示する場合と番号で表示場合があります。
- ・本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。

ETC2.0 サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- ・ETC2.0 サービスは、一部開始されていない場合があります。
- ・本機はインターネット接続サービス（道の駅における情報接続、SA・PAにおける情報接続など）には対応していません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立てます。

■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。

注意

- ・安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- ・状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

受信情報の表示例



設定を変更する

ナビゲーションに関する設定を変更します。

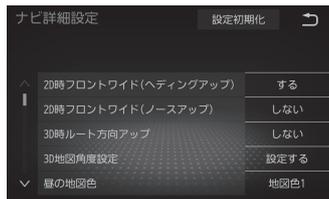
1 NAV キー→ MENU にタップする

NAVI メニューを表示します。

2 設定 にタップする

ナビ詳細設定を表示します。

3 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

4 各設定名にタップして、 設定を変更する

設定の変更が完了します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定値	設定内容
2D 時フロントワイド (ヘディングアップ)	する	地図をスタンダード2Dの自転車基準に切り替えたときに、自転車位置を中心から下側へずらし、前方の地図を広くする / しないの設定ができます。
	しない	
2D時フロントワイド(ノースアップ)	する	地図をスタンダード2Dの北基準に切り替えたときに、自転車位置を中心から下側へずらし、前方の地図を広くする / しないの設定ができます。
	しない	
3D 時ルート方向アップ	する	地図を3Dに設定したとき、進行方向とは関係なくルート方向が上になるように地図を表示します。
	しない	
3D 地図角度設定	設定する	[設定する]にタップするとスタンダード3Dの地図で角度の設定ができます。
昼の地図色	地図色 1	昼地図の色を3種類の中から設定できます。
	地図色 2	
	地図色 3	
夜の地図色	地図色 1	夜地図の色を3種類の中から設定できます。
	地図色 2	
	地図色 3	
地図の文字サイズ変更	大	地図の文字サイズを設定できます。
	中	
	小	
シーズンレジャーランドマーク表示	する	シーズンレジャーランドマークの表示をする / しないの設定ができます。
	しない	
地図スクロール時の地名表示	する	地図スクロールしたときに、住所表示をする / しないの設定ができます。
	しない	
交差点拡大図自動表示	する	目的地を設定し交差点を走行するときに、交差点拡大図を自動表示する / しないの設定ができます。
	しない	
高速分岐模式図表示	する	目的地を設定し高速道路の分岐路を走行するときに、高速分岐模式図を自動表示する / しないの設定ができます。
	しない	

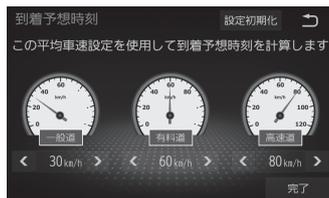
設定名	設定値	設定内容
レーンリスト自動表示	する	目的地を設定しているときに、交差点のレーンリストを自動表示する / しないの設定ができます。
	しない	
県境案内	する	県境案内を表示する / しないの設定ができます。
	しない	
3D 交差点拡大図	する	交差点拡大図を 3D で表示する / しないの設定ができます。[しない]に設定した場合、2D で表示します。
	しない	
到着予想時間表示	所要時間	到着予想時間を所要時間もしくは到着時刻を選ぶことができます。設定では平均速度の設定ができます。入力した一般道 / 有料道 / 高速道の平均速度を使用して予想時間の計算をします。 →「到着予想時間表示を設定する」(P139)
	到着時刻	
	設定する	
細街路での音声案内	する	細街路での音声案内をする / しないの設定ができます。
	しない	
制限速度表示	する	制限速度の表示をする / しないの設定ができます。
	しない	
一時停止案内	する	一時停止の案内をする / しないの設定ができます。
	しない	
踏切案内	する	踏切の案内をする / しないの設定ができます。
	しない	
合流案内	する	合流の案内をする / しないの設定ができます。
	しない	
カーブ案内	する	カーブの案内をする / しないの設定ができます。
	しない	
減少レーン案内	する	減少レーンの案内をする / しないの設定ができます。
	しない	
事故多発地点案内	する	事故多発地点の案内をする / しないの設定ができます。
	しない	

設定名	設定値	設定内容
学校存在案内	する	学校の存在を案内する / しないの設定ができます。
	しない	
渋滞考慮探索	する	渋滞を考慮した探索をする / しないの設定ができます。
	しない	
新旧ルート比較表示	する	新旧ルートの比較表示をする / しないの設定ができます。
	しない	
ルート学習	する	ルート学習をする / しないの設定ができます。また、学習したルートを消去できます。 →「ルート学習を消去する」(P139)
	しない	
	消去	
周辺施設呼び出しジャンル	設定する	周辺施設検索に表示する 6 項目の設定ができます。 →「ジャンルを登録する」(P107)
車両情報設定	設定する	車両情報の設定ができます。入力した情報は有料道路の料金計算や駐車場検索に使用します。 →「車両情報を設定する」(P139)
時刻表示	する	時刻表示をする / しないを設定できます。
	しない	
ナビ補正	補正する	現在地の補正を行うことができます。→「現在地を修正する」(P140)
目的地履歴消去	消去する	目的地履歴の消去ができます。→「目的地履歴を消去する」(P105)
フェリー考慮探索	する	目的地を設定するときに、フェリーを考慮したルート探索をする / しないの設定ができます。
	しない	
スマート IC 考慮探索	する	目的地を設定するときに、スマート IC を考慮したルート探索をする / しないの設定ができます。
	しない	

到着予想時間表示を設定する

到着予想時間で使用する平均速度の入力を行います。

- 1 地図画面で **MENU** → **設定** にタップする
- 2 **到着予想時間表示** にタップする
- 3 **設定する** にタップする
- 4 **<**, **>** にタップし一般道、有料道、高速道の速度を入力する



- 5 **完了** にタップする

平均速度の入力が完了します。

アドバイス

- [設定初期化]にタップすると平均速度を初期状態に戻します。

ルート学習を消去する

ルート学習結果の消去を行います。

- 1 地図画面で **MENU** → **設定** にタップする
- 2 **ルート学習** にタップする
- 3 **消去** にタップする
- 4 **はい** にタップする

ルート学習結果の削除が完了します。

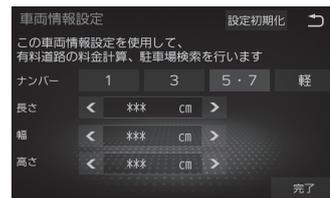
注意

- 消去したデータは元に戻せません。

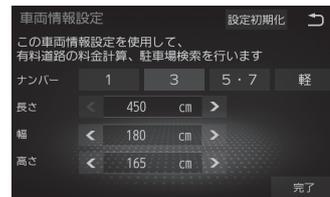
車両情報を設定する

有料道路の料金計算や駐車場検索に使用する車両情報の入力を行います。

- 1 地図画面で **MENU** → **設定** にタップする
- 2 **車両情報設定** にタップする
- 3 **設定する** にタップする
- 4 “分類番号” もしくは **軽** にタップする



- 5 **<**, **>** にタップし、車両の長さ、幅、高さを入力する



- 6 **完了** にタップする

車両情報の入力が完了します。

アドバイス

- 車両情報は車検証などを確認してください。
- お使いの車の全長、全幅、全高が設定範囲最小値 / 最大値を下回る / 上回る場合は、それぞれの最小値 / 最大値を設定ください。
- [設定初期化]にタップすると車両情報を初期状態に戻します。

現在地を修正する

実際の車の位置と地図に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い補正できます。

アドバイス

- 通常は人工衛星からの情報を元に自動補正しています。

1 地図画面で **MENU** → **設定** にタップする

2 **ナビ補正** にタップする

3 **補正する** にタップする

4 地図スクロールして“実際の自転車位置”に **+** マークを合わせる



5 **セット** にタップする

6 **🔄 または 🔄** にタップして自車の向きを合わせる



7 **セット** にタップする

▼
現在地の補正が完了します。

情報 / 設定

情報

【タイプ別装備】

カメラを使う

カメラは車両後方の映像を表示し、死角をカバーすることができます。

カメラ位置、画面などの表示範囲、詳しい操作方法については車両取扱説明書をお読みください。



警告



必ず行う

カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

注意

- 泥や雪などが付着して固まったときは、かたい棒などでたたかず水または、ぬるま湯をかけ、やわらかい布で拭き取ってください。
- 乗車人数や積載状態によっては、カメラ映像やガイド線にズレが生じる場合があります。
- 坂道や車両が傾いている場合は、カメラ映像やガイド線にズレが生じる場合があります。
- カメラの映像に異常がある場合（リヤビューガイド線のみ表示されるなど）はお近くの三菱自動車販売会社へご相談ください。

表示するには

■ シフトポジションで表示する

1 シフトポジションを「R」にする



リヤビューカメラまたはマルチアラウンドモニターの映像を表示します。
シフトポジションを「R」以外の位置にすると元の画面に戻ります。

■ ステアリングリモコンスイッチで表示する

1 キーを押す

→ 「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P19)



 を押すことで、マルチアラウンドモニターの映像を表示できます。

 を押すたびにカメラの映像を切り換えることができます。

タイプ別装備

ETC 情報を確認する

ETC の使いかたについて説明します。

本機と連動の ETC の各機能のご利用および情報の確認ができる ETC 車載機は、三菱電機製の三菱自動車純正用品のみとなります。

ETC とは

ETC とは、有料道路などにおけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことです。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の ETC 車載器または ETC2.0 車載器と ETC カードが必要です。
- ETC カード未挿入や ETC 車載器または ETC2.0 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETC ゲート、ETC カード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせなどを表示する場合があります。

お知らせ

- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC 車載器または ETC2.0 車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

案内表示について

ETC カードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。

■ **エンジンスイッチを ON にしたとき**
エンジンスイッチを ON にすると、ETC カードの使用可否を音声でお知らせします。

アドバイス

- ETC カード案内設定は案内する、案内しないを選ぶことができます。

■ **料金所を通過したとき**

音声とテロップで料金案内を行います。

■ **予告アンテナを通過したとき**

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。
予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

ETC の履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

注意

- 履歴読み込み中に ETC カードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

アドバイス

- 履歴は最大 100 件まで新しいものから順に表示します。

- 1 **ホーム画面を表示する (→ P22)**
PHEV 車ではない場合は手順 3 に進みます。
- 2 **PHEV & 情報** にタップする
- 3 **情報** にタップする

4 ETC にタップする



5 ETC 利用履歴 にタップする



ETC 利用履歴 10:00

日時	金額
全99件	
XXXX年XX月XX日 10:11	-300円
XXXXXXXX 出口	
XXXX年XX月XX日 10:09	510円
XXXXXX 入口	
XXXX年XX月XX日 08:26	210円
XXXXXX 出口	

←

全履歴情報を表示します。

アドバイス

- ・ナビ機能がない場合は料金所名称が表示されません。

ETC 車載器の情報を表示する

本機に接続されている ETC 車載器または ETC2.0 車載器の型式、型式登録番号、車載器管理番号、カード有効期限を確認できます。

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

PHEV 車ではない場合は手順 3 に進みます。

2 PHEV & 情報 にタップする

3 情報 にタップする

4 ETC にタップする



5 ETC 車載器登録情報 にタップする



ETC 車載器登録情報 10:00

型式	XX-XXXX
型式登録	XXXX
車載器管理番号	XXXXX-XXXXXXXX-XXXXXX
カード有効期限	XXXX年XX月

←

登録情報を表示します。

累積料金を表示する

今までに使用した累積料金を表示して確認できます。

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

PHEV 車ではない場合は手順 3 に進みます。

2 PHEV & 情報 にタップする

3 情報 にタップする

次のページにつづく

4 ETC にタップする



5 ETC 車載器累積料金 にタップする



累積料金を表示します。

■ 累積料金をクリアする

1 「累積料金を表示する」(P143) を操作する

2 累積料金クリア にタップする



3 OK にタップする



累積料金をクリアします。

エアコン情報を確認する

エアコンの状態を確認することができます。

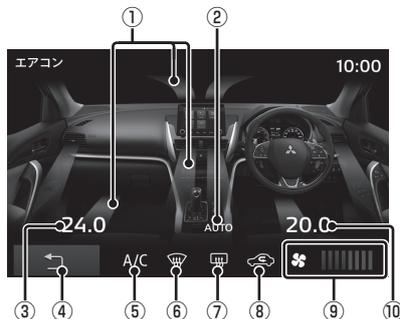
表示するには

- 1 ホーム画面を表示する (→ P22)
PHEV 車ではない場合は手順3に進みます。
- 2 **PHEV & 情報** にタップする
- 3 **情報** にタップする
- 4 **エアコン** にタップする

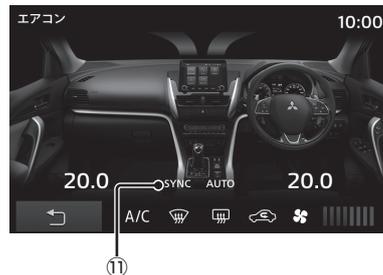


エアコンの状態を表示します。

表示内容について



- ① 風向
- ② AUTO エアコンモード表示
AUTO モードが動作中のときに表示します。
- ③ 左側の温度設定*¹
- ④
1 つ前の画面に戻ります。
- ⑤ エアコン表示
エアコンが動作中のときに表示します。
- ⑥ フロントデフロスター表示
フロントデフロスターが動作中のときに表示します。
- ⑦ リヤデフォグガー表示
リヤデフォグガーが動作中のときに表示します。



- ⑧ 内外気切り換えインジケーター
外気導入または内気循環を表示します。
- ⑨ 風量
OFF または 8 段階で表示します。
- ⑩ 温度設定 /
右側の温度設定*¹
- ⑪ SYNC*¹
シンクロモードのときに表示します。

*¹ DUAL エアコンのみ

タイプ別装備

走行情報を確認する（除く、プラグインハイブリッド車）

走行情報を確認することができます。

燃費情報を表示する

1 ホーム画面を表示する（→P22）

2 **情報** にタップする

3 **燃費情報** にタップする



燃費情報画面を表示します。

■ 表示内容について



① 燃費ゲージ

平均燃費と瞬間燃費が確認できます。
→「燃費グラフについて」(P147)

② リセット

各走行情報をリセットすることができます。

③

1つ前の画面に戻ります。

④ 航続可能距離

現在の燃料残量と最近の平均燃費から、航続可能距離を計測し表示します。

⑤ 今回のアイドリングストップ時間^{*1}

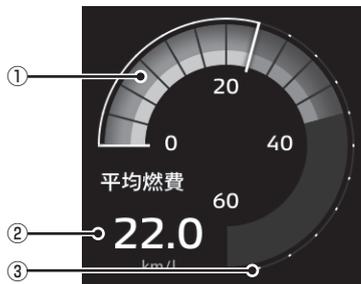
⑥ 累積アイドリングストップ時間^{*1}

⑦ オートリセット

リセットモードを切り換えることができます。

※ 1 車の仕様によっては表示されない項目です。

■ 燃費グラフについて



① 平均燃費 / 瞬間燃費ゲージ

18段階で表示します。

平均燃費は白線で表示します。

瞬間燃費は、平均燃費を下回る部分はグレーのゲージ、平均燃費を上回る部分はグリーンのゲージで表示します。

グリーンゲージが見えているときが、平均燃費よりも良い燃費で走行できている状態です。

② 平均燃費

③ 目盛り

平均燃費、瞬間燃費ゲージの目盛りを示します。値は単位により異なります。

単位	値
km/l	0～60
l/100km	0～18
mpg(US)	0～150
mpg(UK)	0～180

燃費情報をリセットする

リセットは、手動リセットとオートリセットがあります。

手動リセット

1 燃費情報画面で **リセット** にタップする



2 **リセットする** にタップする

燃費情報をリセットします。

オートリセット

1 燃費情報画面で **オートリセット** にタップする



[オートリセット]にタップするたびに、オートリセットのON/OFFが切り換わります。ON (水色) にすると、エンジンスイッチをACCまたはOFFにしてから約4時間後に走行情報をリセットします。

燃費履歴を確認する

燃費履歴を確認することができます。

- 1 ホーム画面を表示する (→ P22)
- 2 **情報** にタップする
- 3 **履歴情報** にタップする



履歴情報画面を表示します。

履歴表示を切り換える

長期と短期の履歴表示を切り換えます。

- 1 履歴情報画面で
電源モード ON-OFF または
5分毎 にタップする



長期または短期の履歴情報画面に切り換わります。

電源モード ON-OFF	車のエンジン / パワースイッチを“ON”にしてから“OFF”にするまでの燃費を表示します。
5分毎	車のエンジン / パワースイッチを“ON”にしてから5分ごとの燃費を表示します。

履歴情報をリセットする

- 1 履歴情報画面で
走行情報リセット にタップする



- 2 **リセットする** にタップする

履歴情報をリセットします。

走行情報を確認する（プラグインハイブリッド車）

走行情報を確認することができます。

エネルギーモニターを表示する

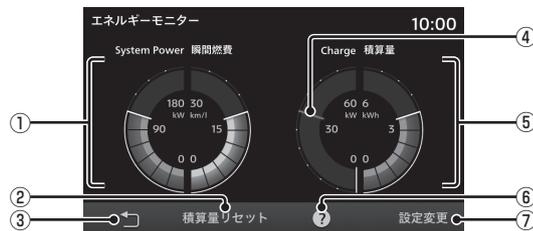
使用電力や瞬間燃費や充電の積算量を確認することができます。

- 1 ホーム画面を表示する（→ P22）
- 2 **PHEV & 情報** にタップする
- 3 **エネルギーモニター** にタップする



エネルギーモニター画面を表示します。

表示内容について



- ① **System Power/ 瞬間燃費ゲージ**
モーターとエンジンの総出力と燃費を表示します。
- ② **積算量リセット**
積算量をリセットします。
- ③ **←**
1つ前の画面に戻ります。
- ④ **ピークホールド**
- ⑤ **Charge/ 積算量ゲージ**
Charge ゲージは、回生ブレーキで発生した電気エネルギーで瞬間的な充電電力を表示します。積算量は充電電力の積算量を表示します。
- ⑥ **?**
機能の説明を表示します。
- ⑦ **設定変更**
ピークホールドのリセットタイミングや積算量表示の上限を設定します。（→ P150）

積算量をリセットする

1 エネルギーモニター画面で 積算量リセット にタップする



積算量をリセットします。

■ 各設定を変更する

ピークホールドやリセットタイミング、積算量表示上限の設定ができます。

1 エネルギーモニター画面で 設定変更 にタップする



ピークホールド	ON にすると Charge ゲージの瞬間最大値を表示します。
---------	---------------------------------

リセットタイミング	ピークホールドのリセットタイミングを設定します（ピークホールドが「ON」のときに設定できます）。 [Power Off]：車のパワースイッチを“ACC”または“ON”にするるとリセットします。 [発進]：車両が発進するとリセットします。
積算量表示上限	積算量ゲージの表示上限値を設定します。 [3kWh]、[6kWh]、[12kWh]から選べます。
?	設定内容の説明を表示します。

エネルギーフローを表示する

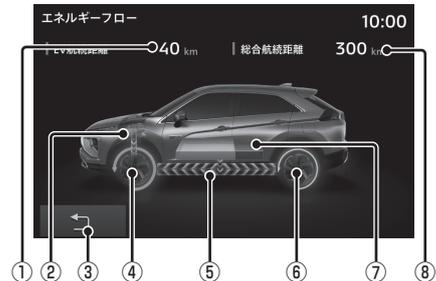
エネルギーの流れを確認することができます。

- 1 ホーム画面を表示する (→ P22)
- 2 **PHEV & 情報** にタップする
- 3 **エネルギーフロー** にタップする



エネルギーフロー画面を表示します。

■ 表示内容について



- ① **EV 航続距離**
現在のバッテリー残量で走行できる距離を表示します。
- ② **エンジン**
走行に燃料を使用しているときは、エンジン部がオレンジ色になります。
- ③ 
1つ前の画面に戻ります。
- ④ **前輪の駆動状態**
駆動状態を矢印で表します。
- ⑤ **エネルギーの流れ**
走行状態によって、流れる方向や色、表示する場所が変わります。
- ⑥ **後輪の駆動状態**
駆動状態を矢印で表します。
- ⑦ **バッテリー**
バッテリーの残量を示します。
- ⑧ **総合航続距離**
現在のバッテリー残量と燃料残量を合わせて走行できる距離を示します。

電気エネルギーで走行しているとき



燃料のみで走行しているとき



電気と燃料の両方で走行しているとき



エンジンから充電しているとき



回生ブレーキのとき



走行情報を表示する

EV 走行比率や平均電費、平均燃費を確認できます。

- 1 ホーム画面を表示する (→ P22)
- 2 **PHEV & 情報** にタップする
- 3 **走行情報** にタップする



走行情報画面を表示します。

■ 表示内容について



① EV 走行比率

電気で走行した時間とエンジンを併用して走行した時間の割合を表示します。電気で走行した比率は、円グラフ（青色）とパーセントで表示します。

EV 走行比率は充電が完了（フル充電）するとリセットされます。

② **リセット**（→P152）

各走行情報をリセットすることができます。

③

1つ前の画面に戻ります。

④ 平均電費

各走行情報がリセットされてから現在までの平均電費を表示します。

⑤ 平均燃費

各走行情報がリセットされてから現在までの平均燃費を表示します。

⑥ **オートリセット**（→P153）

リセットモードを切り換えることができます。

走行情報をリセットする

リセットは、手動リセットとオートリセットがあります。

手動リセット

1 **走行情報画面で **リセット** にタップする**



2 **リセットする** にタップする

▼
走行情報をリセットします。

オートリセット

1 走行情報画面で **オートリセット** にタップする



[オートリセット]にタップするたびに、オートリセットのON/OFFが切り換わります。ON にすると、エンジンスイッチをACCまたはOFFにしてから約4時間後に走行情報をリセットします。

履歴を確認する

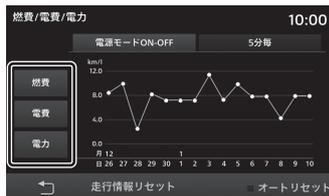
燃費や電費、消費電力などの履歴を確認することができます。

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

2 **PHEV & 情報** にタップする

3 **履歴情報** にタップする

4 確認したい“履歴”にタップする



選択した履歴画面を表示します。

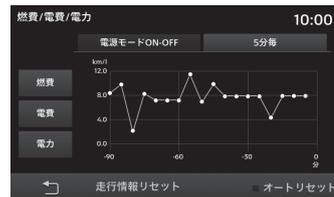
燃費	燃費情報の長期履歴または短期履歴を表示します。
電費	電費情報の長期履歴または短期履歴を表示します。
電力	走行とエアコンに使った消費電力量の長期履歴または短期履歴を表示します。

■ 履歴表示を切り換える

長期と短期の履歴表示を切り換えます。

1 履歴情報画面で

電源モード ON-OFF または **5分毎** にタップする



長期または短期の履歴情報画面に切り換わります。

電源モード ON-OFF	車のパワースイッチを“ON”にしてから“OFF”にするまでの情報を表示します。
5分毎	車のパワースイッチを“ON”にしてから5分ごとの情報を表示します。

履歴情報をリセットする

1 履歴情報画面で 走行情報リセット にタップする

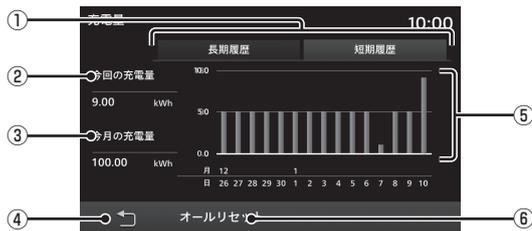


履歴情報をリセットします。

充電量を確認する

充電量を確認することができます。(普通充電の情報のみ)

表示内容について



① **短期履歴** , **長期履歴**

履歴を短期(1回ごと)または長期(月ごと)に切り換えることができます。
→「履歴の表示を切り換える」(P156)

② **今回の充電量**

③ **今月の充電量**

④ **⏪**

1つ前の画面に戻ります。

⑤ **充電履歴グラフ**

充電量の履歴をグラフで確認できます。

⑥ **オールリセット**

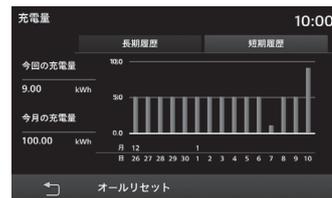
充電量の情報を消去します。
→「充電量情報を消去する」(P156)

表示するには

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

2 **PHEV & 情報** にタップする

3 **充電量** にタップする



充電量を表示します。

履歴の表示を切り換える

充電履歴を長期（月ごと）または短期（1回ごと）に切り換えることができます。

1 充電量画面で、**長期履歴** にタップする



短期履歴画面から長期履歴画面に切り換わります。

2 **短期履歴** にタップする

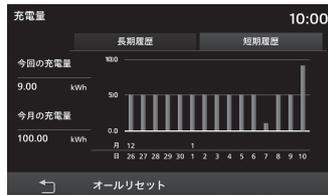


長期履歴画面から短期履歴画面に切り換わります。

充電量情報を消去する

充電量の履歴を消去します。

1 充電量画面で、**オールリセット** にタップする



2 **リセットする** にタップする



充電量情報の消去が完了します。

メンテナンス情報

お車の各パーツの交換時期を管理することができます。

表示するには

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認することができます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

PHEV車ではない場合は手順3に進みます。

2 PHEV & 情報 にタップする

3 情報 にタップする

4 メンテナンス情報 にタップする



メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の10日前もしくは交換後の走行距離が残り100km以下となります。

5 見たい“パーツ”にタップする



詳細情報を表示します。

■ 表示内容について



① 通知

パーツの交換日が近づいたり、過ぎたりしたときに案内表示をするかしないかの設定をします。→「メンテナンス情報の通知を設定する」(P160)

② パーツ

メンテナンスできるパーツを表示します。

③ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

④ 交換まで

メンテナンス実施日までの残走行距離を表示します。

⑤ 交換

メンテナンス実施日と実施日の走行距離を更新します。→「メンテナンス情報を更新する」(P160)

⑥ 初期化

すべてのメンテナンス情報を初期化します。→「メンテナンス情報を初期化する」(P160)

メンテナンス情報を設定する

メンテナンス期日およびメンテナンス距離を設定できます。

1 「表示するには」(P157)の手順4まで操作する

2 設定したい“パーツ”にタップする



3 “交換期日”の「入力」にタップする



- 4 **↑** または **↓** にタップして期日を入力し、**決定** にタップする



- 5 “交換距離” の **入力** にタップする



- 6 “距離” を入力し、**決定** にタップする



→ 「文字入力のしかた」(P20)

- 7 **☑** にタップする

メンテナンス情報の設定が完了します。

お知らせ

- ・初期値の距離・期日は目安です。必ず車に付属するメンテナンス情報に従って値を入力してください。

■ メンテナンス情報を追加する

お客さまが追加したいメンテナンス項目を登録できます。

- 1 「表示するには」(P157)の手順4まで操作する

- 2 **USER*** にタップする

アドバイス

- ・「USER1」～「USER2」または「USER3」までの項目に追加することができます。

- 3 **名称設定** にタップする

→ 「文字入力のしかた」(P20)

- 4 追加する“パーツ名”を入力し、**OK** にタップする



以降は、「メンテナンス情報を設定する」(P158)手順5と同じです。

「交換期日」および「交換距離」を設定してください。

■ メンテナンス情報を削除する

設定したパーツの「交換日」および、「交換時の距離」、「交換まで」の情報を削除します。

- 1 「表示するには」(P157)の手順4まで操作する

- 2 削除したい“パーツ”にタップする



- 3 **削除** にタップする

次のページにつづく

4 「はい」にタップする

メンテナンス情報の削除が完了します。

メンテナンス情報を更新する

パーツの交換を実施したときに、メンテナンス情報を更新します。

1 「表示するには」(P157)の手順4まで操作する

2 交換を実施した“パーツ”の「交換」にタップする



3 「はい」にタップする

メンテナンス情報を更新します。

■ メンテナンス情報を初期化する

すべてのメンテナンス情報を初期化します。

1 「表示するには」(P157)の手順4まで操作する

2 「初期化」にタップする

3 「はい」にタップする

初期化が完了します。

メンテナンス情報の通知を設定する

メンテナンス情報の通知を設定すると、本機起動後にパーツの交換日が近づく、または過ぎると案内表示をします。

1 「表示するには」(P157)の手順4まで操作する

2 案内したいパーツの“通知”にタップする

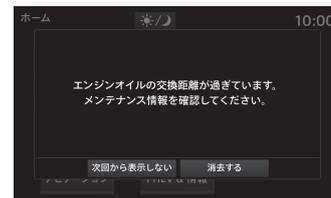


「通知」が設定されます。

- : 通知する
- : 通知しない

■ 通知するに設定した場合

パーツの交換日が近づいたり、過ぎたりした場合に本機起動後、以下のようなメッセージを表示します。



各ボタンにタップするとメッセージが消えます。次回起動後の動作は以下ようになります。

次回から表示しない	次回起動後からメッセージを表示しません。
消去する	次回起動後もメッセージを表示します。

情報

本機のバージョンやシリアルナンバーが確認できます。また、ヘルプ画面を表示できます。

バージョン情報を表示する

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

PHEV車ではない場合は手順3に進みます。

2 **PHEV & 情報** にタップする

3 **情報** にタップする

情報画面を表示します。

4 **バージョン情報** にタップする



ソフトウェアバージョン、シリアルナンバーを表示します。

ヘルプを表示する

各種のヘルプ画面を表示します。

お知らせ

- [Apple CarPlay ヘルプ] と [Android Auto ヘルプ] は対応のスマートフォンを一度も接続したことがない場合は表示されません。
- 車種によってはヘルプ画面またはヘルプの項目が表示されない場合があります。

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

PHEV車ではない場合は手順3に進みます。

2 **PHEV & 情報** にタップする

3 **情報** にタップする

情報画面を表示します。

4 **ヘルプ** にタップする

5 いずれかのヘルプにタップする



ヘルプ画面を表示します。

設定

設定を変更する

本機の設定を変更します。

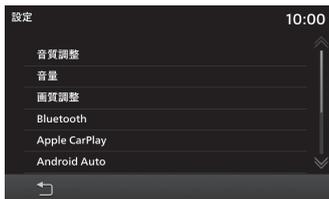
1 HOME キーを押す

ホームメニューを表示します。

2 設定 にタップする

設定メニューを表示します。

3 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
音質調整	音質に関する設定の変更が行えます。→「オーディオの音質調整」(P163)
音量	音量に関する設定の変更が行えます。→「音量を設定する」(P174)
画質調整	画質に関する設定の変更が行えます。→「画質を調整する」(P175)
Bluetooth	市販されている Bluetooth 機器を Bluetooth 機能を使って本機に接続します。→「Bluetooth の設定」(P176)
Apple CarPlay ^{※1}	Apple CarPlay に関する設定の変更が行えます。→「Apple CarPlay/Android Auto」(P178)
Android Auto ^{※1}	Android Auto に関する設定の変更が行えます。→「Apple CarPlay/Android Auto」(P178)
車両設定	車両装備の設定が行えます。→「車両設定」(P180)
ETC 設定	タイプ別装備の ETC に関する設定の変更が行えます。→「ETC の設定」(P179)
音声認識学習リセット	音声認識の学習データのリセットが行えます。→「学習データをリセットする」(P179)
単位設定	単位の変更が行えます。→「単位を設定する」(P179)
時計	時刻に関する設定の変更が行えます。→「時計」(P180)

設定名	設定内容
初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。→「初期化」(P184)

※1 Apple CarPlay、Android Auto 対応スマートフォンを一度も接続したことがない場合は表示されません。

オーディオの音質調整

音質に関する設定を変更します。

お知らせ

- Audio OFF、着信中、通話中や発信中の状態では音質を調整することができません。

アドバイス

- [TUNE/SOUND] キーを押すことで、音質調整画面を表示できます。→「本機について」(P14)
- [初期化] にタップすると、すべての音質調整を工場出荷時の状態に戻します。



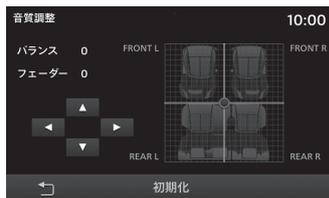
バランス/フェーダーの設定

各スピーカーから出力するレベルをカーソルボタンで調整できます。

1 設定メニューを表示する
(→P162)

2 音質調整 にタップする

3 バランス/フェーダー にタップする



4 ◀, ▶ にタップして、バランスを調整する

-11 ~ 0 ~ 11 まで設定できます。

5 ▲, ▼ にタップして、フェーダーを調整する

11 ~ 0 ~ -11 まで設定できます。

バランス/フェーダーの設定が完了します。

アドバイス

- 設定したい位置に直接タップすることで調整できます。
- [初期化] にタップすると、設定を工場出荷時の状態に戻します。

トーンコントロールの設定

各音質のレベルを設定できます。

1 設定メニューを表示する
(→P162)

2 音質調整 にタップする

3 トーンコントロール にタップする

4 - , + にタップして、各音質のレベルを調整する



プレミアム (9 スピーカー) 装着車の場合、[PUNCH] レベルの設定が行えます。

トーンコントロールの設定が完了します。

アドバイス

- [初期化] にタップすると、設定を工場出荷時の状態に戻します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
TREBLE	高音の音質を -5、0、+5 の 11 段階で設定ができます。
MID	中音の音質を -5、0、+5 の 11 段階で設定ができます。
BASS	低音の音質を -5、0、+5 の 11 段階で設定ができます。
PUNCH ^{※1}	重低音の音質を 0～6 の 7 段階で設定ができます。

※1 プレミアム(9スピーカー)装着車のみを設定項目です。

イコライザーの設定

サウンドの種類を設定できます。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 [音質調整] にタップする

3 [イコライザー] にタップする

4 サウンドの“種類”にタップする



アドバイス

- [初期化]にタップすると、設定を工場出荷時の状態に戻します。

プレミアム(9スピーカー)/プレミアム(8スピーカー)装着車

サラウンド/リスニングポジション設定

サラウンド設定と音場の中心を設定できます。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 [音質調整] にタップする

3 [サラウンド] にタップする

4 サラウンドの“種類”にタップする

設定しない場合は、[OFF]にタップしてください。



5 設定したい“ポジション”にタップする



サラウンド/リスニングポジションの設定が完了します。

アドバイス

- [dts Neural Surround] は、プレミアム(9スピーカー)装着車のみを設定項目です。
- リスニングポジション設定はプレミアム(9スピーカー)装着車のみを設定項目です。
- オーディオソースがAM/FMのときはサラウンドの設定が無効になります。
- [初期化]にタップすると、設定を工場出荷時の状態に戻します。

その他の設定

- 1 設定メニューを表示する
(→P162)
- 2 **音質調整** にタップする
- 3 **その他設定** にタップする
- 4 設定したい各項目の **−** , **+** に
タップする



各設定の変更が完了します。

アドバイス

- [初期化] にタップすると、設定を工場出荷時の状態に戻します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
Dolby Volume ※ 1. ※ 2	さまざまなソースや楽曲の音量差をリアルタイムに自動調整するレベルを選択できます。 [+] にタップするとバーが増え、OFF と 3 段階で設定ができます。
PremiDIA HD ※ 1. ※ 3. ※ 4. ※ 5	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節することができます。 [+] にタップするとバーが増え、OFF と 2 段階で設定ができます。
車速連動音量	車の速度に応じて音量を自動的に調整されるときに度合いを設定します。 [+] にタップするとバーが増え、OFF と 3 段階で設定ができます。

- ※ 1 オーディオソースがAM/FMのときには無効となります。
- ※ 2 プレミアム(9スピーカー)装着車のみを設定項目です。
- ※ 3 プレミアム(9スピーカー)、プレミアム(8スピーカー)装着車のみを設定項目です。
- ※ 4 非圧縮音源にも効果があります。
- ※ 5 「dts Neural Surround」と「PremiDIA HD」は同時に選択できません。

アドバイス

- DOLBY Volume の効果が再生中の音楽の印象と合わないと感じる場合は、OFF にしてください。

TV の設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

1 マルチメディアメニューを表示する (→ P23)

2 [DTV] にタップする

3 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

4 [メニュー] にタップする

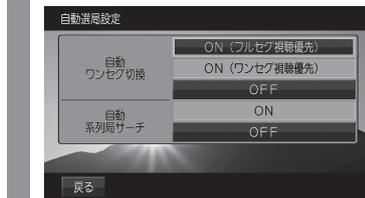
5 設定したい“項目”にタップする



6 設定したい“内容”にタップする



7 “設定” にタップする



設定内容を変更します。

設定項目について

視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。 → [字幕 / 音声] (P167)
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認できます。 → [情報を確認する] (P74)
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。 → [受信機設定] (P168)
初期設定	ホーム CH スキャンのやり直しや、地上デジタル TV チューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。 → [初期設定を行う] (P171)

視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。



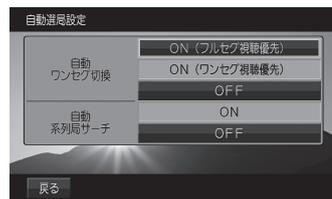
設定名	設定値	設定内容
字幕設定	字幕なし	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第1言語	
	第2言語	
二重音声設定	主音声	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主/副	

受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	ON (フルセグ視聴優先)	フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定が行えます。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P75)
	ON (ワンセグ視聴優先)	
	OFF	
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探することができます。
	OFF	自動で系列局を探しません。手動で行います。 →「系列局を探す」(P70)

■ 緊急放送

緊急放送の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
緊急放送自動切換	ON	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。時刻を表示したい場合は、ショートバナーを [表示する] に設定してください。



設定名	設定値	設定内容
ショートバナー 常時表示	表示する	常時画面の上部にショートバナー（チャンネル番号や放送局名、時刻などの情報）を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

■ 番組表 CH

番組表をマルチ編成に対応した表示に切り換えます。



設定名	設定値	設定内容
番組表 CH 切替	メインサービス	[全サービス] に設定するとマルチ編成に対応したすべての番組を表示した番組表に切り換わります。
	全サービス	

初期設定を行う

ホーム CH スキャンのやり直しやアンテナモードの変更、地上デジタル TV チューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

■ ホーム CH スキャンを行う

ホーム CH スキャンのやり直しや更新を行います。

詳しくは「ホーム CH スキャンを行う」(P72)をご覧ください。

■ 設定情報を初期化する

地上デジタル TV チューナーの設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 マルチメディアメニューを表示する (→ P23)

2 **DTV** にタップする

3 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

4 **メニュー** にタップする

5 **初期設定** にタップする

6 **設定情報初期化** にタップする

7 **初期化開始** にタップする

8 **はい** にタップする



初期化が完了すると初期設定画面を表示します。

注意

- ・初期化が完了するまでエンジン / パワースイッチを“OFF” にしないでください。

システムの設定

時刻や音量、単位、Bluetooth 機器などシステムに関する設定が行えます。

タイプ別装備

タイマー充電を設定する

充電のタイマーを 5 パターン設定できます。

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

2 **PHEV & 情報** にタップする

3 **タイマー充電** にタップする

4 設定したい“プリセット”にタップする



5 **↑** または **↓** にタップして、“開始時間” および “終了時間” を入力する



6 充電したい“曜日”にタップする



7 “フル充電”のON/OFFを設定する

:ON

:OFF

フル充電を“ON”にすると、タイマーを設定した時間内にフル充電にならなかった場合、タイマー終了時間を越えてフル充電になるまで充電を続けます。



8 **設定** にタップする

タイマーの設定が完了します。

アドバイス

- 時間設定は、「0～23時」、「0～50分(10分刻み)」の範囲で設定できます。
- 時間設定の開始時間と終了時間を同じ時間に設定すると、タイマー機能が動作しません。
- プリセットを (OFF) にすると、タイマー機能が OFF になります。
- タイマー充電を 1 日でも設定している場合は、タイマー充電を設定していない日(曜日)は充電されません。充電ガンを挿入後、すぐに充電を行いたい場合は、すべての曜日のタイマー充電を OFF にしてください。
- タイマー設定画面で [リセット] → [リセットする] にタップすると、入力した設定内容を初期化できます。
- タイマー充電の設定をすると、プリセットに設定内容を表示します。

■ 登録内容を消去する

タイマー充電のプリセットをすべて消去します。

1 タイマー充電画面を表示する
(→ P172)

2 **オールリセット** にタップする

3 **リセットする** にタップする

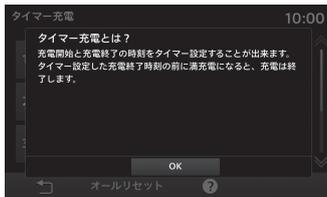


すべてのタイマー充電のプリセット消去が完了します。

■ ヘルプを確認する

1 タイマー充電画面を表示する
(→ P172)

2 **?** にタップする



ヘルプを表示します。

タイプ別装備

ブレ空調を設定する

空調のタイマーを5パターン設定できます。

1 ホーム画面を表示する (→ P22)

2 **PHEV & 情報** にタップする

3 **ブレ空調** にタップする

4 設定したい“プリセット”にタップする



5 **^** または **v** にタップして、“開始時間”を入力する

6 設定したい“曜日”にタップする



7 設定したい“作動時間”にタップする



8 **設定** にタップする



空調タイマー画面を表示します。

9 設定したい“空調モード”にタップする



10 **↶** にタップする



タイマーの設定が完了します。

アドバイス

- ・開始時間設定は「0～23時」、「0～50分(10分刻み)」の範囲で設定できます。
- ・プリセットを  (OFF) にすると、タイマー機能がOFFになります。
- ・作動時間の設定は、曜日ごとの設定はできず、固定となります。
- ・タイマー機能を使うには、空調モードを設定する必要があります。
- ・タイプ別装備により空調モード選択がない場合があります。モード選択がない場合は冷房モードになります。
- ・タイマー設定画面で [リセット] → [リセットする] にタップすると、入力した設定内容を初期化できます。
- ・空調タイマーを設定すると、プリセットに設定内容を表示します。

■ 登録内容を消去する

空調タイマーのプリセットをすべて消去します。

1 空調タイマー画面を表示する (→P173)

2 にタップする

3 にタップする

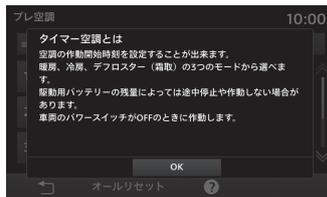
すべての空調タイマーのプリセット消去が完了します。

■ ヘルプを確認する

タイマー設定のヘルプを確認することができます。

1 空調タイマー画面を表示する (→P173)

2 にタップする



ヘルプを表示します。

アドバイス

- ・  または  が表示されている場合、タップすることでページを送ることができます。

音量を設定する

音量に関する設定の変更が行えます。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 にタップする

3 , にタップして、各音量を調整する



音量の設定が完了します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
操作音量	キーを押したときの音量設定ができます。0～3の4段階で設定ができます。
通話音量	電話の発着信音と通話音の音量設定ができます。0～45の46段階で設定ができます。
音声認識ガイド音量	音声認識のガイダンス音量が設定できます。0～7の8段階で設定ができます。
ナビ音量	ナビの音声案内の音量設定ができます。0～7の8段階で設定ができます。

画質を調整する

メニュー画面や各映像画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 「画質調整」にタップする

3 調整したい「画面」にタップする



4 各項目を調整する



画面の設定が完了します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタップすると明るくなり、[-]にタップすると暗くなります。ロングタップ(P17)すると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。[+]にタップするとコントラストが強くなり、[-]にタップすると弱くなります。ロングタップ(P17)すると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [+]にタップすると黒の濃さが濃くなり、[-]にタップすると弱くなります。ロングタップ(P17)すると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [+]にタップすると緑っぽくなり、[-]にタップすると赤っぽくなります。ロングタップ(P17)すると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [+]にタップすると色が濃くなり、[-]にタップすると薄くなります。ロングタップ(P17)すると、連続で調整できます。

昼夜色の設定

画面の色を車両のILL点灯に連動して変更します。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 「画質調整」にタップする

3 変更したいモードにタップする



昼夜色の設定が完了します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
昼固定	常に明るい色になります。
夜固定	常に暗い色になります。
Auto	ILLのON/OFFに連動します。 ILL ONのときに暗い色になります。 ILL OFFのときに明るい色になります。

Bluetooth の設定

市販されている Bluetooth 機器を Bluetooth 機能を使って本機に接続することができます。

Bluetooth(ブルートゥース)とは

Bluetooth は近距離(数メートル以内)での機器接続に特化した無線通信規格です。

お知らせ

- 本機は Ver.4.1+ EDR に対応しています。

対応プロファイル

Bluetooth AUDIO	A2DP, AVRCP (v1.4 以下)
ハンズフリー	HFP(v1.6 以下)
電話帳転送	PBAP(v1.2 以下)
シリアル通信	SPP(v1.2 以下)
入力機器の無線化	HID(v1.1 以下)

- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態でご接続してください。
- 接続中に Bluetooth 機器での操作(受話操作など)を行うと正しく動作しない場合があります。
- Bluetooth 機器におけるパスキーの入力方法については Bluetooth 機器の取扱説明書をご確認ください。

お知らせ

- 接続に失敗することがあります。再度、登録してください。
- 本機と Bluetooth 機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては接続できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置に Bluetooth 機器を置いてください。
- Bluetooth 対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- お使いの Bluetooth 機器によっては、接続できない場合があります。
- 機器によっては接続までに時間がかかる場合があります。
- Bluetooth 機器は、最大 5 台まで登録できます。最大数登録済みの場合は削除後登録してください。

■ Bluetooth 機器を登録する

Bluetooth 機器を本機に登録します。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 Bluetooth にタップする

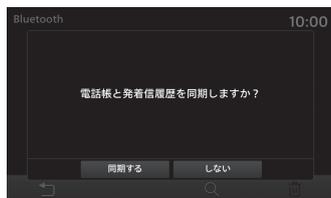
Bluetooth 機器が一台も登録されていない場合は登録をうながす画面が表示されるので、[OK] にタップし手順 5 に進みます。

3 検索アイコンにタップする

4 画面に表示されたパスキーと Bluetooth 機器に表示されたパスキーが同じであることを確認する



- 5 **同期する** または **しない** にタップする
電話帳と発着信履歴を同期するか選択します。



- 6 Bluetooth 機器から本機を選択する

- 7 **OK** にタップする

▼
接続が完了すると、Bluetooth アイコン、電波強度、バッテリー残量を表示します。

アドバイス

- 携帯電話が未登録の場合、[PHONE] キーを押すとペアリング画面が表示されます。
- ペアリング後、電話帳の取り込みを開始します。

■ Bluetooth 機器を選択する

複数台の Bluetooth 機器を登録した場合、接続する Bluetooth 機器を選択する必要があります。(以降は本機で設定した Bluetooth 機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

- 1 設定メニューを表示する
(→ P162)

- 2 **Bluetooth** にタップする

- 3 接続したい機器の  または  にタップする

接続したい Bluetooth 機器をハンズフリー用に使用する場合は  に、Bluetooth AUDIO 用に使用する場合は  を選択します。



- 4 **OK** にタップする

▼
Bluetooth 機器の選択が完了します。

アドバイス

- Bluetooth AUDIO(AVP) 接続は、Apple CarPlay/Android Auto を使用しているスマートフォンは接続できません。

■ 電話帳や履歴を同期する

Bluetooth で接続している携帯電話の電話帳や履歴を本機で表示し、利用できます。

- 1 設定メニューを表示する
(→ P162)

- 2 **Bluetooth** にタップする

- 3 **電話帳同期** にタップする



4 同期する機器名の にタップする



この画面で  になっていた場合は、すでに同期 (表示) されているので以降の操作は必要ありません。

 にタップすると、同期 (表示) しない設定に変更されます。

5 **同期する** にタップする



同期が開始され、Bluetooth で接続されている携帯電話の電話帳や履歴を本機で利用できます。

お知らせ

- 電話帳や履歴の同期が完了するまで時間がかかることがあります。

Bluetooth 機器を消去する

登録している Bluetooth 機器を消去します。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 Bluetooth にタップする

3 消去したい“機器名”にタップする

4 にタップする



5 **削除する** にタップする

選択した機器の消去が完了します。

Apple CarPlay/Android Auto

Apple CarPlay または Android Auto を利用するデバイスの管理ができます。

お知らせ

- Apple CarPlay、Android Auto 対応スマートフォンを一度も接続したことがない場合は表示されません。

デバイスの有効 / 無効を設定する

登録しているデバイスの接続を有効または無効に設定できます。

1 設定メニューを表示する (→P162)

2 **Apple CarPlay** または **Android Auto** にタップする

3 設定したい“デバイス名”にタップする



4 **有効** または **無効** にタップする

テロップが表示され、選択したデバイスの設定が完了します。

アイコンについて

アイコン	アイコンの内容
	有効状態。
	無効状態。
	有効、無効どちらでもない状態。

■ デバイスを消去する

1 「**デバイスの有効/無効を設定する**」
(P178)の手順2まで操作する
デバイスリストを表示します。

2 消去したい「**デバイス名**」にタップする



3 **ゴミ箱** にタップする

4 **OK** にタップする

▼
選択したデバイスの消去が完了します。

ETC の設定

タイプ別装備のETCに関する設定が行えます。

1 **設定メニュー**を表示する
(→P162)

2 **ETC 設定** にタップする

3 設定したい「**内容**」にタップする



▼
ETCの設定が完了します。

■ 設定できる項目について

設定名	設定内容
ETC 通過音	ETC ゲート通過時に音を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。
ETC カード案内	ETC カードの利用可否および有効期限の案内をするかしないかの設定が行えます。
ETC 通行案内音声	ETC 車線の通行可否について案内するかしないかの設定が行えます。

学習データをリセットする

本機では、音声認識向上のため音声認識を行うごとに学習データが蓄積されています。この蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態に戻すことができます。

1 **設定メニュー**を表示する
(→P162)

2 **音声認識学習リセット** にタップする

3 **リセットする** にタップする

▼
蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態になります。

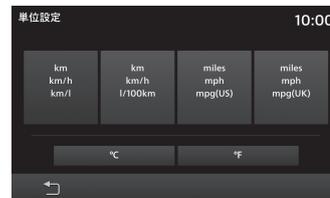
単位を設定する

単位の変更をします。

1 **設定メニュー**を表示する
(→P162)

2 **単位設定** にタップする

3 変更したい「**単位**」にタップする



▼
単位の変更が完了します。

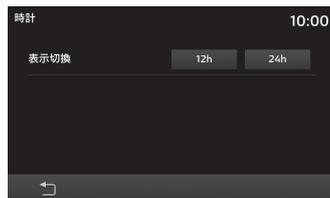
時計

時刻に関する設定の変更ができます。

1 設定メニューを表示する
(→P162)

2 **時計** にタップする

3 設定したい時刻の“表示内容”に
タップする



時刻の表示設定が完了します。

タイプ別装備

車両設定

車両装備の設定が行えます。

1 ホーム画面を表示する (→P22)

2 **設定** にタップする

3 **車両設定** にタップする

4 設定したい“装備名”にタップする



5 変更したい“項目”にタップする



アドバイス

- **?** にタップすると設定内容が確認できます。

6 “設定値” にタップする



車両装備の設定が完了します。

■ 設定できる項目について

お知らせ

- ・ ※は対応車種の仕様により表示されない項目です。
- ・ 車両の装備によっては、「キーレスエントリー」または「キーレスオペレーション」のどちらかを表示します。

キーレスエントリー

項目	設定内容
非常点滅灯 点滅回数	施錠時および解錠時のライトの点滅回数を設定します。

キーレスオペレーション

項目	設定内容
非常点滅灯 点滅回数	施錠時および解錠時のライトの点滅回数を設定します。
ドア解錠 / 施錠時のブザー吹鳴	解錠時および施錠時のブザー音の設定をします。
ドア施錠後の再解錠禁止時間	テールゲートにて施錠後、再度、解錠できるまでの時間を設定します。

ワイパー

項目	設定内容
フロントワイパー 間欠作動時間*	フロントワイパーの動作の間隔を設定します。
ウォッシャー連動ワイパー*	ウォッシャー液を噴射時、自動的にワイパーを作動させる設定をします。
ウォッシャーレバーのワンタッチ操作時自動洗浄機能	ウォッシャー液が一定時間断続的に、噴射しながらワイパーも自動的に連動する自動洗浄の機能有無を設定します。
リア 間欠作動時間	リアワイパーの動作の間隔を設定します。
R(リバース) 位置連動リアワイパー	セレクターレバーの位置を R(リバース)にしたときに、リアワイパーを作動させる条件の設定をします。

ライト

項目	設定内容
ヘッドライトオートカット	ヘッドライトを点灯時、エンジン OFF したとき、自動的に消灯させる機能の設定をします。
降車後ヘッドライト点灯機能	エンジンスイッチを LOCK した後のヘッドライト点灯時間の長さを設定します。
リモコンアンロックボタン操作時ライト点灯機能	リモコンのアンロックボタンを押したとき、ライトの点灯機能の設定をします。
インテリアランプオートカット時間	室内照明を点灯したまま、エンジンを切った場合、室内照明が自動消灯するまでの時間を設定します。
ドアを閉じてルームランプが消灯するまでの時間	ドアを閉じたときに室内照明が自動消灯するまでの時間を設定します。
充電口照明の点灯時間*	充電口照明の点灯時間を設定します。

警報音

項目	設定内容
車内警報時間	車内警報の時間を設定します。

方向指示灯

項目	設定内容
方向指示灯作動条件 (エンジンスイッチ位置)	方向指示器の作動条件を設定します。
ワンタッチ方向指示3回点滅機能 (車線変更時など)	車線変更するとき、方向指示レバーを軽く操作すると、3 回点滅させる機能の有無を設定します。
方向指示灯 3 回点滅機能のレバー操作受付時間	「方向指示レバーのワンタッチ操作時 3 回点滅機能 (車線変更時など)」機能を作動させるための、方向指示レバーの操作時間を設定します。

ドア解除 / 施錠

項目	設定内容
キーレスエントリー時のドア解錠放置後の自動施錠時間	キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションキーでドアを解錠後、自動で施錠する時間を設定します。
解錠時の対象となるドア	解錠が有効になるドア位置を設定します。
ドア自動解錠*	ドアが自動で解錠する設定をします。

エアコン*

項目	設定内容
内外気自動制御	内気循環、外気導入を「自動で切り換える」、「自動で切り換えない」の選択ができます。* ¹
エアコンスイッチ自動制御	エアコンスイッチの ON/OFF を「自動で切り換える」、「自動で切り換えない」の選択ができます。* ²
ECO モード	ECO モード動作時に、エアコンのエコ運転を「作動させる」、「作動させない」の選択ができます。(ECO モードスイッチ付き車のみ)* ³
足元 / ウィンドウガラスの風量調整	手でエアコンの吹き出し口を  に選択したとき、足元への送風とウィンドウガラスへの送風の割合を設定できます。
上半身 / 足元の風量調整	手でエアコンの吹き出し口を  に選択したとき、上半身への送風と足元への送風の割合を設定できます。
(エンジン) 始動時のリアデフォグガー自動作動	外気温が低いとき、エンジン始動時にリアデフォグガーが「自動で作動する」、「自動で作動しない」の選択ができます。
リアデフォグガー自動作動 (READY 表示灯が点灯時)	外気温が低いとき、READY 表示灯が点灯している時にリアデフォグガーが「自動で作動する」、「自動で作動しない」の選択ができます。

※ 1 ただし、デフロスタースイッチを押したときは、窓曇りを防止するため、[自動で切り換えない] に設定していても自動的に外気導入に切り替わります。

※ 2 ただし、デフロスタースイッチを押したときは、窓曇りを防止するため、[自動で切り換えない] に設定していてもエアコンは自動的に ON になります。

※ 3 エコ運転時は、エアコンの作動を抑制しているため、エアコンの効きが弱いと感じる場合があります。

項目	設定内容
ドアミラー自動格納 / 復帰	ドアミラーの自動格納と展開の設定をします。
ACC 電源の自動オフ (エンジンスイッチが ACC 時のみ)	エンジンスイッチが ACC のとき、自動で ACC を OFF にするまでの時間を設定します。
ACC 電源の自動オフ (パワースイッチが ACC 時のみ)	パワースイッチが ACC のとき、自動で ACC を OFF にするまでの時間を設定します。

■ 車両設定を初期化する

- 1 「**車両設定**」 (P180) の手順 3 ま
で操作する



- 2 **リセット** にタップする

- 3 **はい** にタップする

▼
装備設定の初期化が完了します。

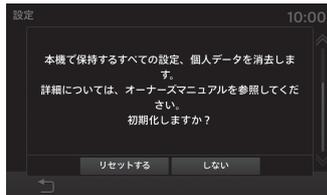
初期化

本機の名設定を工場出荷時の状態に戻します。

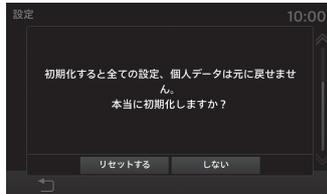
- 1 **設定メニュー**を表示する
(→ P162)

- 2 **初期化** にタップする

- 3 **リセットする** にタップする



- 4 **リセットする** にタップする



▼
自動で再起動が行われ、初期化が完了します。

アドバイス

- 音声認識学習データはこの操作でリセットできません。リセットは「学習データをリセットする」 (P179) を参照してください。

その他

音声操作について

音声で電話やオーディオの操作を行うことができます。

音声認識機能を開始する

- 1 ステアリングの  キーを押し、「ピッ!」と発信音がしてから“音声コマンド”を話す

→「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P19)

アドバイス

- ・音声操作を行うための使い方が確認できます。→「音声認識ヘルプを確認する」(P186)
- ・音声で電話をかけるにはボイスタグの登録が必要です。→「ボイスタグを登録する」(P32)

音声認識機能を終了する

- 1 ステアリングの  キーを長押しする

→「ステアリングリモコンスイッチの操作」(P19)



音声認識を終了します。

お知らせ

音声認識機能は、周囲の状況や発話者の話し方で認識しにくくなる場合があります。以下の内容を理解した上でご使用ください。

- ・大きめの声で、はっきりと話してください。認識しやすくなります。
- ・発話の際、「えー」「えーっと」「あー」などを発話しないでください。別の言葉で認識する可能性があります。
- ・車の窓を閉めてください。周囲騒音により間違っって認識されることがあります。
- ・発話時は同乗者の会話を控えてください。同乗者の声で間違っって認識されることがあります。
- ・発音が似ている単語を発話すると、間違っって認識されることがあります。
- ・周囲騒音が大きすぎると間違っって認識されることがあります。
例：トンネル内走行、チェーン装着走行など
- ・エアコンの風量が大きい場合は認識しにくい場合があります。
- ・以下の場合、発話を受け付けません。
 - 発声が遅すぎる（早すぎる）
 - 声が大きすぎる（小さすぎる）
 - 無音・発話が不明瞭
 - 「ピッ!」音の前に発話した

音声認識ヘルプを確認する

音声操作 (P185) を行うための使い方やコマンド一覧などが確認できます。

- 1 **HOME** キーを押す
PHEV 車ではない場合は手順 3 に進みます。
- 2 **PHEV & 情報** にタップする
- 3 **情報** にタップする
- 4 **ヘルプ** にタップする
- 5 **音声認識ヘルプメニュー**
にタップする



この後、各メニューにタップし操作方法を確認してください。

困ったときは

画面にメッセージや「故障かな？」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

メッセージ	原因	処置
iPod に音楽データがありません。	曲が入っていない iPod を接続した。	曲が入った iPod を接続してください。
データがありません。	USB メモリーが接続されていない。	USB メモリーを接続してください。
メディアリソースがありません。	接続した USB メモリーに再生可能な音楽ファイルまたは動画ファイルが入っていない。	USB メモリーに再生できる音楽ファイルまたは動画ファイルを入れてください。 →「音楽ファイルについて」(P37) →「動画ファイルについて」(P44)
再生できるオーディオファイルがありません。	Bluetooth 対応オーディオ機器に再生可能な音楽ファイルが入っていない。	Bluetooth 対応オーディオ機器に再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイルについて」(P37)
iPod の読み取りに失敗しました。	読み込みに失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
USB メモリ読み取りエラー		USB メモリーを接続しなおしてください。
USB デバイスの読み取りができませんでした。		
プレイリストの取得に失敗しました。	プレイリストの読み込みに失敗した。	USB メモリーを接続しなおしてください。また、USB メモリーに電源がある場合は、電源を OFF/ON してください。
ダイヤル入力に失敗しました。	99 桁以上を入力した。	正しい番号を入力してください。
USB Hub をサポートしません。	USB Hub を接続した。	Hub を取り外し、USB メモリーを接続してください。
反応がありません。	対応していない USB メモリーを接続した。	対応している USB メモリーを接続してください。 →「USB メモリーの音楽ファイルを聴く」(P56)
サポートされていません。		
エラー (スピーカー異常) が発生しました	スピーカーに異常を検知した。	車のエンジン/パワースイッチを OFF/ON してください。
エラー (過電流) が発生しました	USB に過電流を検知した。	車のエンジン/パワースイッチを OFF/ON してください。それでも、復旧しない場合は、三菱自動車販売店にご相談ください。

■ ETC 機能

タイプ別装備の ETC(三菱電機製) 機能に関するメッセージについて説明します。

コード	メッセージ	原因	処置
コード 01	ETC カードをお確かめください。	ETC カードが正しく挿入されていません。 (裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを ETC 車載器に正しく挿入してください。
コード 02	ETC カードをお確かめください。	ETC カードからの読み出しが不良です。	再度 ETC カードを ETC 車載器に正しく挿入してください。 再度エラーが発生するときは三菱自動車販売店にご連絡ください。 (ETC 利用時) 料金所にて車両の停止が案内(表示)されることがあります。 停車して料金所係員の指示にしたがってください。
コード 03	ETC カードをお確かめください。	ETC カードが故障しています。	再度 ETC カードを ETC 車載器に正しく挿入してください。 再度エラーが発生するときは、ETC カード発行会社にご相談ください。
コード 04	ETC 車載器を確認してください。	ETC 車載器が故障しています。	三菱自動車販売店にご相談ください。
コード 05	ETC カードをお確かめください。	挿入されたカードが ETC カードであると確認できません。	正しい ETC カードであることをご確認の上、再度挿入してください。
コード 06	ETC 車載器を確認してください。	ETC 車載器の情報が異常です。	料金所係員の指示にしたがってください。
コード 07	ETC ユニットが接続されていません。	アンテナ通過時に何らかの異常がありました。	たびたびエラーが発生するときは、三菱自動車販売店にご相談ください。
コード 08	ETC カードをお確かめください。	ETC カードへの書き込みが不良です。	料金所にて車両の停止が案内(表示)されることがあります。 停車して料金所係員の指示にしたがってください。
コード 09	ETC 車載器を確認してください。	ETC 車載器のメモリが異常です。	三菱自動車販売店にご相談ください。
コード 10	ETC 車載器を確認してください。		
コード 11	ETC がセットアップされていません。	セットアップされていません。	セットアップカードおよびセットアップ内容(車載器管理番号など)をご確認の上、再度セットアップをしてください。

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状や原因、処置を説明します。

■ 共通

症状	原因	処置
操作音が鳴らない。	操作音が [0] になっている。	[音量] の“操作音量”を [1]～[3] に設定してください。 →「音量を設定する」(P174)
オーディオの音がでない / 音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。 →「音量を調節する」(P15)
	バランス / フェーダーが片寄っている。	バランス / フェーダーを調整してください。 →「バランス / フェーダーの設定」(P163)
	オーディオが「OFF」になっている。	オーディオを「ON」にしてください。 →「オーディオを ON/OFF する」(P36)
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	画面消しを解除してください。 →「画面の表示を消す」(P16)
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
画面が暗い。	画面の明るさ調整が適切でない。	画面の明るさの調整をしてください。 →「画質を調整する」(P175)
	車のライトが ON になっている。	工場出荷時は車のライトを ON にすると画面が暗くなります。
	昼夜色が「夜固定」になっている。	昼夜色を「Auto」または「昼固定」に設定してください。 →「昼夜色の設定」(P175)

■ テレビ機能

症状	原因	処置
地上デジタル TV 放送が映らない。 映像が乱れる。	地上デジタル TV 放送の放送エリア内ではない。	地上デジタル TV 放送は、ある程度受信エリアが限られます。また、受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタル TV 放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。 番組データ取得 (P69) をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	地上デジタル TV 放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が [字幕なし] に設定されている。	[視聴設定] の [字幕設定] で [第 1 言語] または [第 2 言語] に設定してください。 → 「TV の設定」 (P166)
	見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はソースプレートにアイコンが表示されます。 → 「記号について」 (P67)
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」を OFF に設定してください。 → 「フルセグとワンセグを切り換える」 (P75)

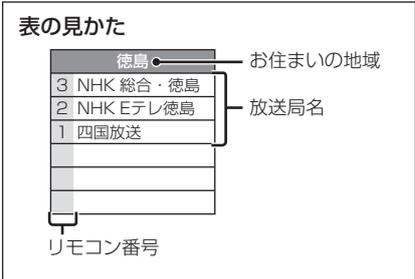
■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	GPS 衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS 受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	

症状	原因	処置
GPS が受信できない。	本機をはじめて使用したときは、自転車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所でしばらくお待ちください。
	本機をしばらく使用しなかったときは、自転車位置計算に時間がかかる。	
	GPS アンテナ付近のウィンドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	GPS アンテナの位置 (P81) を確認し、左記の原因が考えられる場合は、フィルムをはがしてください。
	他のアンテナが GPS アンテナの近くにある。	GPS アンテナの位置 (P81) を確認し、左記の原因が考えられる場合は、他のアンテナを移設してください。
	GPS アンテナ上にものをのせている。	GPS アンテナの位置 (P81) を確認し、左記の原因が考えられる場合は、上にあるものを取り除いてください。
音声による案内がない。	音声案内のボリュームが“OFF” になっている。	[音量] の“ナビ音量”を [1]～[7]に設定してください。 →「音量を設定する」(P174)

TV 放送のチャンネル一覧表

- ホーム CH スキャン (P63,P72) で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下のようになります。(2020年5月現在) 他地域の放送を受信されたときは、以下のようにならない場合があります。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。



お住まいの地域	北海道 (札幌)	北海道 (函館)	北海道 (旭川)	北海道 (帯広)	北海道 (釧路)	北海道 (北見)
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見
	2 NHK Eテレ札幌	2 NHK Eテレ函館	2 NHK Eテレ旭川	2 NHK Eテレ帯広	2 NHK Eテレ釧路	2 NHK Eテレ北見
	1 HBC 札幌	1 HBC 函館	1 HBC 旭川	1 HBC 帯広	1 HBC 釧路	1 HBC 北見
	5 STV 札幌	5 STV 函館	5 STV 旭川	5 STV 帯広	5 STV 釧路	5 STV 北見
	6 HTB 札幌	6 HTB 函館	6 HTB 旭川	6 HTB 帯広	6 HTB 釧路	6 HTB 北見
	8 UHB 札幌	8 UHB 函館	8 UHB 旭川	8 UHB 帯広	8 UHB 釧路	8 UHB 北見
	7 TVH 札幌	7 TVH 函館	7 TVH 旭川	7 TVH 帯広	7 TVH 釧路	7 TVH 北見

お住まいの地域	北海道 (室蘭)	青森	岩手	秋田	宮城	山形
チャンネル名	3 NHK 総合・室蘭	3 NHK 総合・青森	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・秋田	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・山形
	2 NHK Eテレ室蘭	2 NHK Eテレ青森	2 NHK Eテレ盛岡	2 NHK Eテレ秋田	2 NHK Eテレ仙台	2 NHK Eテレ山形
	1 HBC 室蘭	1 RAB 青森放送	6 IBC テレビ	4 ABS 秋田放送	1 TBC テレビ	4 YBC 山形放送
	5 STV 室蘭	6 ATV 青森テレビ	4 テレビ岩手	8 AKT 秋田テレビ	8 仙台放送	5 YTS 山形テレビ
	6 HTB 室蘭	5 青森朝日放送	8 めんこいテレビ	5 AAB 秋田朝日放送	4 ミヤギテレビ	6 テレビユー山形
	8 UHB 室蘭		5 岩手朝日テレビ		5 KHB 東日本放送	8 さくらんぼテレビ
	7 TVH 室蘭					

お住まいの地域	福島	茨城	東京	千葉	埼玉	群馬
チャンネル名	1 NHK 総合・福島	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・前橋
	2 NHK E テレ福島	2 NHK E テレ東京				
	8 福島テレビ	4 日本テレビ				
	4 福島中央テレビ	6 TBS				
	5 KFB 福島放送	8 フジテレビジョン				
	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日				
		7 テレビ東京				
		9 TOKYO MX	3 チバテレビ	3 テレ玉	3 群馬テレビ	

お住まいの地域	栃木	神奈川	山梨	新潟	富山	石川
チャンネル名	1 NHK 総合・宇都宮	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・甲府	1 NHK 総合・新潟	3 NHK 総合・富山	1 NHK 総合・金沢
	2 NHK E テレ東京	2 NHK E テレ東京	2 NHK E テレ甲府	2 NHK E テレ新潟	2 NHK E テレ富山	2 NHK E テレ金沢
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 YBS 山梨放送	6 BSN	1 KNB 北日本放送	4 テレビ金沢
	6 TBS	6 TBS	6 UTY	8 NST	8 BBT 富山テレビ	5 北陸朝日放送
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン		4 TeNY	6 チューリップテレビ	6 MRO
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日		5 新潟テレビ 21		8 石川テレビ
	7 テレビ東京	7 テレビ東京				
	3 とちぎテレビ	3 tvk				

お住まいの地域	福井	長野	静岡	愛知	岐阜	三重
チャンネル名	1 NHK 総合・福井	1 NHK 総合・長野	1 NHK 総合・静岡	3 NHK 総合・名古屋	3 NHK 総合・岐阜	3 NHK 総合・津
	2 NHK E テレ福井	2 NHK E テレ長野	2 NHK E テレ静岡	2 NHK E テレ名古屋	2 NHK E テレ名古屋	2 NHK E テレ名古屋
	7 FBC	4 テレビ信州	6 SBS	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ
	8 福井テレビ	5 abn 長野朝日放送	8 テレビ静岡	5 CBC テレビ	5 CBC テレビ	5 CBC テレビ
		6 SBC 信越放送	4 Daiich-TV	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ
		8 NBS 長野放送	5 静岡朝日テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ
				10 テレビ愛知	8 ぎふチャン	7 三重テレビ

お住まいの地域	大阪	滋賀	京都	和歌山	奈良	兵庫
チャンネル名	1 NHK 総合・大阪	1 NHK 総合・大津	1 NHK 総合・京都	1 NHK 総合・和歌山	1 NHK 総合・奈良	1 NHK 総合・神戸
	2 NHK E テレ大阪					
	4 MBS 毎日放送					
	6 ABC テレビ					
	8 関西テレビ					
	10 読売テレビ					
	7 テレビ大阪	3 BBC びわ湖放送	5 KBS 京都	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ	3 サンテレビ

お住まいの地域	広島		鳥取		島根		山口		岡山		香川	
チャンネル名	1	NHK 総合・広島	3	NHK 総合・鳥取	3	NHK 総合・松江	1	NHK 総合・山口	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松
	2	NHK E テレ広島	2	NHK E テレ鳥取	2	NHK E テレ松江	2	NHK E テレ山口	2	NHK E テレ岡山	2	NHK E テレ高松
	3	RCC テレビ	8	さんいん中央テレビ	8	さんいん中央テレビ	4	KRY 山口放送	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ
	4	広島テレビ	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	3	tys テレビ山口	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送
	5	広島ホームテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab 山口朝日	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ
	8	TSS							7	TSC テレビせとうち	7	TSC テレビせとうち
								8	OHK テレビ	8	OHK テレビ	

お住まいの地域	徳島		高知		愛媛		福岡		佐賀		長崎	
チャンネル名	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・長崎
	2	NHK E テレ徳島	2	NHK E テレ高知	2	NHK E テレ松山	3	NHK 総合・北九州	2	NHK E テレ佐賀	2	NHK E テレ長崎
	1	四国放送	4	高知放送	4	南海放送	2	NHK E テレ福岡	3	STS サガテレビ	3	NBC 長崎放送
			6	テレビ高知	5	愛媛朝日	2	NHK E テレ北九州			8	KTN テレビ長崎
			8	さんさんテレビ	6	あいテレビ	1	KBC 九州朝日放送			5	NCC 長崎文化放送
					8	テレビ愛媛	4	RKB 毎日放送			4	NIB 長崎国際テレビ
							5	FBS 福岡放送				
							7	TVQ 九州放送				
						8	TNC テレビ西日本					

お住まいの地域	熊本		大分		宮崎		鹿児島		沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・宮崎	3	NHK 総合・鹿児島	1	NHK 総合・沖縄
	2	NHK E テレ熊本	2	NHK E テレ大分	2	NHK E テレ宮崎	2	NHK E テレ鹿児島	2	NHK E テレ沖縄
	3	RKK 熊本放送	3	OBS 大分放送	6	MRT 宮崎放送	1	MBC 南日本放送	3	RBC テレビ
	8	TKU テレビ熊本	4	TOS テレビ大分	3	UMK テレビ宮崎	8	KTS 鹿児島テレビ	5	QAB 琉球朝日放送
	4	KKT くまもと県民	5	OAB 大分朝日放送			5	KKB 鹿児島放送	8	沖縄テレビ (OTV)
5	KAB 熊本朝日放送					4	KYT 鹿児島読売TV			

地図データベースについて

この地図は、「全国デジタル道路地図データベース」（一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成）、2021年5月の株式会社トヨタマップマスターの地図情報をもとに、株式会社ミックウェアが作成したものです。なお、元図の作成時期などの関係から、収録されていない新設道路があったり、地名や道路などに変更や誤りがある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- いかなる形式においても著作者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 01-0010）
- この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。
- この地図に使用している交通規制データは、2020年11月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。
- この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを基に作成しました。
- この地図に使用している充電施設データは、合同会社日本充電サービスの情報を出典に作成しました。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）、基盤地図情報（数値標高モデル）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 R 2JHs 684-011号）

（株）トヨタマップマスター

ZENRIN CO.,LTD.

© 2018 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

- 地図更新を行うことで充電スポットも更新されます。

上記は、取扱説明書が作成された時点での情報となります。購入時期によっては地図情報が異なる場合もございます。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。（用語の定義）

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第4条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

- (1) 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- (2) 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- (2) 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- (2) VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表視聴料金

視聴料金：330円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

用語索引

本用語索引では、使用したい機能を素早く見つけるために、各機能のキーワードだけを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

明るさ	175
案内開始	95,99,101,109
イコライザー	164
一時停止案内	137
一般優先	113
色合い	175
色の濃さ	175
迂回メモリ	121,122
エアコン情報	145
英数字	20,85
映像	76
映像情報	65
エネルギーモニター	149
エリア	64,67
エリアCH	66
オーディオ機能	36
音楽ファイル	37
音質調整	162,163
音声	76,167
音声操作	185
音声認識学習リセット	162,179
音声認識ヘルプ	186

音声モード	65
音量	162
音量を調節する	14,15,174

カ行

カーブ案内	137
拡大表示	88,90
画質調整	162,175
学校存在案内	138
かな	20,85
カメラ	141
画面の表示を消す	16
北基準	92
距離優先	113
緊急情報	130
緊急放送自動切換	169
黒の濃さ	175
系列局	64,70
系列局サーチ	66
県境案内	137
現在地	87,89
現在地を登録する	117
減少レーン案内	137
交差点案内図	90
交差点拡大図自動表示	136
高速道路情報	97
高速分岐模式図表示	136
高速略図	93,98
交通情報	49,51
合流案内	137

小文字 / 大文字	21,85
コントラスト	175

サ行

細街路での音声案内	137
再探索	84,114
先程の地図	106
サラウンド	164
シーク	50
シーズンレジャーランドマーク表示	136
市街地地図	94
時刻表示	138
事故多発地点案内	137
自車基準	92
システムの設定	172
施設ジャンル	103
施設名称	102
自宅	87,99,116
視聴設定	166,167
自動系列局サーチ	168
自動ワンセグ切換	75,168
絞り込み設定	102
字幕	167
字幕情報	65
字幕設定	167
車速連動音量	165
車両情報設定	138,139
車両設定	162,180
ジャンクションビュー	90
ジャンル	103

踏切案内	137
フリック	17
フルセグ	75
プレ空調	173
別ルート	113
ヘルプを表示する	161
変換	21,85
変換候補のリスト	86
ボイスタグ	32
放送局リスト	51
放送モード	65
ホーム	64,67
ホーム CH	66
ホーム CH スキャン	63,72
本機	14

マ行

マップコード	106
マップマッチング	80
マルチメディア	22
マルチメディアメニュー	23
無変換	20,85
名称	102
メール	74
メッセージ	187
メニュー	64
メモリ地点	84,95,117
メモリ地点情報	118
メモリ地点の消去	120
メモリ地点の設定	116

免責事項	6
メンテナンス情報	157
目的地の消去	112
目的地の設定	99
目的地の追加	84,111
目的地履歴	104
目的地履歴消去	105,138
文字入力	20,85
文字の種類	21,86

ヤ行

有料優先	113
夜の地図色	136

ラ行

ラジオ	48
ランドマーク	88
リモコン番号	64,66,75
履歴	104
累積料金クリア	144
ルート学習	138
ルート学習の消去	139
ルート消去	112
ルートの確認	110
ルートの変更	111
ルートの編集	111
レーン案内	90
レーンリスト自動表示	137
ロングタップ	17

ロングバナー	65
--------	----

ワ行

ワンセグ	75
ワンセグ/フルセグ	64,75

A

AAC	41
AM	48
Android Auto	22,28
Apple CarPlay	22,26
Apps	22,24
Audio ON/OFF	23,36
AV	36

B

Bluetooth	162
Bluetooth Audio	23,77
Bluetooth の設定	176

C

CH モード	64,66
--------	-------

D

DolbyVolume	165
DTV	23,63

E

EPG.....	64,69
ETC.....	142
ETC 車載器登録情報.....	143
ETC 車載器累積料金.....	144
ETC 設定.....	162,179
ETC の利用履歴.....	143
ETC2.0.....	124,134

F

FLAC.....	43
FM.....	48
FM 多重放送.....	124

G

GNSS.....	80
GPS アンテナ.....	81

H

HOME.....	14
-----------	----

I

IC の変更.....	114
iPod.....	23,52
iPod メニュー.....	55

M

MAPCODE.....	106
MEDIA.....	14
MP3.....	39

N

NAV.....	14
----------	----

P

PHEV & 情報.....	22,141
PHONE.....	14
PremiDIA HD.....	165

Q

QZS.....	80
----------	----

S

SOUND.....	14
S/W バージョン.....	74

T

TUNE/SOUND.....	14
TV.....	63
TV の設定.....	166
TV 放送のチャンネル一覧表.....	192

U

USB メモリー.....	56
USB Audio.....	23,56
USB Video.....	23,60

V

VICS.....	124
VICS 局.....	132
VICS センター.....	127
VICS の設定.....	133
VOL.....	14

W

WAV.....	42
WMA.....	40

数字

2 次元測位.....	82
2D 時フロントワイド(ノースアップ)....	136
2D 時フロントワイド(ヘディングアップ) ...	136
3 桁チャンネル番号.....	65
3 次元測位.....	82
3D 交差点拡大図.....	137
3D 時地図角度設定.....	136
3D 時ルート方向アップ.....	136
5 ルート.....	109,112,113